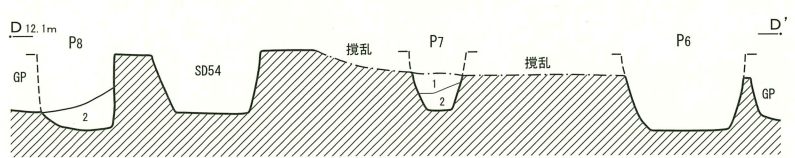
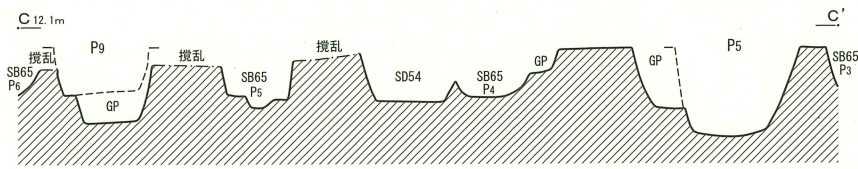
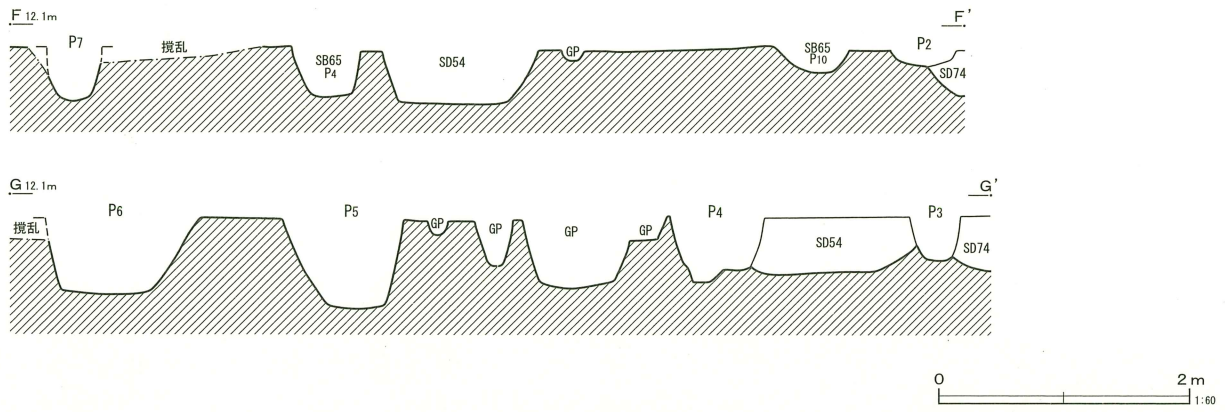


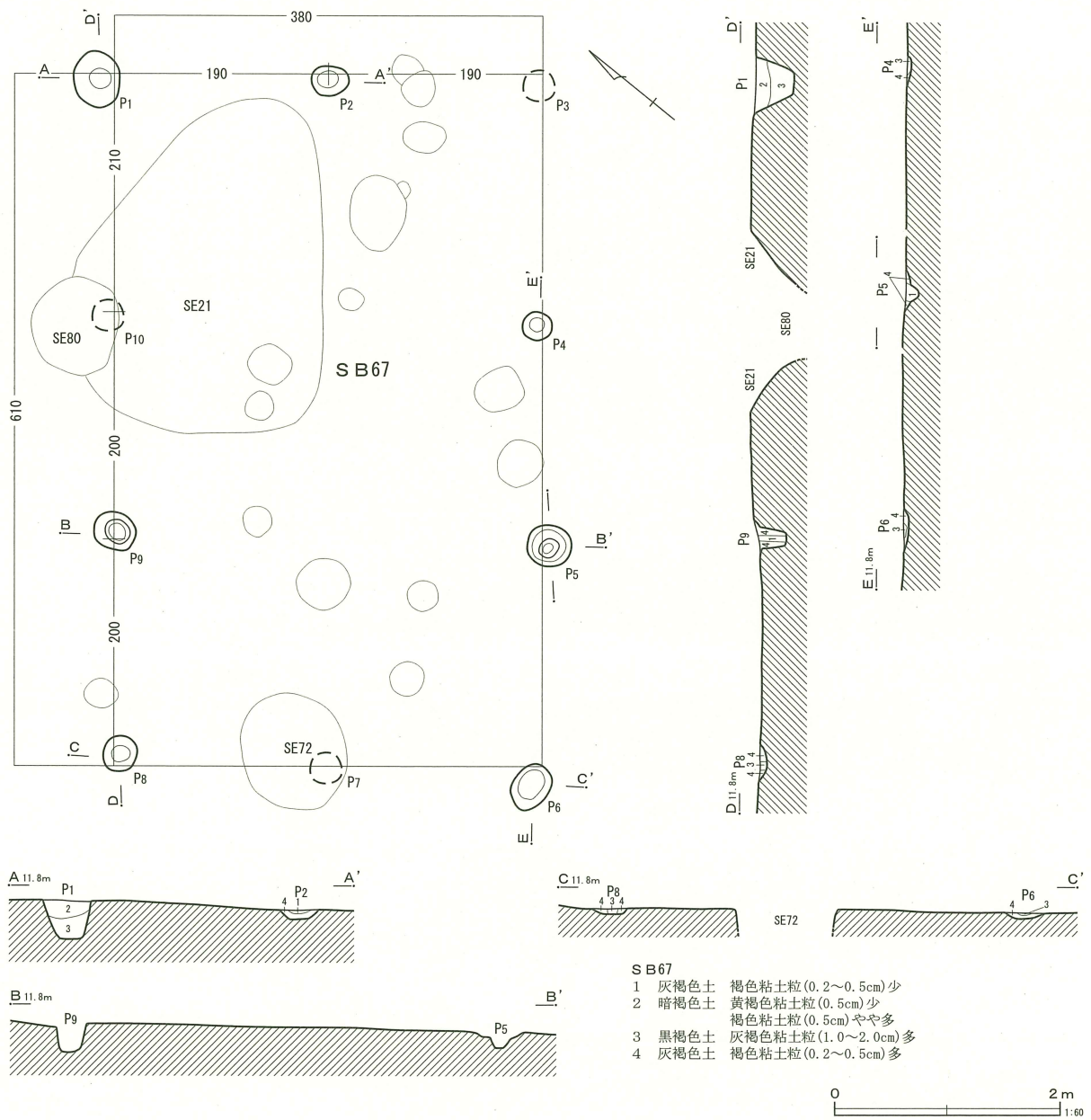
SB66
 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.5~0.8cm)多
 褐色粘土粒(0.5cm)やや多
 2 褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.4cm)少
 抜き取り痕



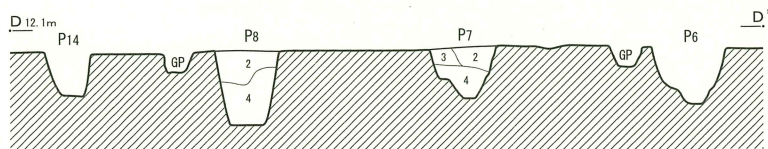
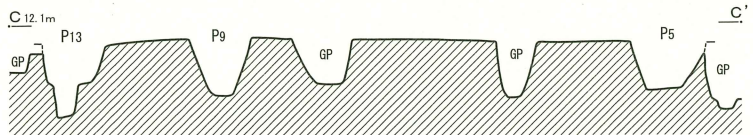
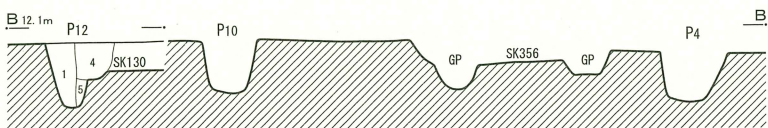
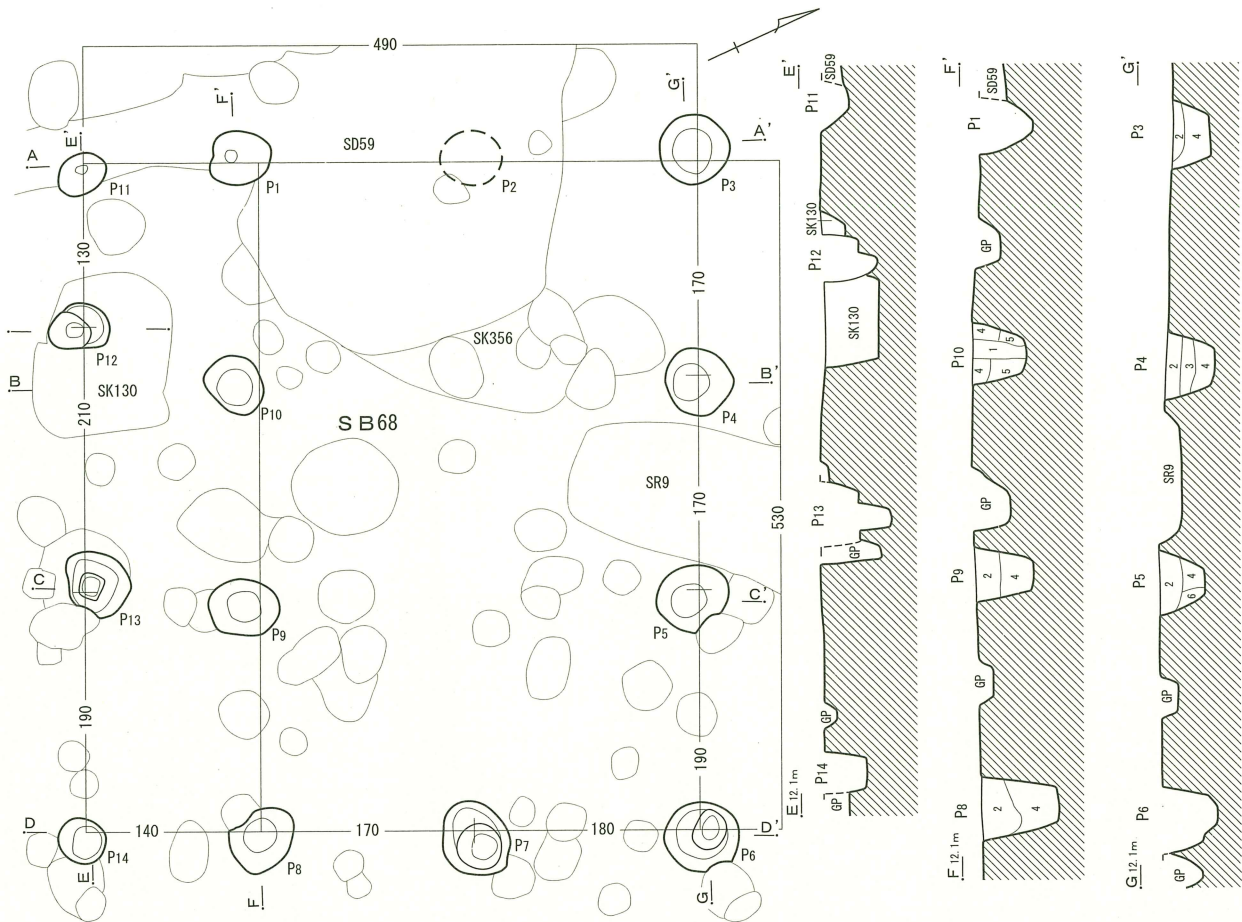
第131図 第66号掘立柱建物跡(1)



第132图 第66号掘立柱建物跡 (2)



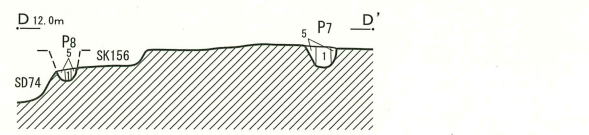
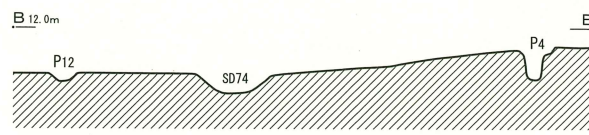
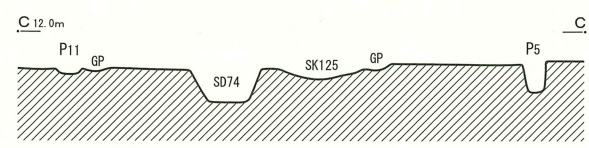
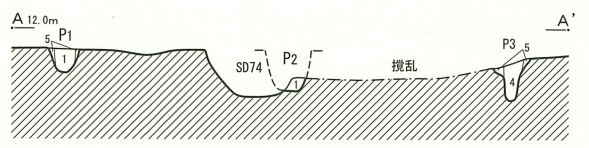
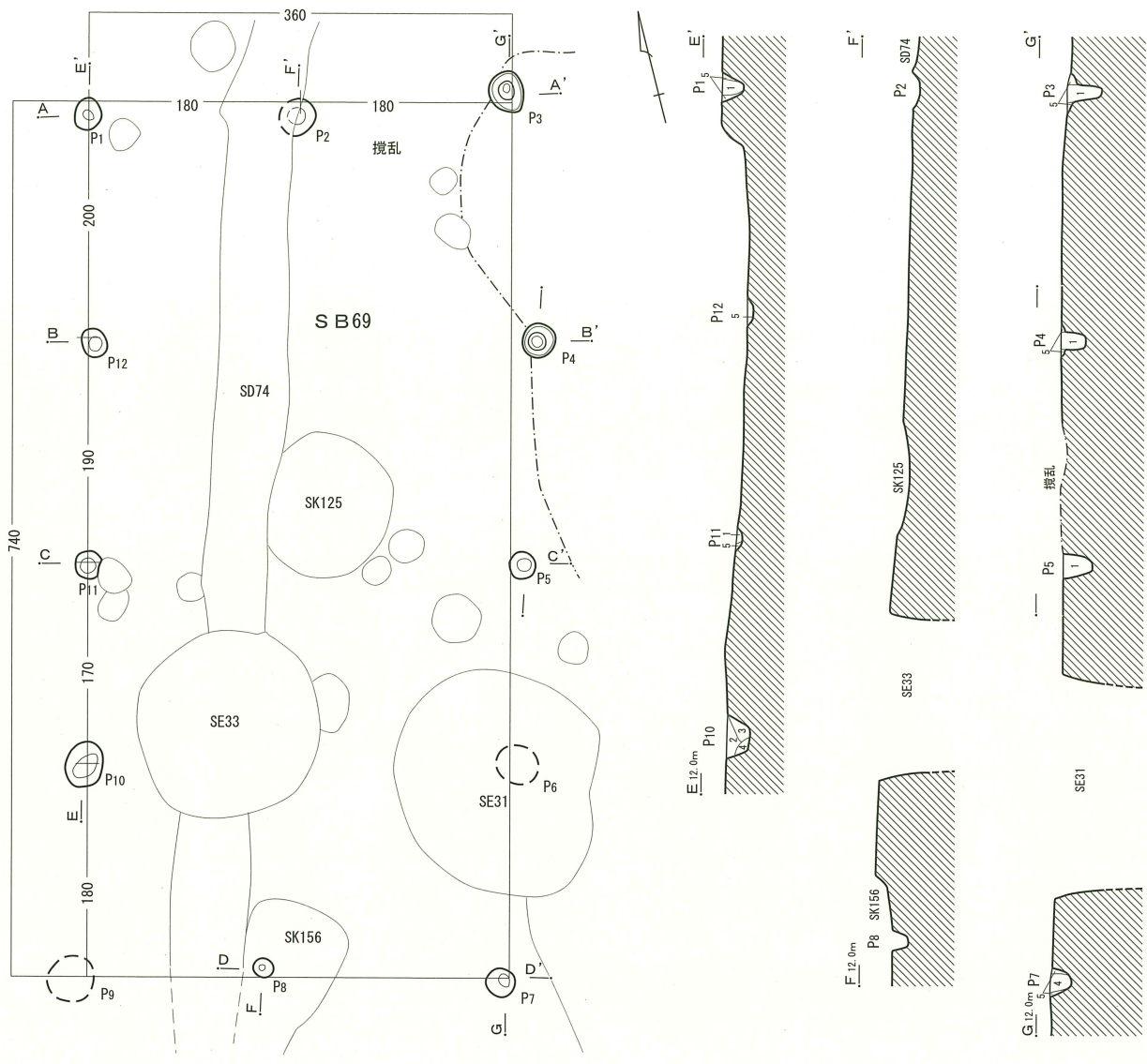
第133图 第67号掘立柱建物跡



- S B 68**
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (0.1~0.2cm) 微量 柱痕跡
 - 2 褐色土 焼土粒微量
 - 3 褐色土 黄褐色粘土粒 (0.3~1.0cm) 多
 - 4 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (0.2~0.8cm) 多
褐色粘土粒 (0.2~0.4cm) 微量
 - 5 暗褐色土 暗灰色粘土粒 (0.2~0.5cm) やや多
 - 6 褐色土 暗褐色土ブロック (1.0~1.5cm)
・黄褐色粘土粒 (0.2~0.5cm) やや多



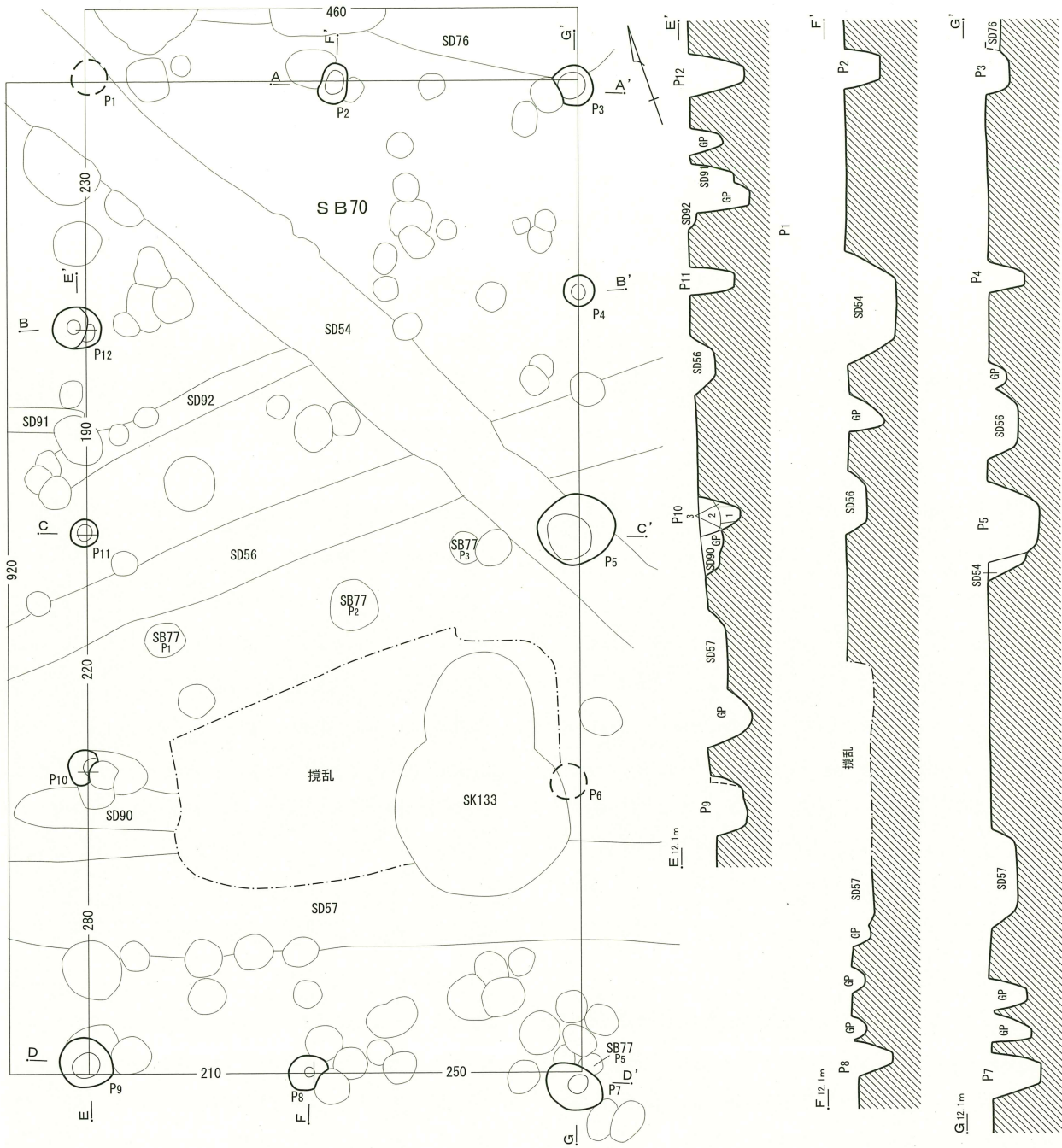
第134図 第68号掘立柱建物跡



- S B 69
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (0.5cm) やや多
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (0.2~0.5cm) 微量
 - 3 暗褐色土 暗褐色土ブロック (0.5cm) やや多
 - 4 褐色土 黄褐色粘土粒 (0.2~0.5cm) やや多
 - 5 明灰色土 暗褐色土ブロック (0.2~0.3cm) 少 酸化土

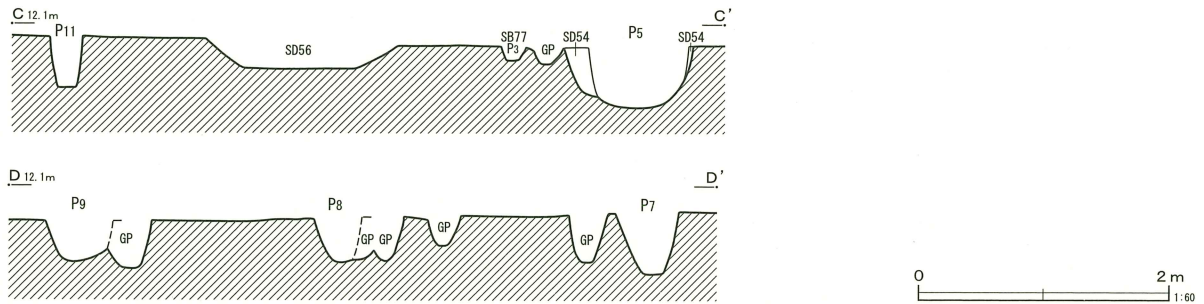


第135図 第69号掘立柱建物跡



SB70
 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック (0.5~0.8cm) 多 柱痕跡
 2 黒褐色土 黄褐色粘土粒 (0.1~0.2cm) 少
 3 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック (0.2~0.3cm) 多

第136図 第70号掘立柱建物跡 (1)



第137図 第70号掘立柱建物跡（2）

5間1.7m、P5-P6間1.9m、P8-P9間1.7m、P9-P10間1.8m、P10-P11間1.8m（平均1.77m）、梁行P6-P7間1.8m、P7-P8間1.7m（平均1.75m）、廂と判断した部分の桁行P11-P12間1.3m、P12-P13間2.1m、P13-P14間1.9m（平均1.77m）である。廂の出はP1-P11間1.2m、P8-P14間1.4m、P9-P13間1.2m、そしてP10から廂の柱筋までの距離1.2m（平均1.25m）である。なお、P2は確認されていない。柱穴の規模は径30×35cm～50×70cm、深さ20～60cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、全体的に径・深度は中規模である。桁行・梁行・廂ともに柱筋は比較的通り、母屋の柱間距離は近似している。

遺物は出土しなかった。

第69号掘立柱建物跡（第135図）

F-15・16グリッドに位置する。重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行4間（7.4m）、梁行2間（3.6m）、面積26.64㎡、主軸方位はN-14°-Eである。

柱間距離は、桁行P3-P4間2.0m、P4-P5間1.9m、P10-P11間1.7m、P11-P12間1.9m、P12-P1間2.0m（平均1.90m）、梁行P1-P2間1.8m、P2-P3間1.8m、P7-P8間2.1m（平均1.90m）、なお、P6・P9は確認されていない。柱穴の規模は径15×20cm～35×40cm、深さ5～30cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、全体的に径・深度ともに小規模である。P4は、柱筋よりも外側に位

置している。この点を除けば、桁行・梁行ともに柱筋は比較的通っているが、南側梁行の間柱は柱筋よりも内側に入り込んでいる。また、柱間距離はほぼ近似している。

遺物は出土しなかった。

第70号掘立柱建物跡（第136・137図）

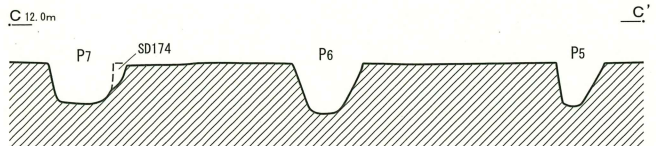
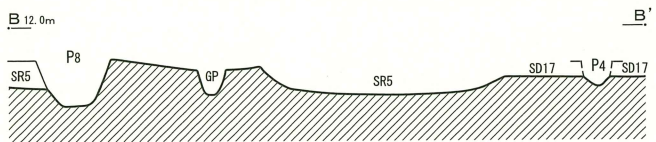
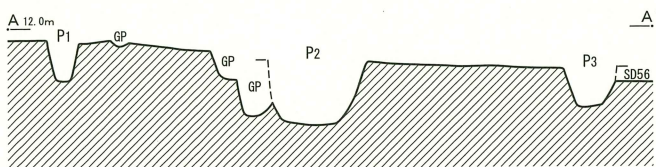
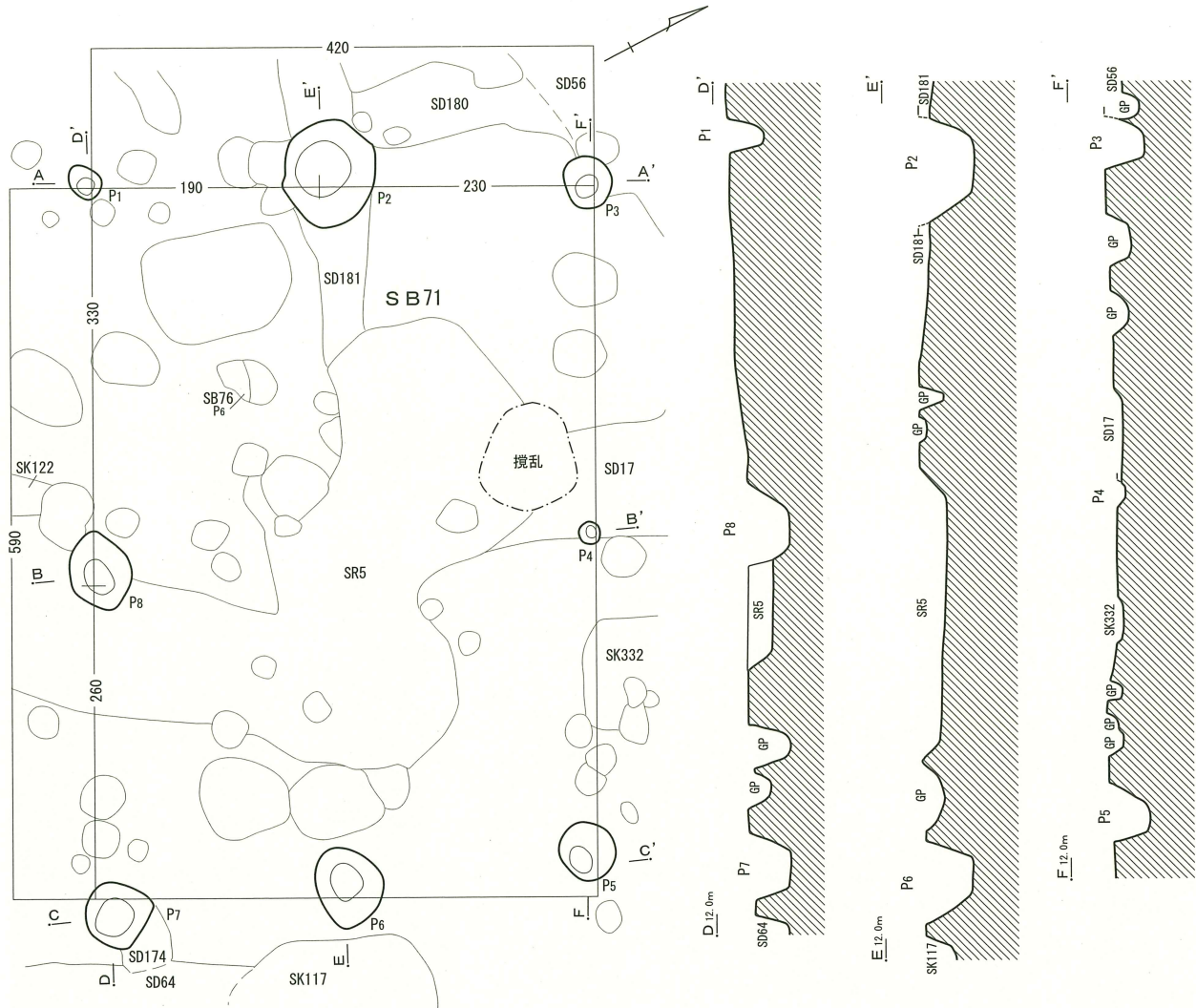
E・F-17グリッドに位置する。第54号溝跡を切っている。第77号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行4間（9.2m）、梁行2間（4.6m）、面積42.32㎡、主軸方位はN-19°-Eである。

柱間距離は、桁行P3-P4間2.0m、P4-P5間2.3m、P9-P10間2.8m、P10-P11間2.2m、P11-P12間1.9m（平均2.24m）、梁行P2-P3間2.3m、P7-P8間2.5m、P8-P9間2.1m（平均2.30m）、なお、P1・P6は確認されていない。柱穴の規模は径23×28cm～68×74cm、深さ23～52cmと少し幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、P5を除いて、全体的に径・深度は小規模である。桁行・梁行ともに柱筋は比較的通っているが、柱間距離には幅がある。

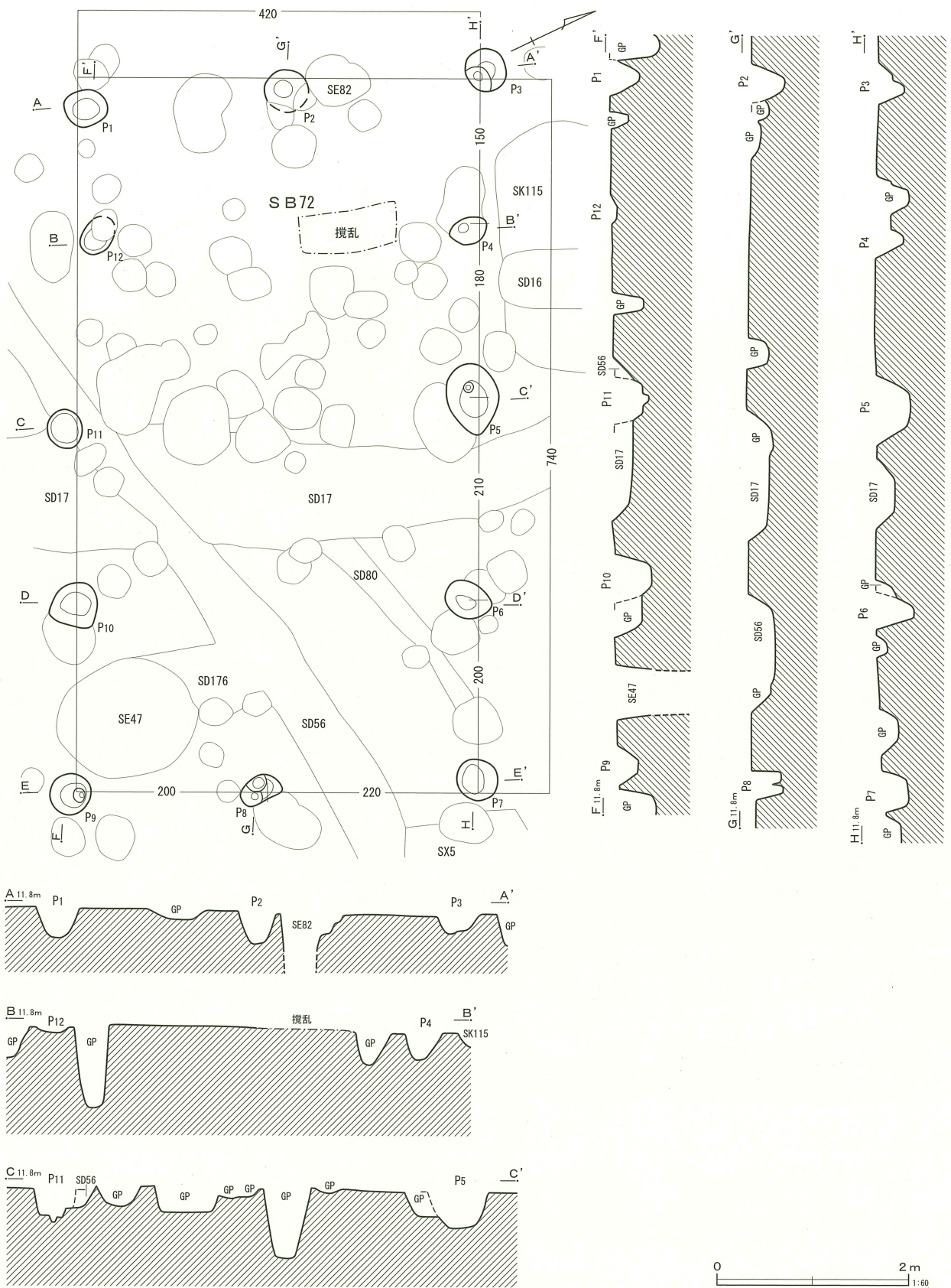
遺物は出土しなかった。

第71号掘立柱建物跡（第138図）

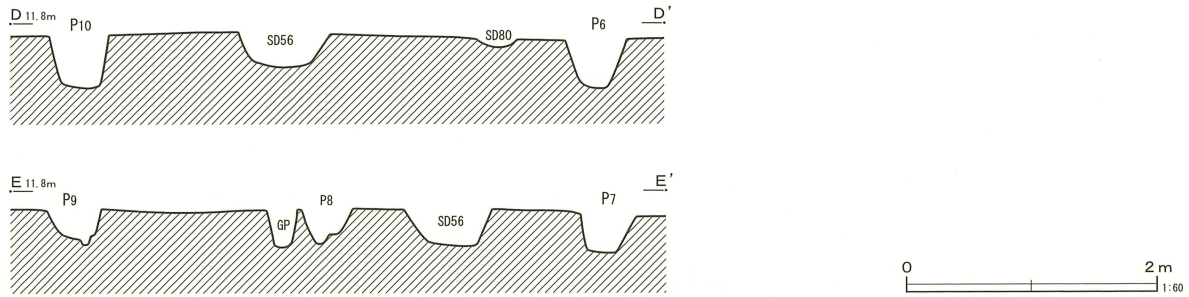
E・F-18・19グリッドに位置する。第5号周溝状遺構を切る。第76号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行2間（5.9m）、梁行2間（4.2m）、面積24.78㎡、主軸方位はN-65°-Wである。



第138图 第71号掘立柱建物跡



第139图 第72号掘立柱建物迹 (1)



第140図 第72号掘立柱建物跡 (2)

柱間距離は、桁行P 3－P 4間2.9m、P 4－P 5間3.0m、P 7－P 8間2.6m、P 8－P 1間3.3m (平均2.95m)、梁行P 1－P 2間1.9m、P 2－P 3間2.3m、P 5－P 6間2.1m、P 6－P 7間2.1m (平均2.10m)である。柱穴の規模は径15×20cm～80×90cm、深さ5～40cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、径・深度は小規模なものが多い。P 5が内側に入り込んでいるほかは、桁行・梁行ともに柱筋は比較的通っているが、柱間距離はやや変則的である。

位置的に、第72号掘立柱建物跡(N-65°-W)に平行し、また重複する第76号掘立柱建物跡(N-60°-W)とも平行関係にある。

遺物は出土しなかった。

第72号掘立柱建物跡 (第139・140図)

E-18・19グリッドに位置する。重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行4間(7.4m)、梁行2間(4.2m)、面積31.08㎡、主軸方位はN-65°-Wである。

柱間距離は、桁行P 3－P 4間1.5m、P 4－P 5間1.8m、P 5－P 6間2.1m、P 6－P 7間2.0m、P 9－P 10間2.0m、P 10－P 11間1.8m、P 11－P 12間1.9m、P 12－P 1間1.7m (平均1.85m)、梁行P 1－P 2間2.1m、P 2－P 3間2.1m、P 7－P 8間2.2m、P 8－P 9間2.0m (平均2.10m)である。柱穴の規模は径28×40cm～54×72cm、深さ5～38cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、全体的に径・深度は小規模なものが多い。桁行・梁行ともに柱筋は比

較的通っている。桁行の柱間距離は、やや変則的である。

遺物は出土しなかった。

第73号掘立柱建物跡 (第141・142図)

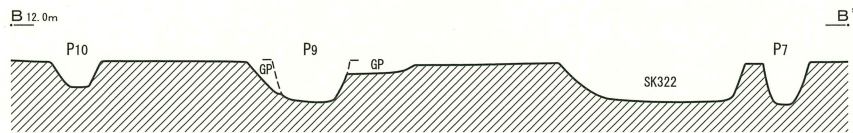
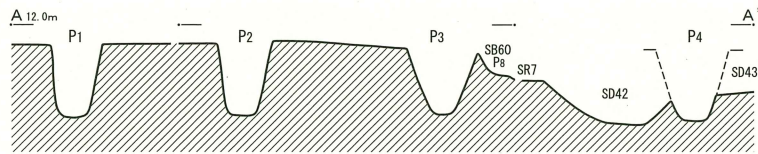
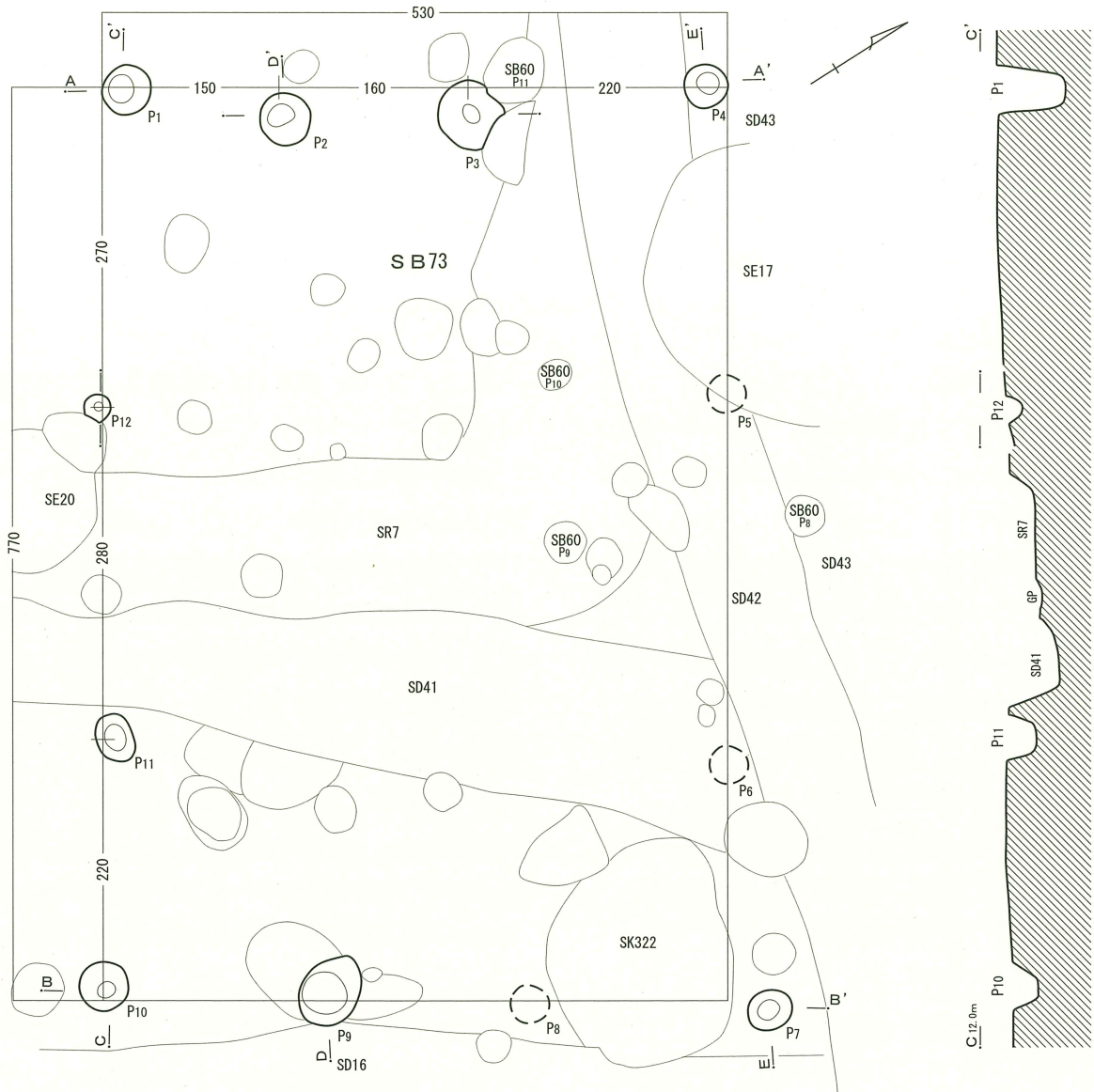
D-18・19グリッドに位置する。第7号周溝状遺構を切るが、第60号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行3間(7.7m)、梁行3間(5.3m)、面積40.81㎡、主軸方位はN-60°-Wである。

柱間距離は、桁行P 10－P 11間2.2m、P 11－P 12間2.8m、P 12－P 1間2.7m (平均2.57m)、梁行P 1－P 2間1.5m、P 2－P 3間1.6m、P 3－P 4間2.2m、P 9－P 10間1.9m (平均1.80m)である。なお、P 5・P 6・P 8は確認されていない。柱穴の規模は径20×20cm～50×65cm、深さ15～55cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、全体的に径・深度は小規模なものが多い。西側桁行の柱筋は通っているが、東側桁行の隅柱は、ずれた位置関係にある。また、北側梁行の2本の間柱は柱筋より内側に入り込んでおり、柱間距離も一定しない。

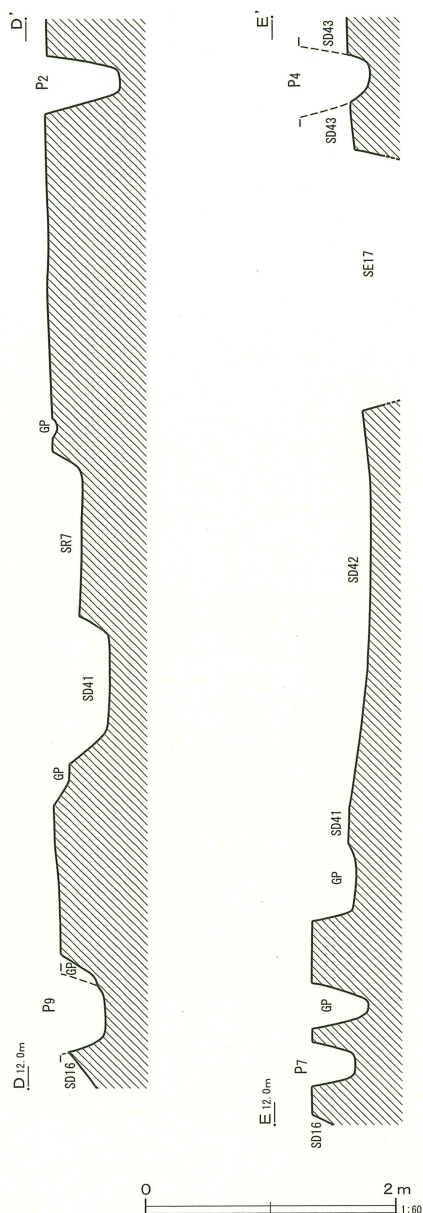
遺物は出土しなかった。

第74号掘立柱建物跡 (第143図)

B・C-19・20グリッドに位置する。第2・3号周溝状遺構を切っているが、第55・75号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行3間(6.8m)、梁行2間(5.3m)、面積36.04㎡、主軸方位はN-30°-Eである。



第141图 第73号掘立柱建物跡 (1)



第142図 第73号掘立柱建物跡 (2)

柱間距離は、桁行P3-P4間2.3m、P9-P10間2.0m、P10-P1間2.2m(平均2.17m)、梁行P1-P2間3.0m、P2-P3間2.3m、P6-P7間2.7m(平均2.67m)である。柱穴の規模は径30×45cm~60×70cm、深さ15~60cmと幅がある。また、P5・P8は確認されていない。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形で、径・深度は小規模なものが多い。柱間距離は不揃いで、東側桁行と南側梁行の柱筋は通らない。

遺物は出土しなかった。

第75号掘立柱建物跡 (第144・145図)

B-19、C-19・20グリッドに位置する。第3号周溝状遺構を切り、第43号井戸跡に切られる。第74号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行3間(7.9m)、梁行(5.7m)については、間柱が確認されていないため間数は不明である。面積45.03㎡、主軸方位はN-21°-Eである。

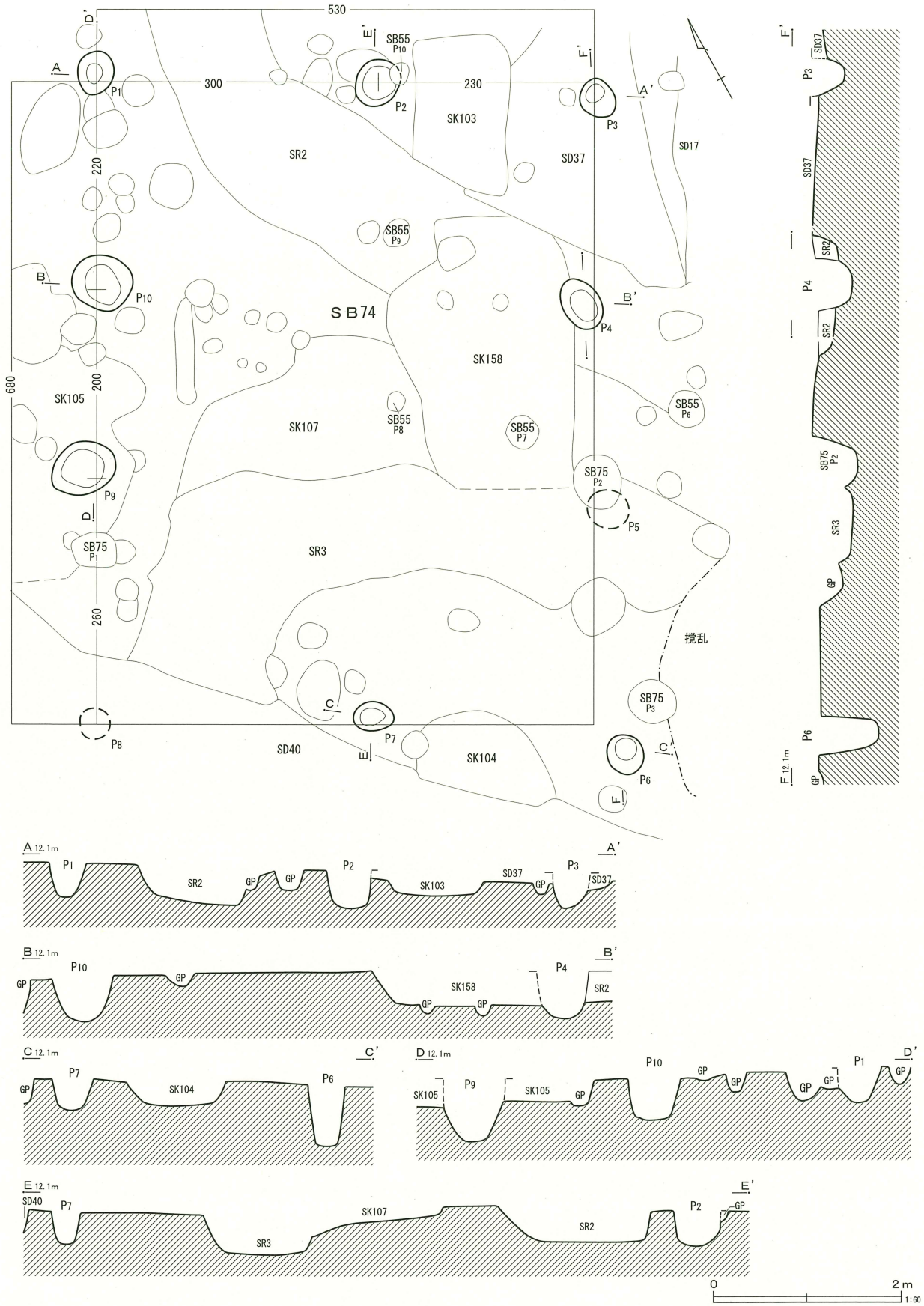
柱間距離は、桁行P2-P3間2.4m、P3-P4間3.7m、P4-P5間1.8m、P8-P1間2.3m(平均2.55m)である。柱穴の規模は径25×31cm~58×70cm、深さ15~74cmと幅がある。なお、P7は確認されていない。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形であるが、平面規模、深度ともに不揃いである。また、柱穴の柱筋は通らず、柱間距離も揃っていない。

遺物は出土しなかった。

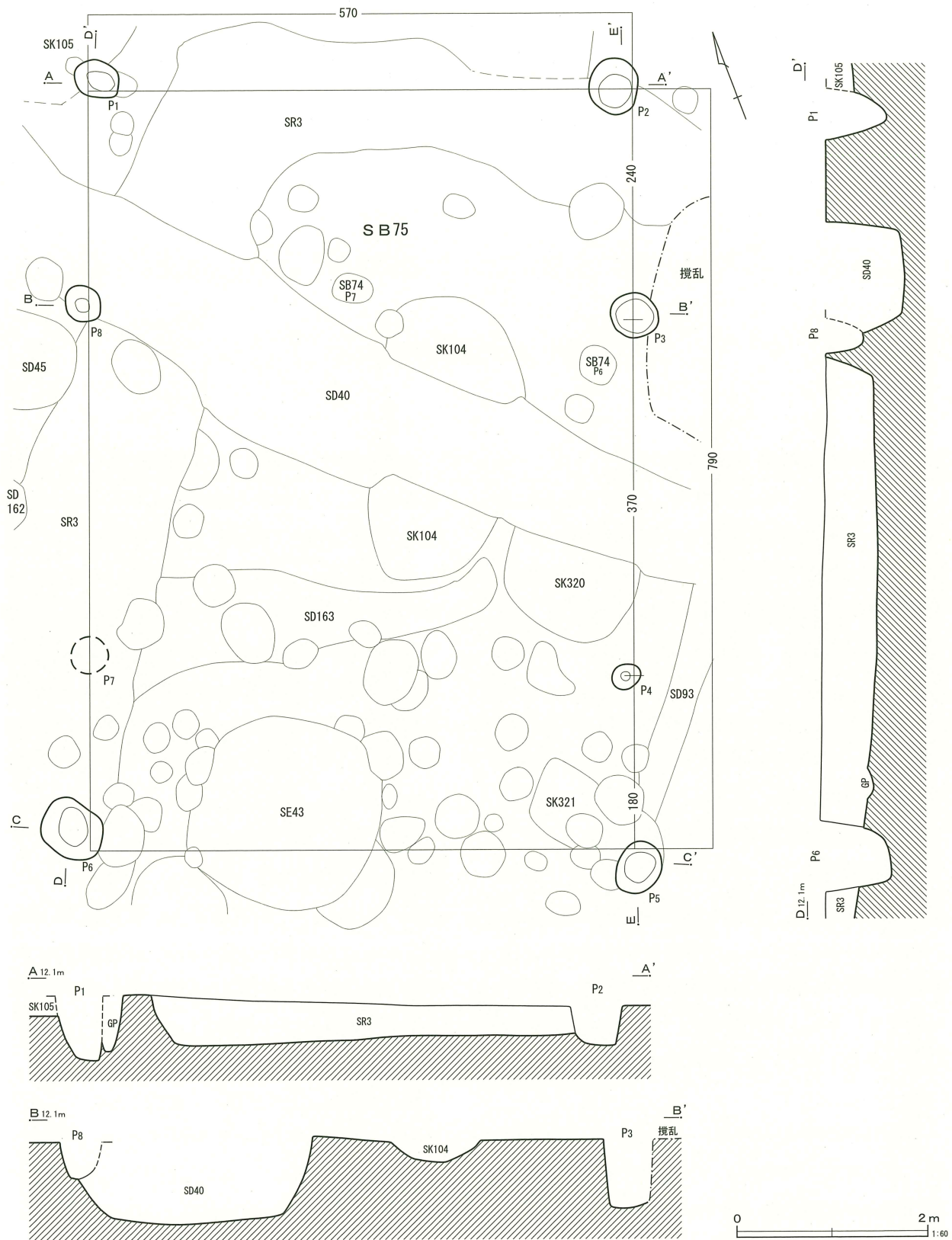
第76号掘立柱建物跡 (第146・151図)

E-18、F-17・18グリッドに位置する。第5号周溝状遺構を切っているが、第71号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行3間(7.7m)、梁行2間(4.1m)、面積31.57㎡、主軸方位はN-60°-Wである。

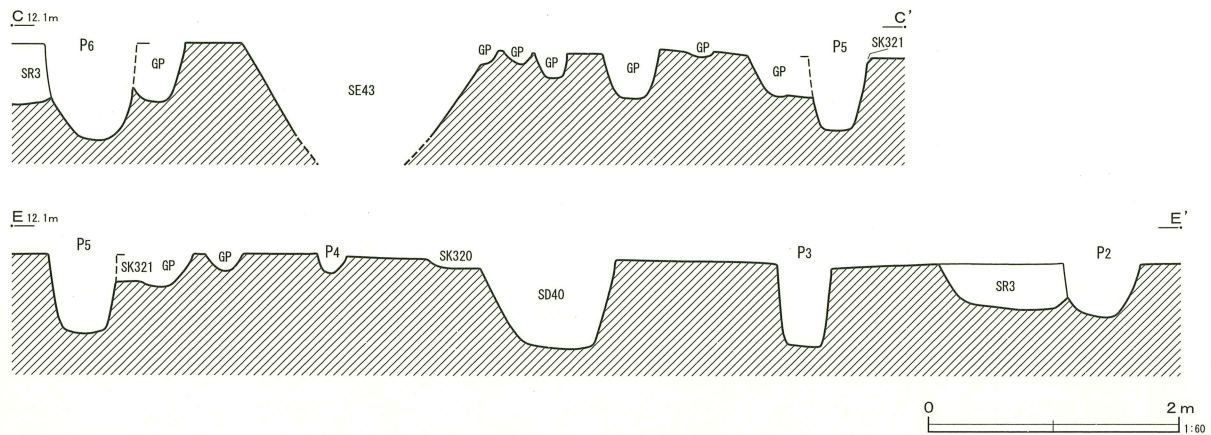
柱間距離は、桁行P3-P4間3.0m、P4-P5間2.0m、P5-P6間2.7m、P8-P9間2.8m、P9-P10間2.4m、P10-P1間2.5m(平均2.57m)、梁行P1-P2間1.6m、P2-P3間2.5m、P6-P7間2.1m、P7-P8間2.5m(平均2.18m)である。柱穴の規模は径25×25cm~55×60cm、深さ15~75cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形であるが、径・深度ともに小規模なものが多い。また、柱穴の中には、柱筋の通らない例も認められ、柱間距離も一定しない。位置的に、第72号掘立柱建物跡(N-65°-W)・重複する第71号掘立柱建物跡(N-65°-W)ともほぼ平行関係にある。



第143图 第74号掘立柱建物跡



第144图 第75号掘立柱建物迹 (1)



第145図 第75号掘立柱建物跡（2）

砥石が1点（9）出土した。

第77号掘立柱建物跡（第147図）

F-17グリッドに位置する。第70号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行（7.1m）、柱間距離から推して3間と推定される。梁行2間（2.9m）、面積20.59㎡、主軸方位はN-3°-Eである。

柱間距離は、桁行P5-P6間2.2m、P8-P9間2.3m（平均2.25m）、梁行P1-P2間1.9m、P2-P3間1.0m、P6-P7間1.5m、P7-P8間1.4m（平均1.45m）である。なお、P4・P10は確認されていない。柱穴の規模は径25×30cm～43×49cm、深さ25～65cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形であるが、全体的に平面規模、深度ともに小規模であり、不揃いといえる。また、柱間距離も一定しない。梁行の間柱（P2・P7）は、柱筋の内側に入り込んでいる。

遺物は出土しなかったが、他遺構との重複関係・主軸方位・規模から、中・近世と推定される。

第78号掘立柱建物跡（第148・151図）

E-16グリッドに位置する。第74号溝跡を切る。他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行2間（3.8m）、梁行2間（3.7m）、面積14.06㎡、主軸方位はN-69°-W

である。

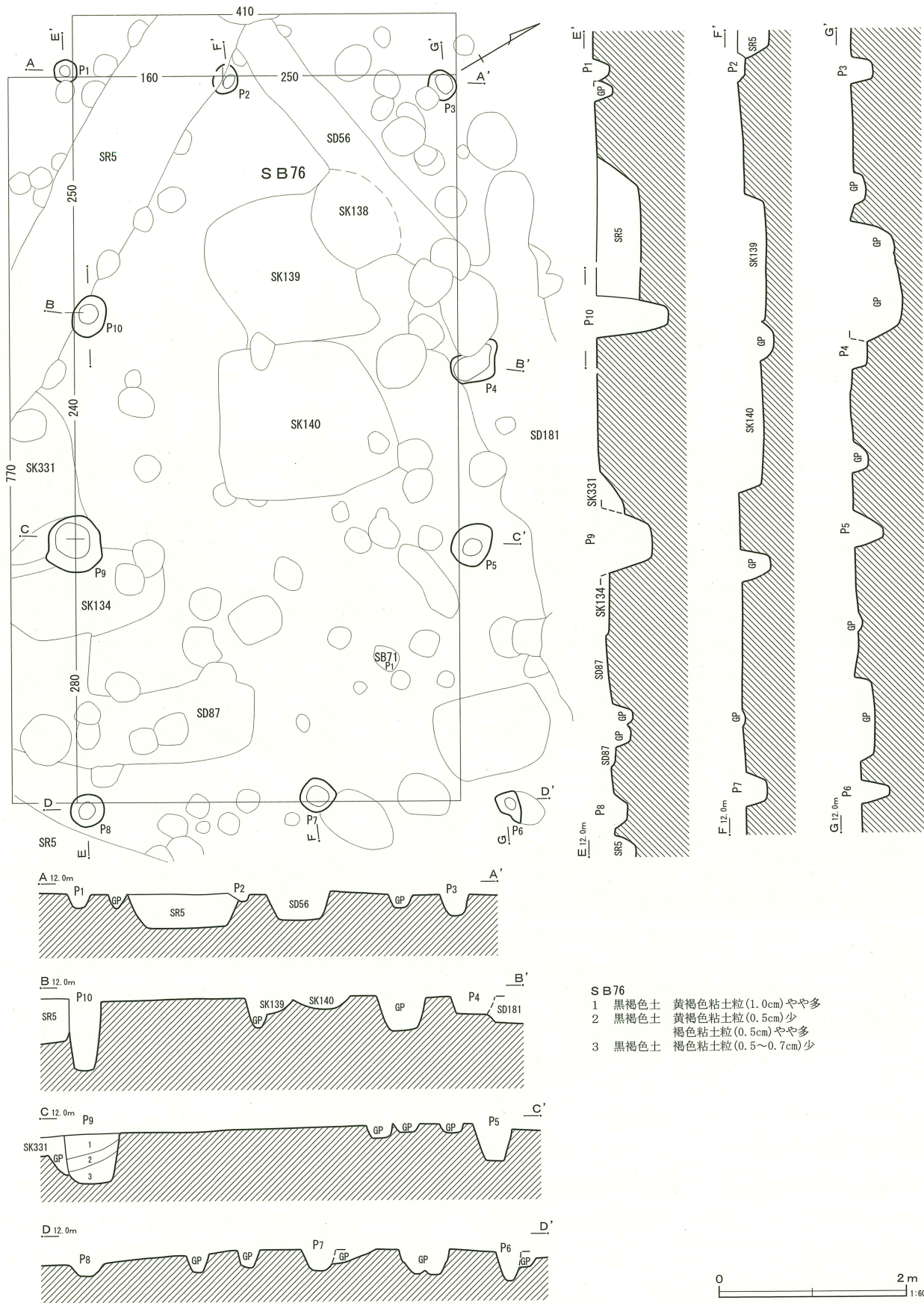
柱間距離は、桁行P1-P2間1.8m、P2-P3間2.0m、P5-P6間2.0m、P6-P7間1.8m（平均1.90m）、梁行P3-P4間1.8m、P4-P5間1.9m、P7-P8間1.9m、P8-P1間1.8m（平均1.90m）である。柱穴の規模は径27×30cm～50×78cm、深さ43～60cmと幅がある。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形であるが、平面規模・深度ともに小規模なものが多い。間柱はいずれも、径・深度ともに隅柱より小規模である。また、柱筋は、比較的通っている。

砥石（10・11）が2点出土した。

第79号掘立柱建物跡（第149・151図）

G-16グリッドに位置する。第36号井戸跡に切られる。他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行2間（4.1m）、梁行2間（3.1m）、面積12.71㎡、主軸方位はN-90°-Wである。

柱間距離は、桁行P3-P4間2.0m、P7-P8間2.1m（平均2.05m）、梁行P2-P3間1.5m、P6-P7間1.6m（平均1.55m）である。柱穴の規模は径20×25cm～55×80cm、深さ15～55cmと幅がある。なお、P1・P5は確認されなかった。柱穴の平面形は円形もしくは楕円形であるが、平面規模・深度ともに小規模なものが多く、不揃いである。また、柱筋の通りは比較的良好で、柱間



第146図 第76号掘立柱建物跡



第147図 第77号掘立柱建物跡

距離も一定している。

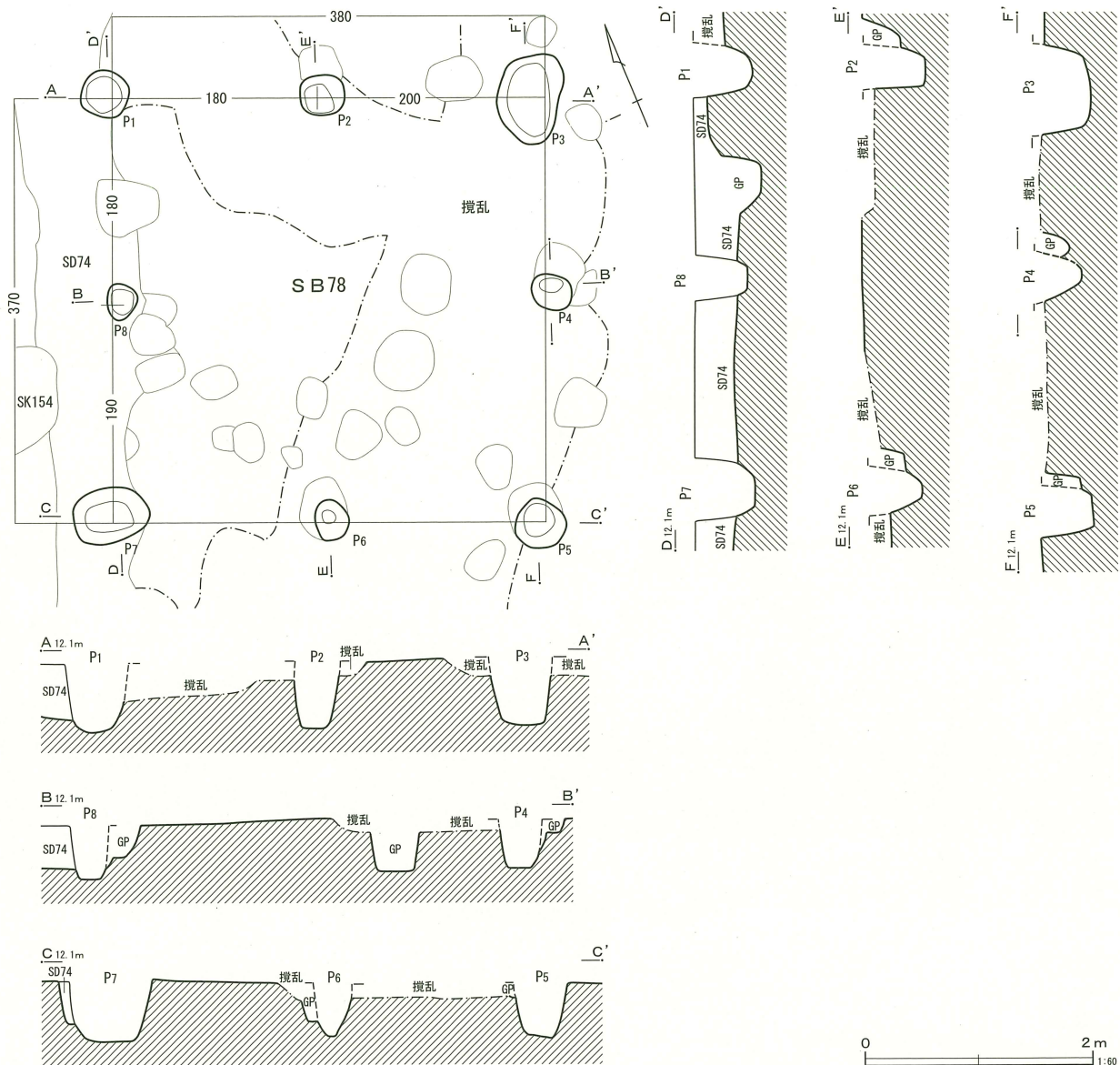
志野と考えられる瀬戸・美濃系の陶器碗（12）の破片が出土したことから、近世の掘立柱建物跡と推定される。

第80号掘立柱建物跡（第150図）

D-16、E-16・17グリッドに位置する。第

54号溝跡を切る。第65・66号掘立柱建物跡やその他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。母屋の規模は、桁行3間（5.8m）、梁行2間（3.2m）、面積18.56㎡、主軸方位はN-55°-Wである。

柱間距離は、桁行P3-P4間1.7m、P4-P

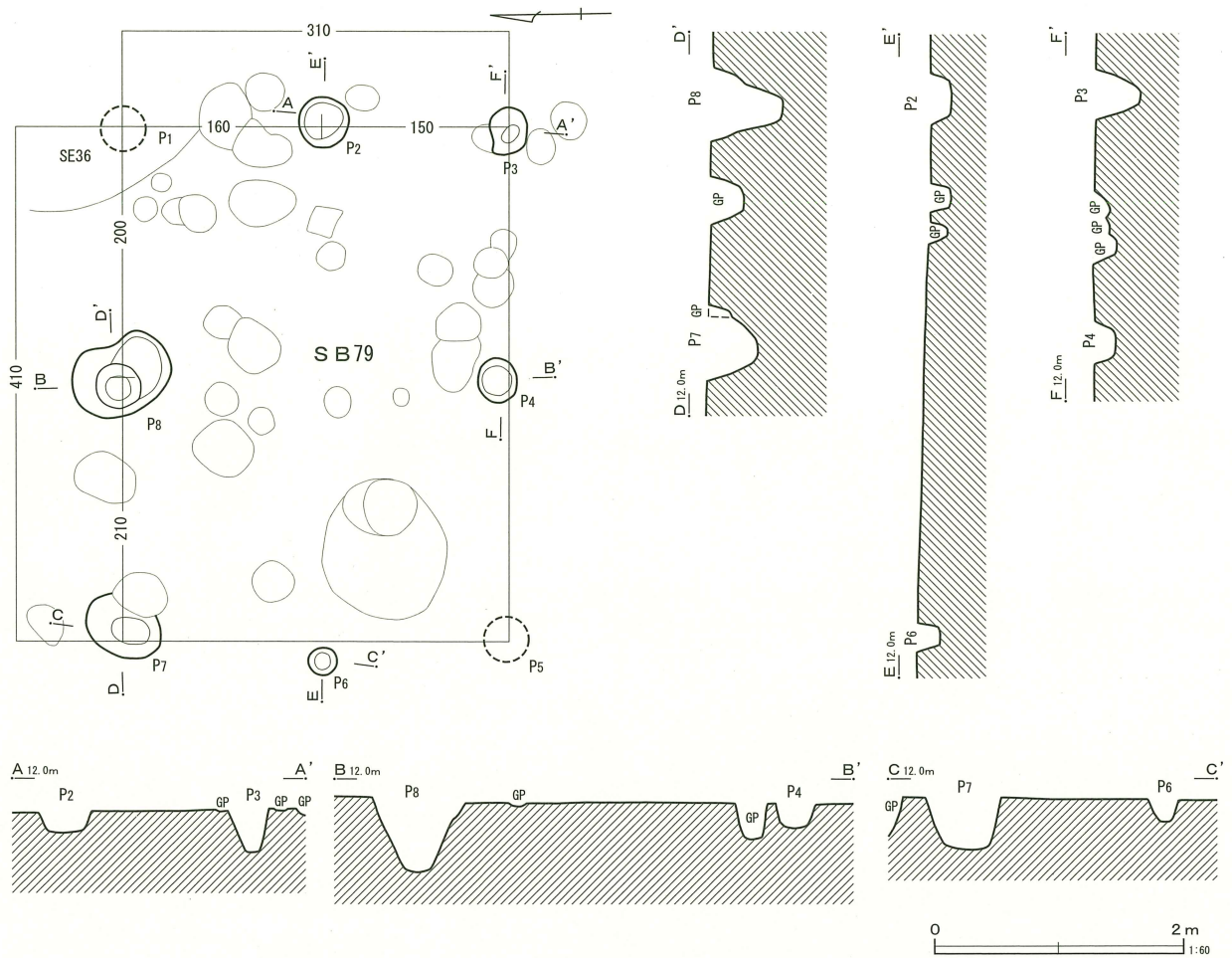


第148図 第78号掘立柱建物跡

5間2.4m、P5-P6間1.7m、P10-P1間2.0m (平均1.95m)、梁行P1-P2間2.0m、P2-P3間1.2m、P6-P7間1.6m、P7-P8間1.6m (平均1.60m)である。柱穴の規模は径20×25cm~45×55cm、深さ15~70cmと幅がある。なお、P9は確認できなかった。柱穴の平面形は

円形もしくは楕円形であるが、径・深度ともに小規模のものが多く、全体的に不揃いである。また、柱穴の中には、柱筋の通らない例も認められ、柱間距離も一定しない。梁行の間柱は、柱筋よりも僅かに内側に入り込んでいる。

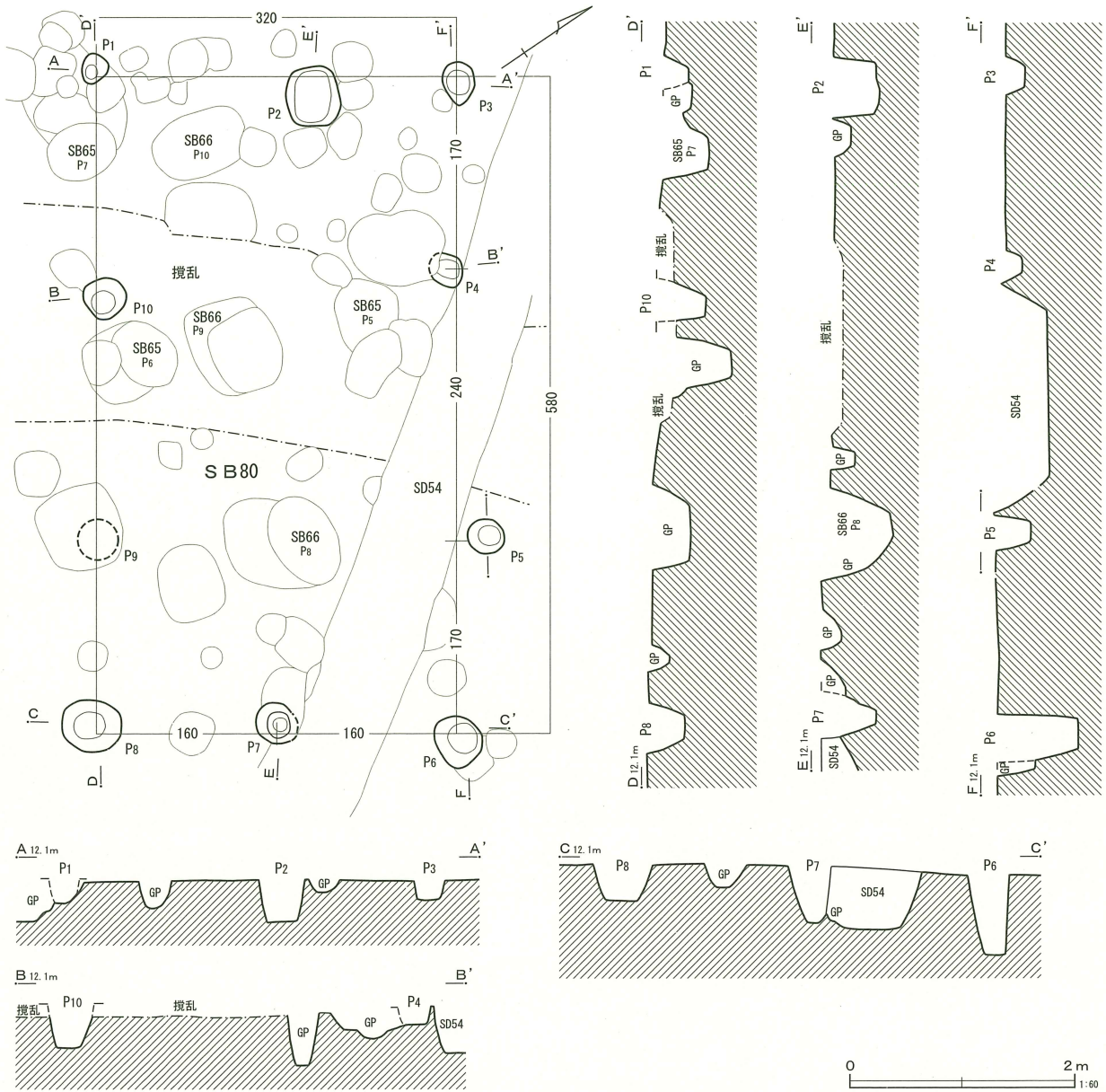
遺物は出土しなかった。



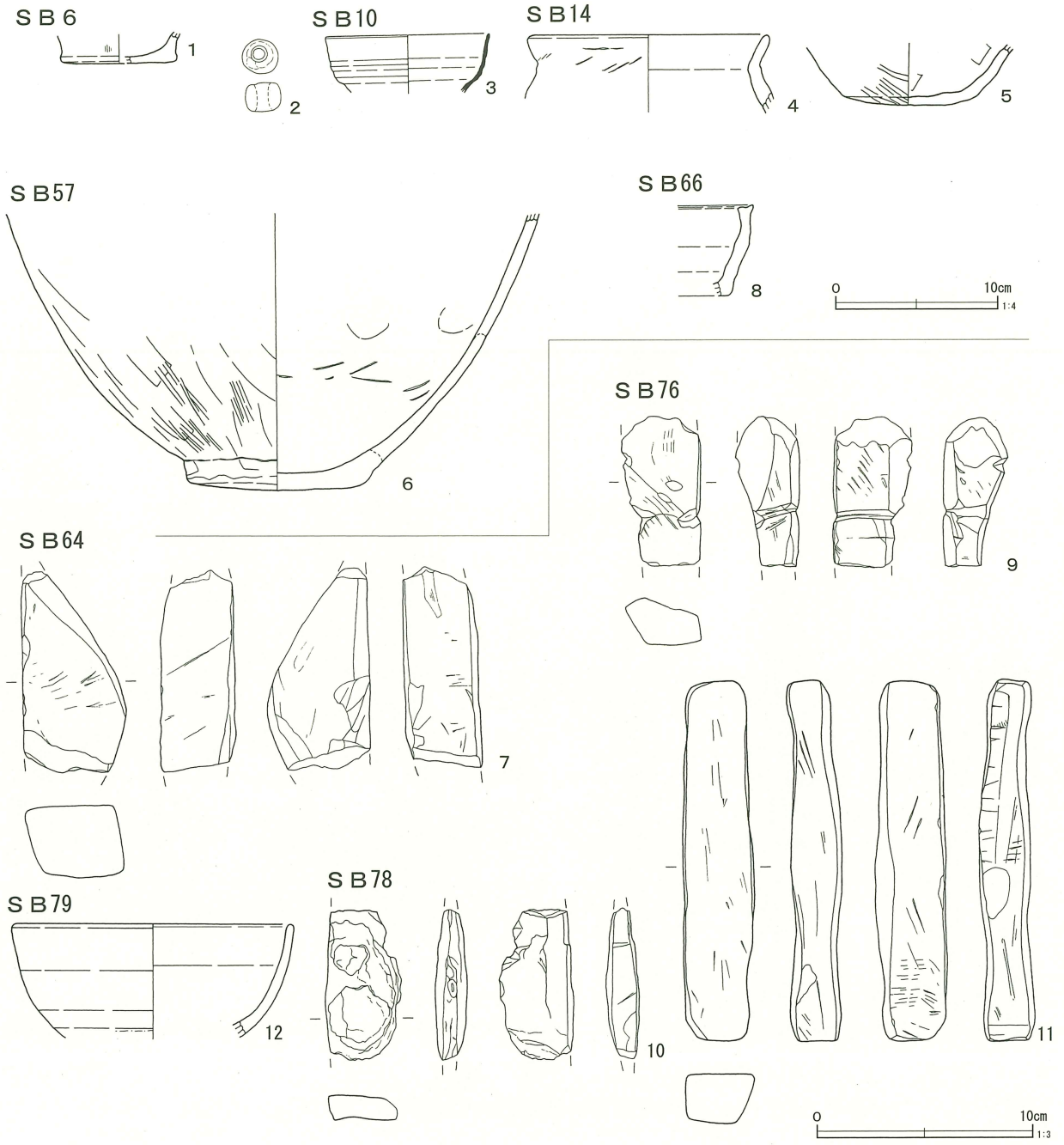
第149図 第79号掘立柱建物跡

第22表 掘立柱建物跡出土遺物観察表

番号	遺構	区別	種別	器種	残存率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型技法	備考
1	SB6	C	土師器	小型甕	25		(7.0)	[2.9]	A B C D G	普通	橙		旧 SB9 被熱により赤色化 器面風化顕著
2	SB6	C	土製品	土玉	100	長さ1.8cm 厚さ2.1cm 重さ5.8g	最大径2.2cm 孔径1.0cm		A B D F G	普通	橙		P8 旧 SB9
3	SB10	C	須恵器	高坏か	25	(10.1)		[3.6]	A B D G	普通	暗灰	轆轤	P5
4	SB14	C	土師器	甕	20	14.8		[4.9]	A B D F G	普通	灰褐		P1
5	SB14	C	土師器	壺	25		(8.2)	[3.8]	A B C F G	普通	にぶい 橙		P1 粗いヘラ磨き
6	SB57	A	土師器	壺	75		10.7	[17.1]	A C F G	普通	にぶい 橙		P10 器面風化顕著
7	SB64	A	石製品	砥石		長さ[9.0]cm 重さ188.3g	幅4.2cm	厚さ3.3cm					P9 欠損面以外の4面は砥ぎ面として 使用 側面の方が使用度高い 凝灰岩
8	SB66	A	土器	焙烙	5			[5.6]	A F	普通	灰白		P2 外面指頭圧痕
9	SB76	A	石製品	砥石		長さ[7.9]cm 重さ60.7g	幅3.6cm	厚さ2.1cm					P1 上下端部以外使用 使用度比較 的高い 凝灰岩
10	SB78	A	石製品	砥石		長さ[6.9]cm 重さ36.0g	幅3.4cm	厚さ1.2cm					P2 凝灰岩
11	SB78	A	石製品	砥石		長さ16.4cm 重さ164.2g	幅3.2cm	厚さ2.3cm					P6 全面使用 使用度高い
12	SB79	A	陶器	碗	10	(13.0)		[5.3]	I	良好	灰白	轆轤	長石釉 貫入・気泡多 瀬戸・美濃系 志野か 17C 前葉



第150图 第80号掘立柱建物跡



第151図 掘立柱建物跡出土遺物

6. 柵列跡

柵列跡と判断したのは、A・B・C区とも各1基ずつの計3基である。掘立柱建物跡の一部分が遺存している可能性も否定できないが、建物状にピットが並ばないものを、柵列跡として扱った。

第1号柵列跡 (第153図)

F・G-16グリッドに位置する。位置的に第10号周溝状遺構、第75・177号溝跡と重複するが、新旧関係は確認できなかった。

P1~5が確認された。総延長8.30m、柱間は1.70~3.00m (平均2.08m)、柱穴の規模は径20×28cm~42×48cm、深さ8~32cmと幅がある。方位はN-31°-Wを指し、第54号溝跡(N-28°

-W) とほぼ平行し、第67号掘立柱建物跡の梁行方位(N-31°-W)に近いといえる。

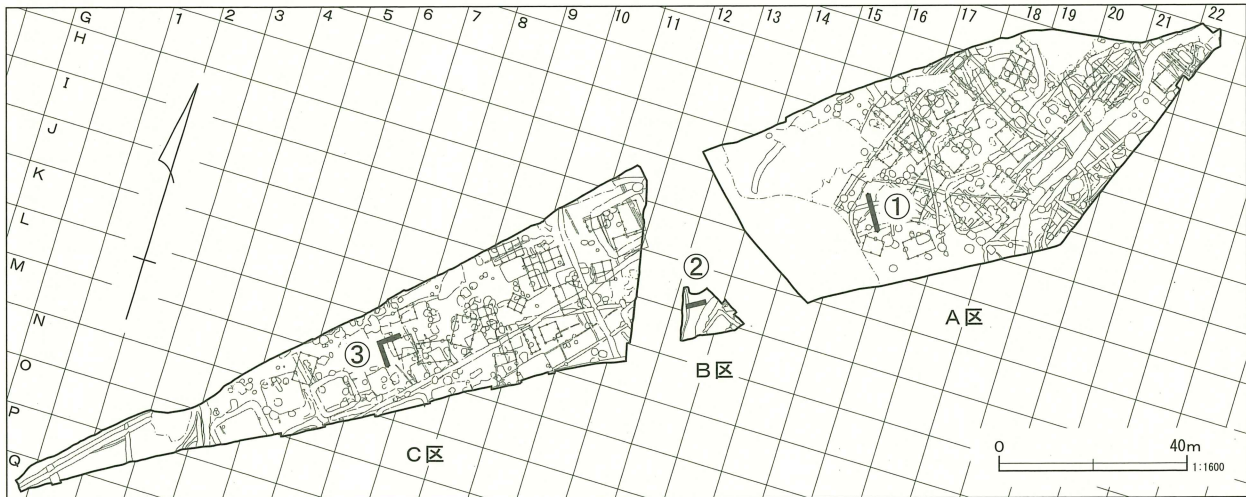
遺物は出土しなかった。

第2号柵列跡 (第154図)

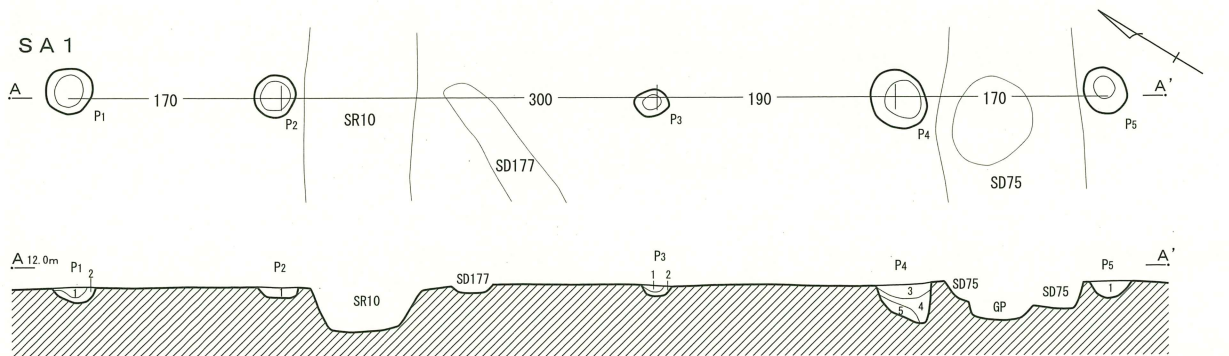
I-13グリッドに位置する。第122号溝跡を切っている。

P1~4が確認された。総延長4.10m、柱間は1.00~1.60m (平均1.37m)、柱穴の規模は径23×23cm~30×33cm、深さ13~23cmと幅がある。方位はN-60°-Eを指すが、近隣にはこれに近い方位を指す遺構は確認されていない。

遺物は出土しなかった。



第152図 柵列跡分布図

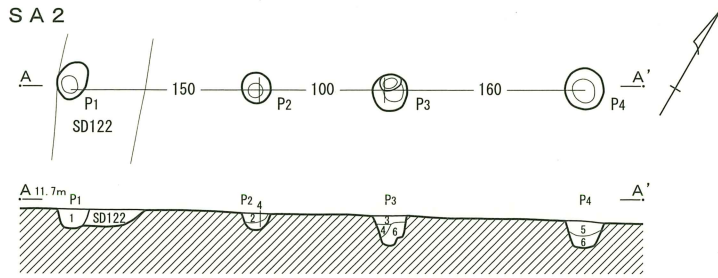


SA 1

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)多
- 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少
- 4 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.1~0.2cm)少
- 5 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)多

0 2m
1:60

第153図 第1号柵列跡



- SA 2
- 1 暗褐色土 褐色粘土ブロック(0.2cm)・黄褐色土ブロック(0.2cm)多
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~1.0cm)多
 - 3 暗灰褐色土 焼土粒(0.1~0.2cm)微量
灰色土ブロック(0.5~1.0cm)・酸化鉄少
 - 4 暗褐色土 4に類似
 - 5 黄灰色土 地山の埋戻し
 - 6 灰褐色土 黒褐色土ブロック(0.5~1.0cm)・酸化鉄少



第154図 第2・3号柵列跡

第3号柵列跡 (第154図)

L-7グリッドに位置する。位置的に多数の遺構と重複するが、新旧関係は確認できなかった。

P1~7が確認された。柵列は3間ずつ、直角に構成されている。総延長は、P1~4が5.40m、P4~7が4.80m、柱間は1.40~1.90m(平均1.70m)、柱穴の規模は径18×20cm~30×30cm、

深さ14~40cmと幅がある。方位はP1~4がN-36°-W、P4~7がN-54°-Eを指す。

近隣の遺構である第17号掘立柱建物跡(N-37°-W、またはN-53°-E)・第19号掘立柱建物跡(N-34°-W、またはN-56°-E)に近いといえるが、関連性については言及できない。遺物は出土しなかった。

7. 土壌

土壌は、A区87基、B区1基、C区197基の計285基である。古墳時代、古代、中・近世のものが混在するが、遺物の出土が少なく、時期を特定することが難しいものが多いことから、この項ですべてを扱うこととした。

第1号土壌 (第156図)

H-11グリッドに位置する。第4号掘立柱建物跡P5・P6を切っている。平面形は楕円形で、長径1.95m、短径1.55m、深さ0.15m、長軸方位はN-14°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第2号土壌 (第156図)

H-11グリッドに位置する。第1号方形周溝墓・第8号土壌と重複しているが、新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.55m、短径1.15m、深さ0.25m、長軸方位はN-63°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第3号土壌 (第156図)

I-11グリッドに位置する。第7号溝跡を切り、第3号掘立柱建物跡P8と1基のピットに切られている。平面形は長楕円形で、長径3.30m、短径1.25m、深さ0.20m、長軸方位はN-32°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第4号土壌 (第156図)

H-11グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.05m、短径0.80m、深さ0.14m、長軸方位はN-46°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第5号土壌 (第156図)

I-10グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.25m、短径0.90m、深さ0.09m、長軸方位はN-62°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第6号土壌 (第156図)

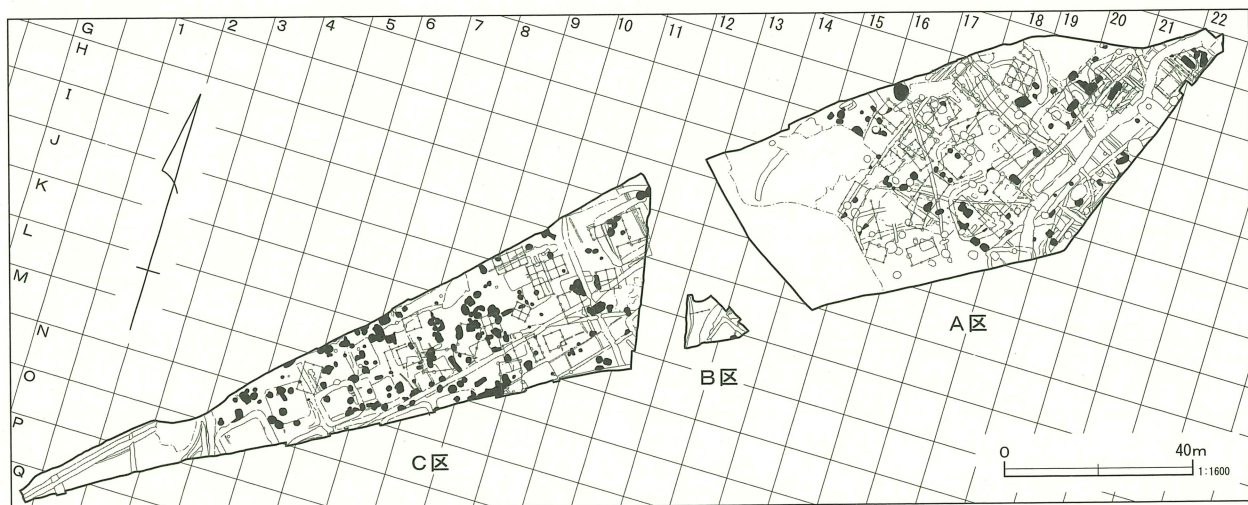
I-11グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径0.65m、短径0.55m、深さ0.05m、長軸方位はN-73°-Eである。

遺物は出土しなかった。

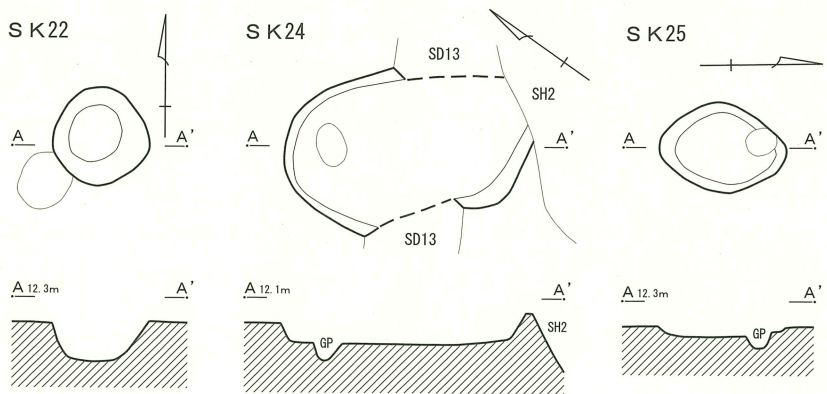
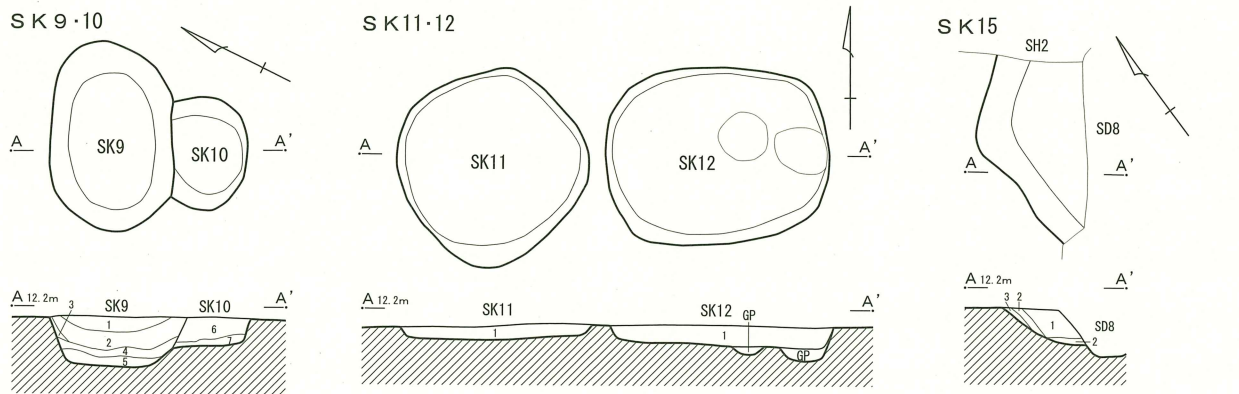
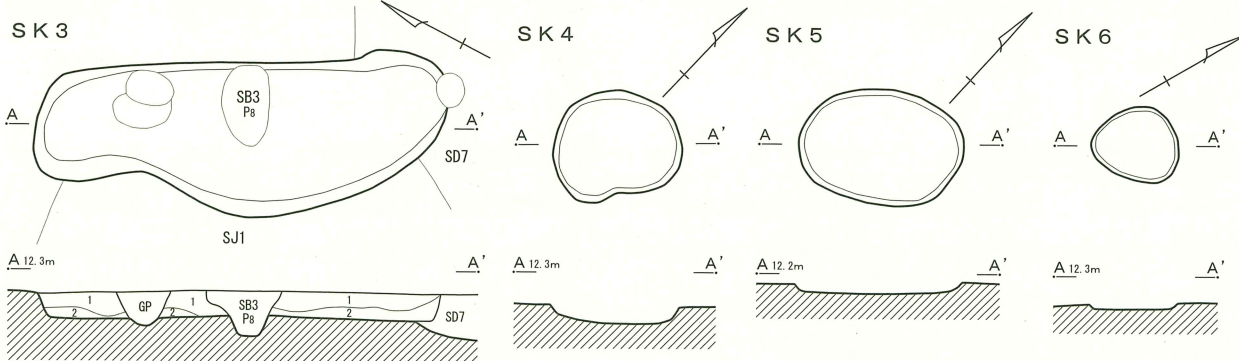
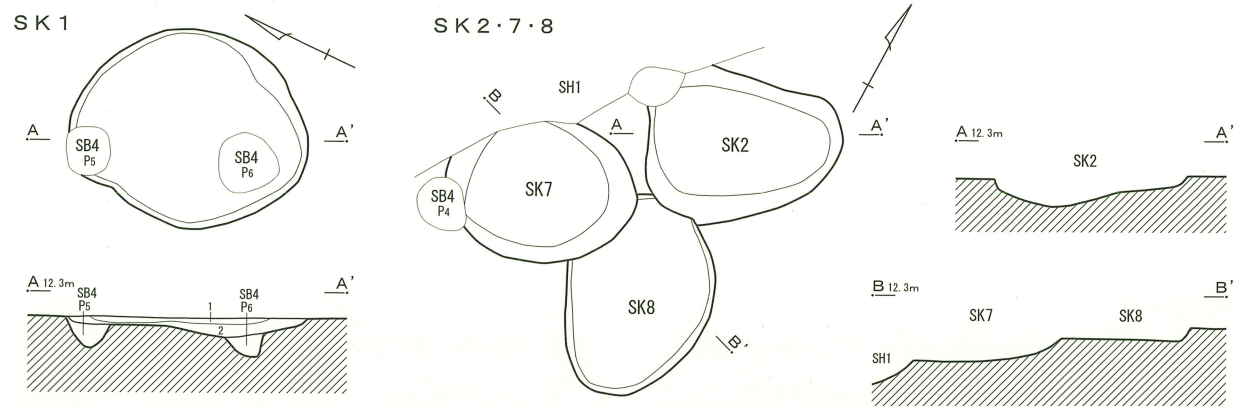
第7号土壌 (第156・180図)

H-11グリッドに位置する。第1号方形周溝墓・第4号掘立柱建物跡P4・第8号土壌と重複しているが、新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形と思われる。確認できる範囲において長径1.55m、短径1.10m、深さ0.28m、長軸方位はN-77°-Eである。

土師器片(1)が1点出土した。



第155図 土壌分布図



- SK 1
 1 暗褐色土 黄褐色土粒少 しまりやや強
 2 暗黄褐色土 黄褐色土粒多 しまりやや強
- SK 3
 1 暗褐色土 地山ブロック若干 しまり強
 2 黄褐色土 地山ブロック・黒色土斑文状に少しまり強
- SK 9・10
 1 暗黒褐色土 地山粒やや多 しまり強
 2 暗黒褐色土 地山粒少
 3 暗黒褐色土 黄褐色土粒微量 しまり強
 4 明黒褐色土 地山粒・地山ブロック多 しまり強
 5 黒褐色土 地山ブロック若干 しまり強
 6 暗褐色土 地山ブロック少
 7 暗黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層 しまり強
- SK 11・12
 1 黒褐色土 地山ブロック少 しまりやや強
- SK 15
 1 黒褐色土 黄褐色土ブロック少 しまり強
 2 暗黄褐色土 黄褐色土ブロック多 しまり強
 3 暗黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層 しまり強
- 0 2m 1:60

第156図 土壌 (1)

第8号土壙 (第156図)

H-11グリッドに位置する。第2・7号土壙と重複しているが、新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.60m、短径1.15m、深さ0.10m、長軸方位はN-21°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第9号土壙 (第156図)

J-11グリッドに位置する。第10号土壙を切っている。平面形は楕円形で、長径1.55m、短径1.00m、深さ0.38m、長軸方位はN-57°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第10号土壙 (第156図)

J-11グリッドに位置する。第9号土壙に切られている。平面形は楕円形で、長径0.90m、短径[0.60]m、深さ0.22m、長軸方位はN-57°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第11号土壙 (第156・180図)

K-11グリッドに位置する。平面形はほぼ円形で、径は1.60×1.50m、深さ0.12mである。覆土は第12号土壙に共通である。

土師器の甕(2)が1点出土した。土壙の時期は、7世紀第4四半期と推定される。

第12号土壙 (第156図)

K-11グリッドに位置する。2基のピットを切っている。平面形は楕円形で、長径1.80m、短径1.40m、深さ0.15m、長軸方位はN-89°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第13号土壙 (第157図)

J-11グリッドに位置する。第14号土壙に切られている。平面形は不明で、遺存規模は0.90m、0.40m、深さ0.40mである。

遺物は出土しなかった。

第14号土壙 (第157図)

J-11グリッドに位置する。第13号土壙を切

っているが、第10号溝跡と2基のピットとの新旧関係は不明である。土層の観察の結果、第16号土壙とは別遺構と判断した。平面形は楕円形と推定される。東西規模は2.05m、南北規模については1.60mまでの遺存で、深さは0.40mである。長軸方位はN-31°-Eと推定される。

遺物は出土しなかった。

第15号土壙 (第156図)

J-12グリッドに位置する。第2号方形周溝墓を切り、第8号溝跡に切られている。平面形は不明で、遺存規模は1.62×0.92m、深さ0.25mである。

遺物は出土しなかった。

第16号土壙 (第157図)

J-11グリッドに位置する。第10号溝跡に切られている。土層の観察の結果、第14号土壙とは別遺構と判断した。平面形は不明である。東西規模は2.32mであるが、南北規模については1.43mまでの遺存で、深さは0.35mである。遺存部分での軸方位はN-63°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第17号土壙 (第157図)

I-10グリッドに位置する。第18・19号土壙、第10号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径[0.90]m、短径0.70m、深さ0.25m、長軸方位はN-10°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第18号土壙 (第157・180図)

I・J-10グリッドに位置する。第19号土壙・第10号溝跡を切っているが、第17号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.15m、短径0.95m、深さ0.45m、長軸方位はN-63°-Eである。

土師器坏が3点(3~5)出土した。土壙の時期は、6世紀第3四半期と推定される。

第19号土壙 (第157・180図)

I・J-10グリッドに位置する。第11号住居

跡を切り、第18号土壙に切られている。第17・20・21号土壙・第10号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明であるが、不規則な形態であることから、複数の土壙が重複している可能性もある。規模は東西[2.98]m、南北3.47m、深さ0.30mである。

第18・19号土壙として取り上げる結果となった土師器(6～8)が3点出土した。6世紀第3四半期と推定される。

第20号土壙 (第157図)

J-10グリッドに位置する。第19・21号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は1.20×1.05m、深さ0.05mである。

遺物は出土しなかった。

第21号土壙 (第157図)

J-10・11グリッドに位置する。第20号土壙・第10号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。南北規模は1.40mであるが、東西規模は0.78mまでの確認で、深さは0.05mである。

遺物は出土しなかった。

第22号土壙 (第156図)

K-11グリッドに位置する。平面形はほぼ円形で、径は0.80×0.70m、深さ0.30mである。

遺物は出土しなかった。

第24号土壙 (第156図)

J-11・12グリッドに位置する。第2号方形周溝墓を切っているが、第13号溝跡と1基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。長径は2.00mであるが、短径は1.20mまでの確認で、深さは0.15m、長軸方位はN-35°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第25号土壙 (第156図)

K-11グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.00m、短径0.70m、深さ0.10m、長軸方位はN-0° 指す。

遺物は出土しなかった。

第26号土壙 (第157図)

K-11グリッドに位置する。第15号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸1.65m、短軸0.60m、深さ0.15m、長軸方位はN-39°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第27号土壙 (第157図)

I-10グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径0.70m、短径0.60m、深さ0.15m、長軸方位はN-7°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第28号土壙 (第157図)

J-9・10グリッドに位置する。第16号住居跡を切っているが、2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径1.00m、深さ0.30m、長軸方位はN-13°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第29号土壙 (第157・180図)

J-9グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.20m、短径1.10m、深さ0.20m、長軸方位はN-86°-Wである。

土師器の坏(9)が1点出土している。土壙の時期は、7世紀第1四半期と推定される。

第30号土壙 (第157図)

J-9グリッドに位置する。平面形は円形で、径は0.90×0.85m、深さ0.18mである。

遺物は出土しなかった。

第31号土壙 (第157・180図)

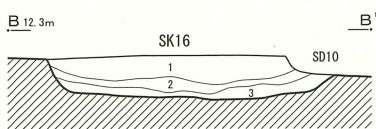
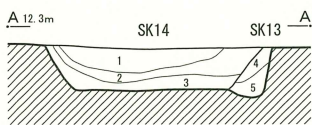
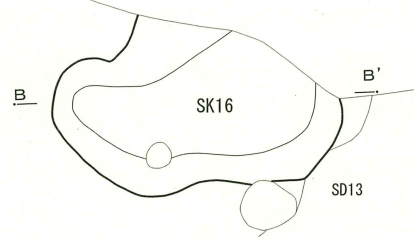
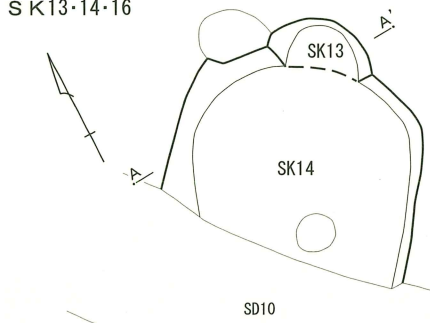
J-9・10グリッドに位置する。第16号住居跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.80m、短径0.65m、深さ0.45m、長軸方位はN-78°-Wである。

土師器の甗(10)が1点出土している。

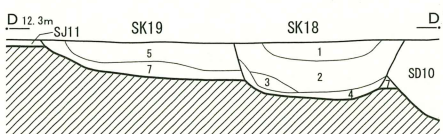
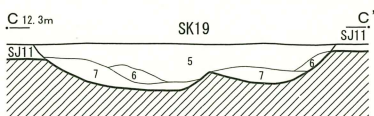
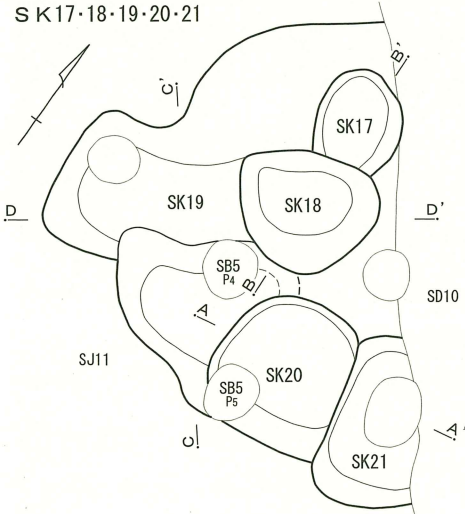
第32号土壙 (第157図)

K-10グリッドに位置する。第12号掘立柱建

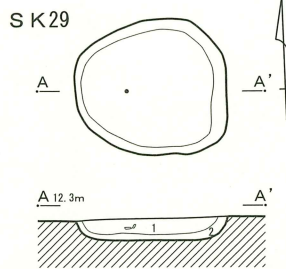
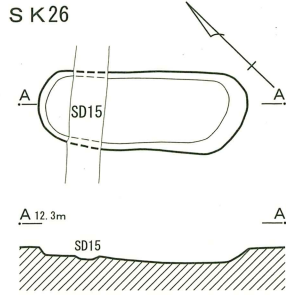
SK13-14-16



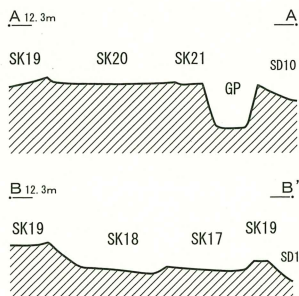
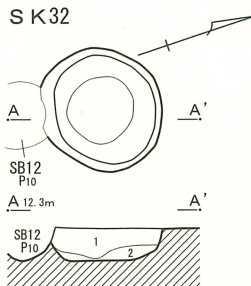
SK17-18-19-20-21



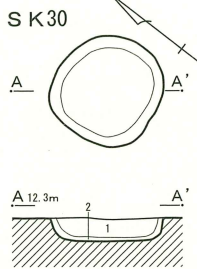
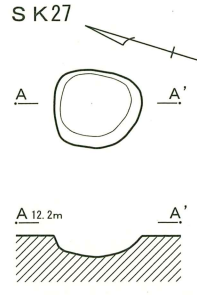
SK26



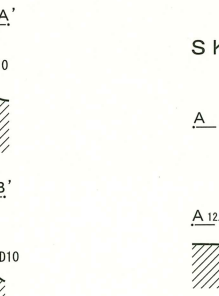
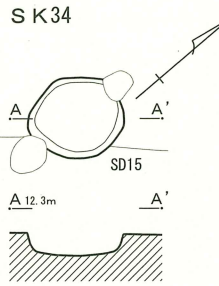
SK32



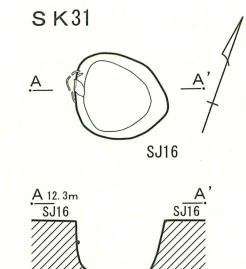
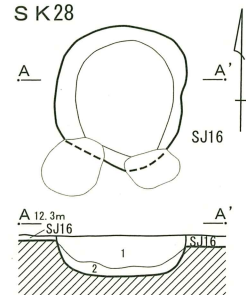
SK27



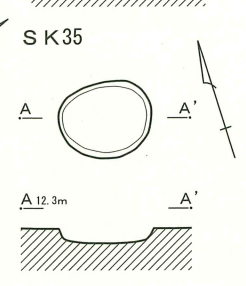
SK34



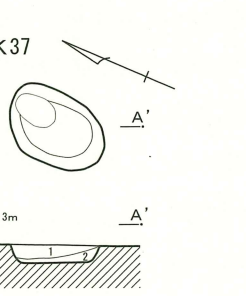
SK28



SK35



SK37



- SK13-14
- 1 灰黒褐色土 黄褐色土ブロック微量 しまり強
 - 2 灰黒褐色土 黄褐色土粒やや多 しまり強
 - 3 暗黄褐色土 黄褐色土主体層
 - 4 暗黒褐色土 黄褐色土粒微量 均質
 - 5 暗黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層

- SK16
- 1 明黒褐色 地山黄褐色土を層状に含む しまりやや強
 - 2 灰黒褐色 地山黄褐色土粒少 しまりやや強
 - 3 灰褐色土 地山灰褐色土ブロック主体層 しまり強

- SK18-19
- 1 暗黒褐色土 黄褐色土ブロック微量 しまり強
 - 2 暗褐色土 黄褐色土粒多
 - 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック若干 しまり強
 - 4 暗褐色土 黄褐色土粒・黄褐色土ブロック多 しまり強
 - 5 明黒褐色土 黄褐色土ブロック微量 しまり強
 - 6 暗黒褐色土 黄褐色土粒微量 しまり強
 - 7 暗褐色土 黄褐色土粒多 しまり強

- SK28
- 1 黒褐色土 黒色土主体 黄褐色土ブロック 斑文状に少
 - 2 黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層 黒色土若干

- SK29
- 1 黒褐色土 黄褐色土粒少
 - 2 黒褐色土 黄褐色土ブロック斑文状に少

- SK30
- 1 黒褐色土 灰褐色土ブロック少 しまりやや強 粘性強
 - 2 黄褐色土 黄褐色土主体層

- SK32
- 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック層状に含む しまり強
 - 2 暗褐色土 黄褐色土粒多 しまり強

- SK37
- 1 暗褐色土 地山粒・炭化物・焼土粒少 しまり強 粘性弱
 - 2 褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱



第157図 土壌 (2)

物跡P10に切られていると判断した。平面形は円形で、径は1.00×0.95m、深さ0.25mである。

遺物は出土しなかった。

第34号土壇 (第157・180図)

K-11グリッドに位置する。第15号溝跡・2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.80m、短径0.65m、深さ0.20m、長軸方位はN-41°-Eである。

土師器の坏(11)が1点出土している。土壇の時期は、6世紀第2四半期と推定される。

第35号土壇 (第157図)

J-10グリッドに位置する。平面形は円形に近い楕円形で、長径0.75m、短径0.60m、深さ0.16m、長軸方位はN-70°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第36号土壇 (第158図)

K・L-10グリッドに位置する。5基のピットと重複しているが、土層の断面実測を行った箇所では、1基を切り、1基に切られている状況であった。他の3基との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形に近い楕円形で、長径2.20m、短径1.32m、深さ0.25m、長軸方位はN-35°-Wである。中央部に0.83×0.55m程の窪みをもつ。

遺物は出土しなかった。

第37号土壇 (第157図)

L-10グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径0.80m、短径0.55m、深さ0.14m、長軸方位はN-3°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第38号土壇 (第158図)

I-10グリッドに位置する。第8号掘立柱建物跡P2と3基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.50m、短径1.10m、深さ0.20m、長軸方位はN-14°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第39号土壇 (第158・180図)

I-9グリッドに位置する。第11号溝跡との新

旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.50m、短径1.20m、深さ0.15m、長軸方位はN-64°-Eである。

土師器の鉢(12)が1点出土した。

第40号土壇 (第158図)

K-10グリッドに位置する。第7号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。東西規模は0.75mであるが、南北規模は0.55mまでの確認で、深さ0.20m、長軸方位はN-30°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第41号土壇 (第159・180図)

A-22グリッドに位置する。第51号掘立柱建物跡・第318号土壇・第30号溝跡・3基のピットと重複するが、新旧関係は確認できなかった。平面形は不整形で、長径3.28m、短径1.63m、深さ0.26m、長軸方位はN-7°-Wである。

土師器の坏(13~17)5点・甕(19・20)2点、須恵器(18)1点が出土した。土壇の時期は、7世紀第3四半期と推定される。

第42号土壇 (第159図)

A-21・22グリッドに位置する。第29号溝跡を切っている。平面形は長楕円形で、長径3.55m、短径1.41m、深さ1.28m、長軸方位はN-65°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第43号土壇 (第158図)

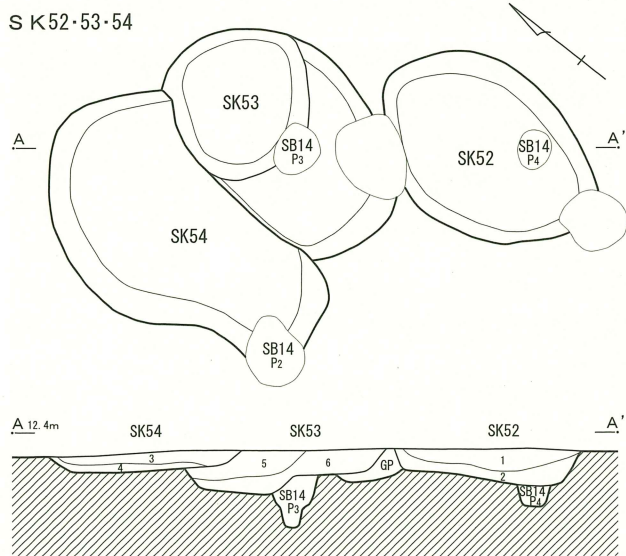
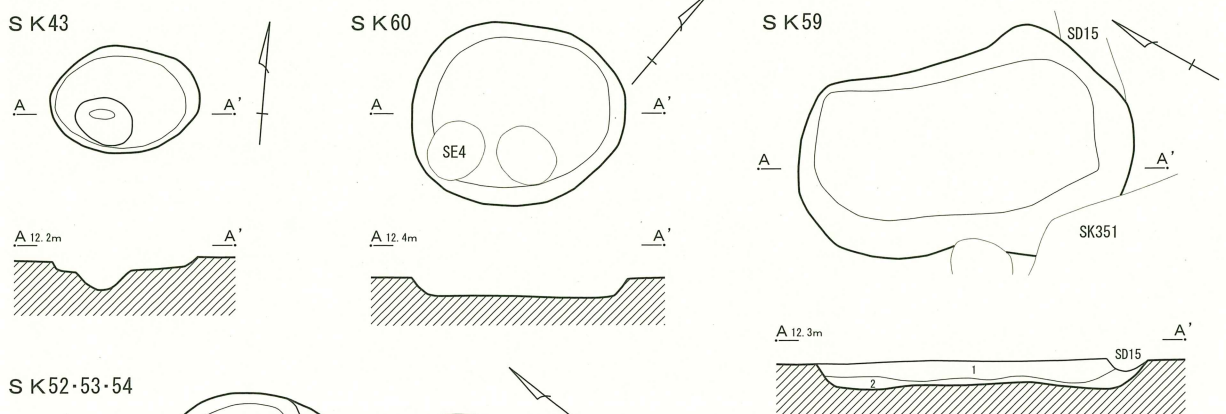
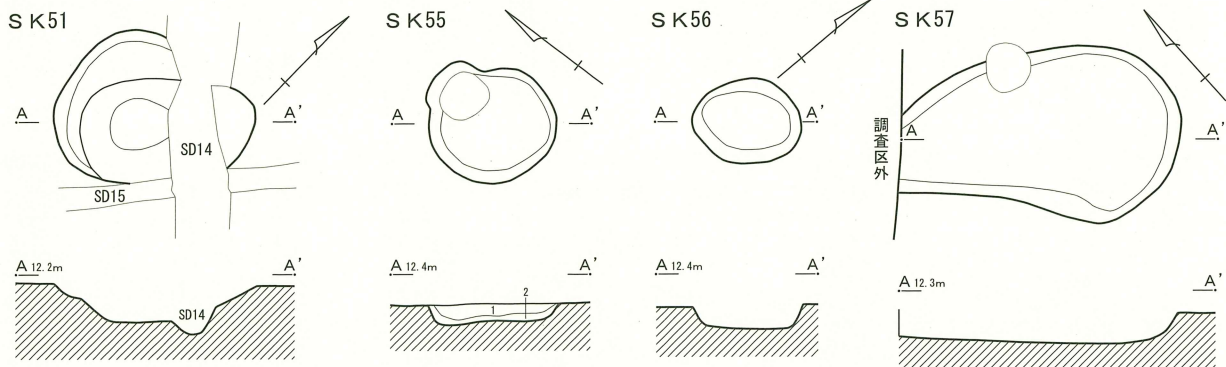
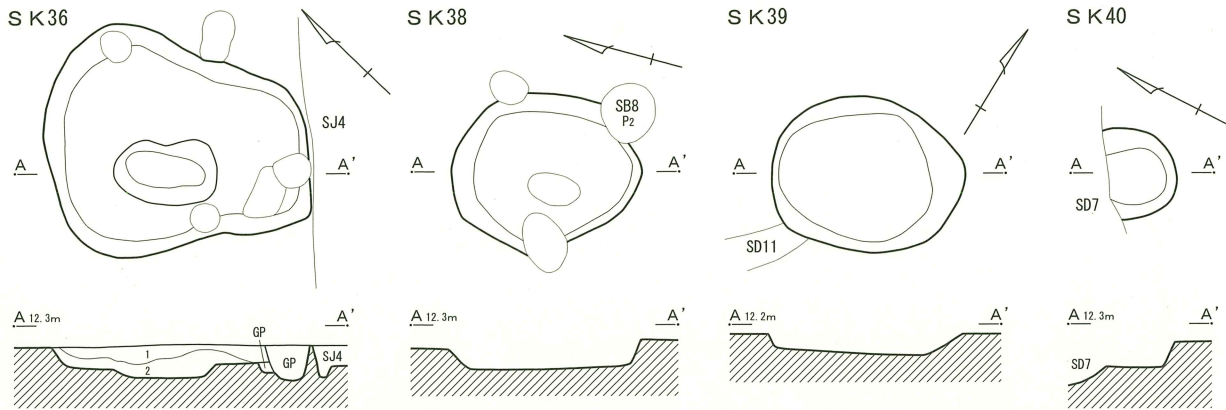
I-8・9グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.20m、短径0.85m、深さ0.28m、長軸方位はN-82°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第51号土壇 (第158図)

J-11グリッドに位置する。第14・15号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.62m、短径[1.20]m、深さ0.32m、長軸方位はN-45°-Eである。

遺物は出土しなかった。



SK36
 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック微量
 2 黄褐色土 黄褐色土ブロック(〜4.0cm)主体
 黒色土混入

SK52-53-54
 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック少
 2 黒褐色土 黄褐色土ブロック微量
 3 灰黒褐色土 黄褐色土ブロック少 しまりやや弱
 4 灰黒褐色土 黄褐色土ブロック・黒色土を斑文状に少し
 しまりやや弱
 5 黒褐色土 黄褐色土ブロック若干 粘性強
 6 黒褐色土 灰色土ブロック若干 粘性強

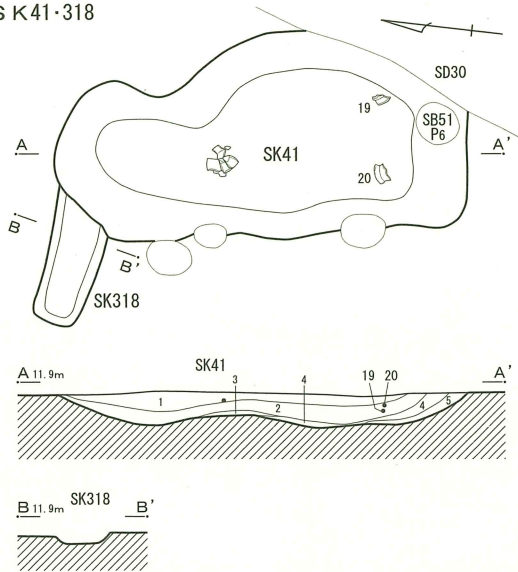
SK55
 1 黒褐色土 黄褐色土ブロック少
 2 黄褐色土 黒色土若干

SK59
 1 黒褐色土 焼土ブロック微量
 地山ブロック(〜1.0cm)少 しまり強
 2 灰黄褐色土 地山ブロック斑文状に少し しまり強

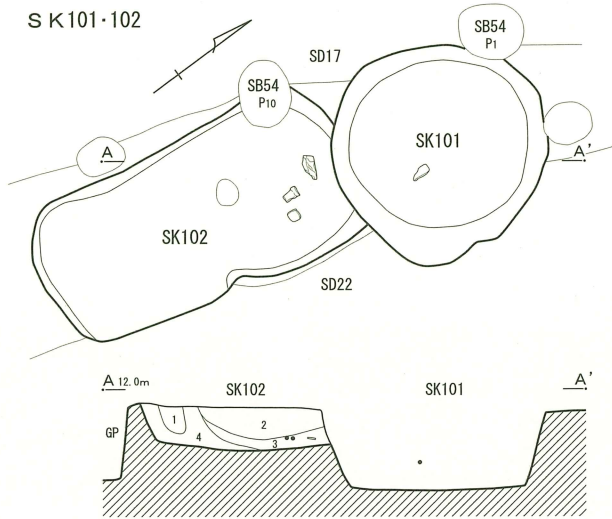


第158図 土壙 (3)

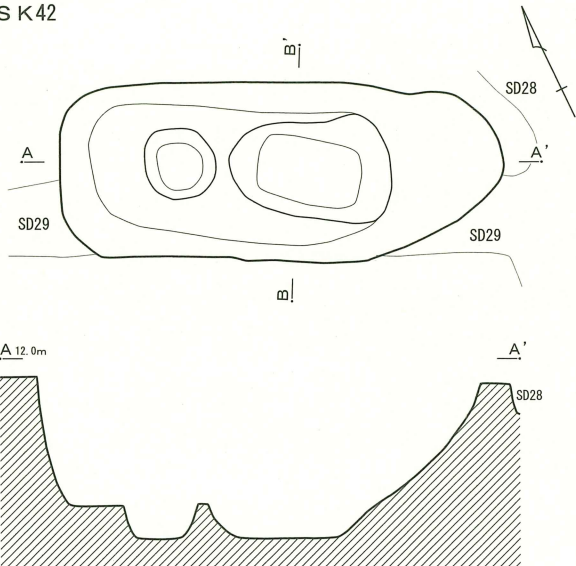
S K 41・318



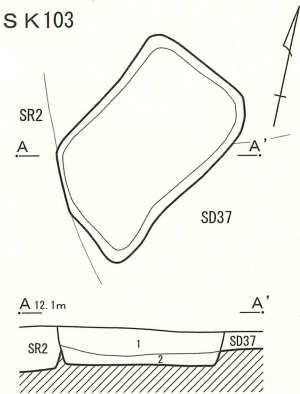
S K 101・102



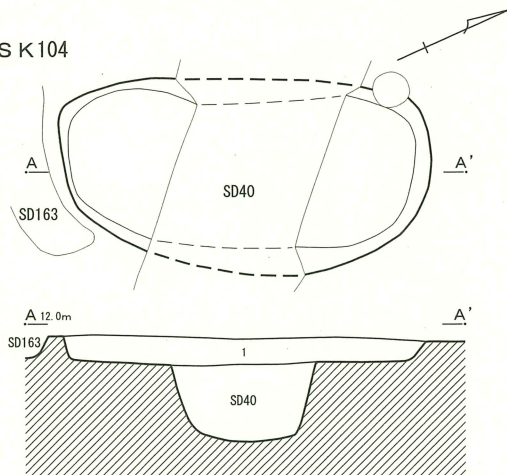
S K 42



S K 103



S K 104



S K 41

- | | | | | |
|---|-------|-----------------------------|------|-------|
| 1 | 黒褐色土 | 地山粒・炭化物微量 | しまり強 | 粘性やや弱 |
| 2 | 黒褐色土 | 地山粒・炭化物・地山ブロック(0.5~1.0cm)少 | しまり強 | 粘性やや弱 |
| 3 | 暗黄褐色土 | 地山粒・炭化物・地山ブロック(0.5~1.0cm)多 | しまり強 | 粘性やや弱 |
| 4 | 暗褐色土 | 地山粒・炭化物・地山ブロック(1.0~2.0cm)極多 | しまり強 | 粘性やや弱 |
| 5 | 黄褐色土 | 地山ブロック層に炭化物微量 | しまり強 | 粘性やや強 |

S K 42

- | | | | | | |
|---|-------|-----------------------------|------|-------|-------|
| 1 | 暗灰褐色土 | 地山ブロック(2.0~5.0cm)やや多 | 炭化物少 | しまり強 | 粘性やや強 |
| 2 | 暗褐色土 | 地山ブロック(5.0~6.0cm)多 | 炭化物少 | しまり強 | 粘性やや強 |
| 3 | 灰褐色土 | 地山ブロック(5.0~6.0cm)・粘土ブロック極多 | しまり強 | 粘性強 | |
| 4 | 青灰色土 | 地山ブロック(5.0~6.0cm)・粘土ブロックやや多 | しまり強 | 粘性やや強 | |

S K 102

- | | | | | |
|---|-----|--|---------------|-----|
| 1 | 褐色土 | 黄褐色粘土粒(0.2~0.5cm)多 | 褐色粘土粒(0.5cm)少 | ピット |
| 2 | 褐色土 | 褐色地山粒(0.2~0.4cm)多 | | |
| 3 | 褐色土 | 褐色地山粒(0.2~0.4cm)多 | 炭化物(1.0cm)少 | |
| 4 | 褐色土 | 黄褐色粘土粒(0.5~0.8cm)・灰褐色土ブロック(1.0~3.0cm)多 | | |

S K 103

- | | | | | |
|---|------|-----------------|--------------------|---------------|
| 1 | 褐灰色土 | 焼土粒(0.5cm)少 | 炭化物(1.0cm)微量 | |
| 2 | 褐灰色土 | 褐色粘土粒(0.5cm)やや多 | 黄褐色粘土粒(0.2~0.6cm)多 | 炭化物(0.5cm)やや多 |

S K 104

- | | | |
|---|------|---------------------------|
| 1 | 褐灰色土 | 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)・炭化物・白色粒少 |
|---|------|---------------------------|



第159図 土壌 (4)

第52号土壙 (第158図)

K-9グリッドに位置する。土層の断面実測を行った箇所では、ピットと第14号掘立柱建物跡P4を切っている。平面形は楕円形で、長径(2.00)m、短径1.30m、深さ0.30m、長軸方位はN-0°である。

遺物は出土しなかった。

第53号土壙 (第158図)

J・K-9グリッドに位置する。第14号掘立柱建物跡P3と1基のピットを切り、第54号土壙に切られている。平面形は楕円形で、長径2.12m、短径1.26m、深さ0.36m、長軸方位はN-8°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第54号土壙 (第158図)

J・K-9グリッドに位置する。第14号掘立柱建物跡・第53号土壙を切っている。平面形はやや歪んだ長楕円形で、長径2.55m、短径1.53m、深さ0.15m、長軸方位はN-9°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第55号土壙 (第158図)

J-8・9グリッドに位置する。平面形はやや歪んだ楕円形で、長径1.10m、短径0.95m、深さ0.18m、長軸方位はN-5°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第56号土壙 (第158図)

J-8グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径0.85m、短径0.70m、深さ0.16m、長軸方位はN-40°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第57号土壙 (第158図)

J-8グリッドに位置する。西端部は調査区外に続くが、平面形は楕円形と考えられる。南北規模は1.05mであるが、東西規模は2.24mまでの確認で、深さ0.25m、長軸方位はN-51°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第59号土壙 (第158図)

L-9・10グリッドに位置する。第15号溝跡に切られているが、第351号土壙とピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ長楕円形で、長径2.70m、短径1.45m、深さ0.20m、長軸方位はN-38°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第60号土壙 (第158・181図)

J-8グリッドに位置する。第4号井戸跡とピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.70m、短径1.45m、深さ0.15m、長軸方位はN-49°-Eである。

須恵器の坏(30)が1点出土した。土壙の時期は、6世紀第2四半期と推定される。

第62号土壙 (第160図)

K-8・9グリッドに位置する。第64号土壙とピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ楕円形で、長径1.30m、短径1.02m、深さ0.18m、長軸方位はN-89°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第63号土壙 (第160図)

K-8・9グリッドに位置する。第14号掘立柱建物跡P1と第64号土壙に切られていると判断した。平面形は楕円形で、長径1.72m、短径1.16m、深さ0.30m、長軸方位はN-44°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第64号土壙 (第160図)

K-8グリッドに位置する。第63号土壙を切っていると判断したが、第62号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径2.10m、短径0.85m、深さ0.15m、長軸方位はN-15°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第65号土壙 (第160図)

K-8グリッドに位置する。第16号掘立柱建物跡と2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸1.90m、短軸1.52

m、深さ0.20m、長軸方位はN-77°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第66号土壙 (第160図)

K-9グリッドに位置する。第16号掘立柱建物跡と、ピット1基との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長径1.60m、短径1.25m、深さ0.18m、長軸方位はN-9°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第68号土壙 (第160・180図)

K-8グリッドに位置する。第348号土壙を切っている。最終的に3基と判断したが当初、単独の土壙として調査したため、遺物の帰属が特定できなくなる結果となってしまった。平面形は楕円形で、長径1.94m、短径1.54m、深さ0.50m、長軸方位はN-0°である。

第68・69号土壙として取り上げた遺物は、合わせて9点(21~29)であるが、第348号土壙に帰属する可能性もある。土壙の時期は、7世紀第Ⅲ四半期と推定される。

第69号土壙 (第160・180図)

K-8グリッドに位置する。第348号土壙を切っている。最終的に3基と判断したが、当初単独の土壙として調査したため、遺物の帰属が特定できない結果となってしまった。平面形は長楕円形で、長径0.90m、短径0.55m、深さ0.38m、長軸方位はN-15°-Eである。

第68・69号土壙として取り上げた遺物は、合わせて9点(21~29)であるが、第348号土壙に帰属する可能性もある。土壙の時期は、7世紀第Ⅲ四半期と推定される。

第70号土壙 (第160図)

K-9グリッドに位置する。平面形は歪んだ長楕円形で、長径2.15m、短径0.80m、深さ0.25m、長軸方位はN-71°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第71号土壙 (第160図)

K-9グリッドに位置する。第15号掘立柱建物

跡P2を切り、第6号住居跡に切られている。第13号掘立柱建物跡と2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.65m、短径1.50m、深さ0.23m、長軸方位はN-74°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第72号土壙 (第161・181図)

L-9グリッドに位置する。第351号土壙を切っているが、その他の遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.28m、短径0.94m、深さ0.28m、長軸方位はN-45°-Wである。

土師器(31・32)と須恵器(33・34)が2点ずつ出土している。土壙の時期は、6世紀第1四半期と推定される。

第73号土壙 (第161図)

K-9グリッドに位置する。第6号住居跡・第79号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.58m、短径1.20m、深さ0.16m、長軸方位はN-15°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第74号土壙 (第161図)

K-9グリッドに位置する。第75号土壙・第14号掘立柱建物跡およびピット1基との新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ楕円形で、長径2.32m、短径1.50m、深さ0.38m、長軸方位はN-42°-Wである。

遺物は出土しなかった。

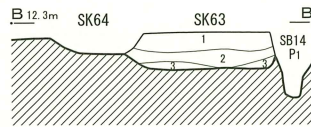
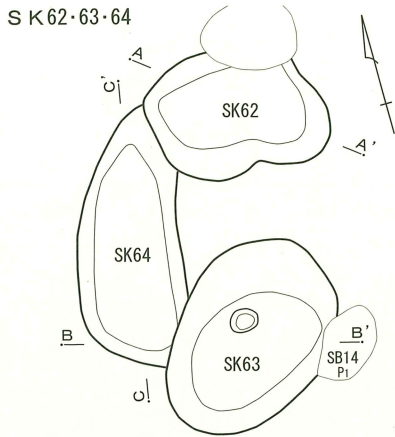
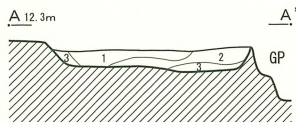
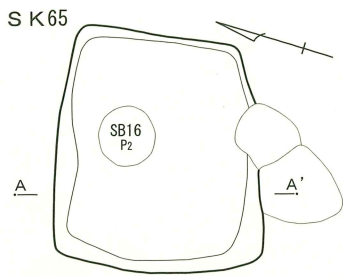
第75号土壙 (第161図)

K-9グリッドに位置する。第74号土壙の中にすっぽりと納まる形で検出されたが、新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.60m、短径0.50m、深さ0.25m、長軸方位はN-64°-Eである。

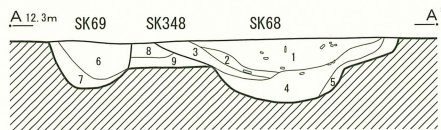
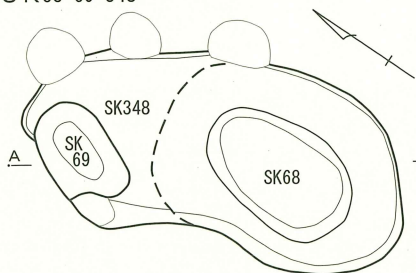
遺物は出土しなかった。

第76号土壙 (第160図)

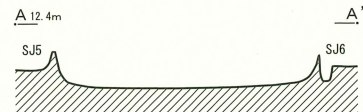
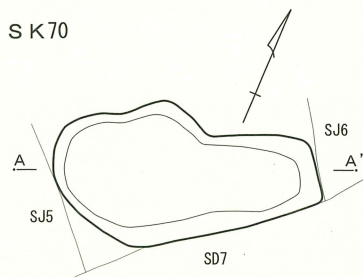
K-8グリッドに位置する。重複する3基のピ



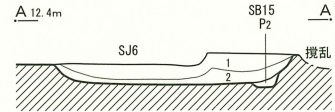
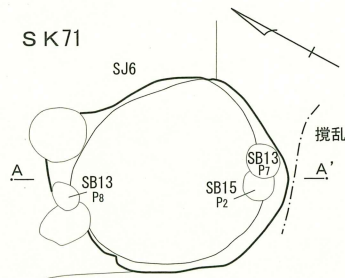
SK68・69・348



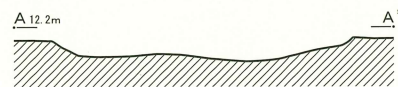
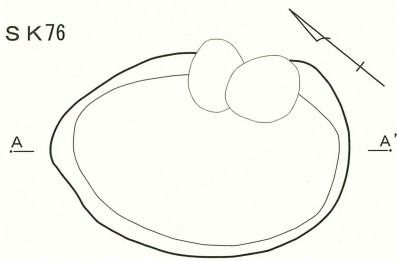
SK70



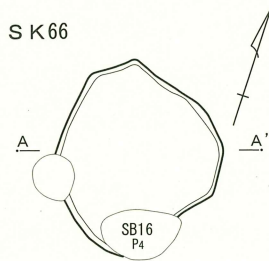
SK71



SK76



SK66



SK63

- 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック(～1.0cm)少 土器片を含む
しまり強
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック(～1.0cm)多 土器片を含む
しまり強
- 3 黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層 暗褐色土若干
しまり強

SK65

- 1 明黒褐色土 黄褐色土粒(～1.0cm)少 しまり強
- 2 明黒褐色土 黄褐色土粒(～3.0cm)少 しまり強
- 3 灰褐色土 地山灰褐色土ブロック主体層

SK68・69・348

- 1 黒褐色土 炭化物粒多 黄褐色土ブロック少
炭化木片を含む
- 2 灰黒褐色土 炭化物粒微量 地山粒多
- 3 黄褐色土 地山ブロック主体層
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒(～0.5cm)・黄褐色土ブロック少
- 5 黄褐色土 地山粒主体層
- 6 黒褐色土 黄褐色土ブロック(～3.0cm)・黄褐色土粒
斑文状に少
- 7 黒褐色土 黄褐色土ブロック・黄褐色土粒微量
- 8 暗褐色土 黄褐色土微量 均質
- 9 黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層 しまり強

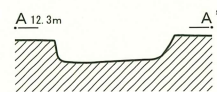
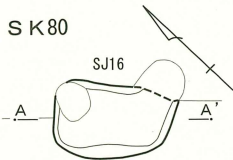
SK71

- 1 黒褐色土 地山黄褐色土ブロック(～1.0cm)少
土器片を含む しまり強
- 2 黒褐色土 地山灰褐色土ブロック(～3.0cm)少 しまり強

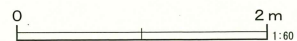
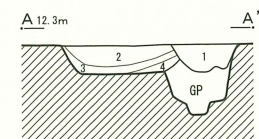
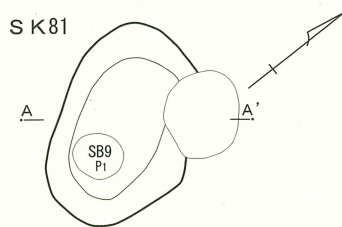
SK81

- 1 暗褐色土 地山粒・焼土ブロック(0.5cm)微量 ビット
- 2 暗褐色土 焼土ブロック・カーボン少
- 3 暗褐色土 焼土ブロック・地山ブロック(1～2cm)少
- 4 暗黄褐色土 焼土ブロック・地山ブロック(1～2cm)多

SK80

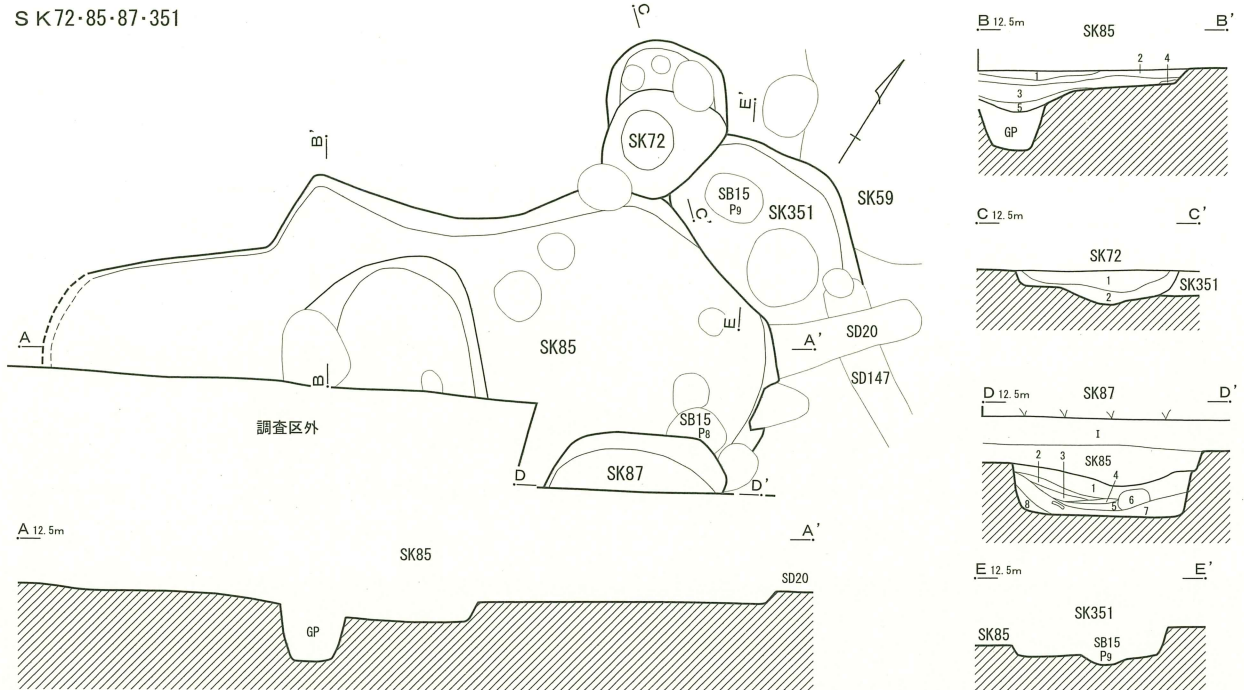


SK81

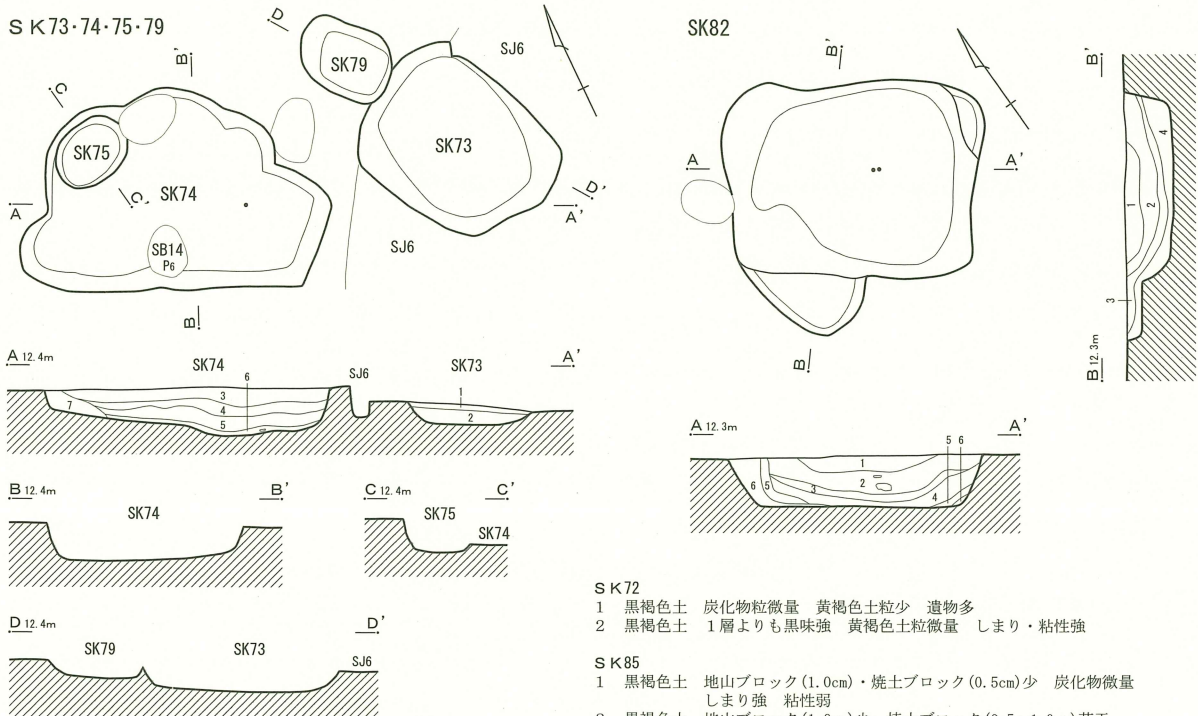


第160図 土壙(5)

S K 72・85・87・351



S K 73・74・75・79



S K 73・74

- 1 暗褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(2.0~3.0cm)多
- 3 灰褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 5 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 6 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)極多 しまり強 粘性弱
- 7 暗褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱

S K 82

- 1 黒褐色土 炭化物ブロック・地山ブロック(0.5~1.0cm)少
- 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多
- 3 淡赤褐色土 焼土粒やや多 灰若干 骨片微量
- 4 黒灰色土 灰層中に炭化物・焼土粒若干 粘性強
- 5 暗褐色土 カーボン少 地山ブロック(0.5~1cm)微量
- 6 暗褐色土 カーボン・地山ブロック(0.5~1cm)少

S K 72

- 1 黒褐色土 炭化物粒微量 黄褐色土粒少 遺物多
- 2 黒褐色土 1層よりも黒味強 黄褐色土粒微量 しまり・粘性強

S K 85

- 1 黒褐色土 地山ブロック(1.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)少 炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山ブロック(1.0cm)少 焼土ブロック(0.5~1.0cm)若干 炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 地山粒・焼土粒少 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱
- 5 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱

S K 87

- I 耕作土
- 1 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(0.5cm)微量
- 2 黒褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 炭化物やや多
- 3 黒褐色土 焼土ブロック(1.0~2.0cm)やや多 炭化物・灰多
- 4 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 炭化物やや多
- 5 赤褐色土 焼土ブロック(1.0~2.0cm)極多 炭化物少
- 6 黄褐色土 地山ブロック層
- 7 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)多
- 8 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)少



第161図 土壌 (6)

ットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径2.40m、短径1.63m、深さ0.18m、長軸方位はN-39°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第79号土壙 (第161・181図)

K-9グリッドに位置する。第73号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.78m、短径0.50m、深さ0.15m、長軸方位はN-38°-Wである。

土師器の甕(35)が1点出土している。

第80号土壙 (第160図)

J-9グリッドに位置する。重複する第16号住居跡と2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸0.95m、短軸0.60m、深さ0.18m、長軸方位はN-44°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第81号土壙 (第160・181図)

K・L-8グリッドに位置する。重複するピットを切っているが、第9号掘立柱建物跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.70m、短径1.10m、深さ0.23m、長軸方位はN-32°-Wである。

土師器(36~38)3点が出土した。土壙の時期は、8世紀第1四半期と推定される。

第82号土壙 (第161・181図)

J・K-8グリッドに位置する。変則的な平面形態ではあるが、概ね隅丸方形といえる。長径2.02m、短径1.62m、最大幅は1.98m、深さ0.42m、長軸方位はN-54°-Wである。

土師器(39~41)3点、須恵器(42)1点が出土した。土壙の時期は、7世紀第3四半期と推定される。

第83号土壙 (第162・181図)

K-9グリッドに位置する。重複する2基のピットの内、北側のピットを切っているが、南側のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形

は楕円形で、長径0.90m、短径0.65m、深さ0.18m、長軸方位はN-86°-Wである。

土師器の甕(43・44)が2点出土した。土壙の時期は、6世紀第4四半期と推定される。

第84号土壙 (第162図)

L-9グリッドに位置する。第94号土壙を切り、1基のピットに切られている。平面形は楕円形で、長径1.18m、短径1.08m、深さ0.07m、長軸方位はN-9°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第85号土壙 (第161・181図)

L-9グリッドに位置する。南側は調査区外に続く。第87号土壙と1基のピットを切っている。その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明、東西規模は5.89m、短径[2.28]m、深さ0.34m、長軸方位はN-60°-Eである。

土師器(45~47)3点・須恵器(48・49)2点・鉄製品(50・51)2点が出土した。土壙の時期は、7世紀第2四半期と推定される。

第87号土壙 (第161・182図)

L-9グリッドに位置する。南側は調査区外に続く。第85号土壙に切られ、他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明。東西規模は1.45m、短径[0.47]m、深さ0.56mである。

土師器(52・53)2点、鉄製品(54)1点が出土した。

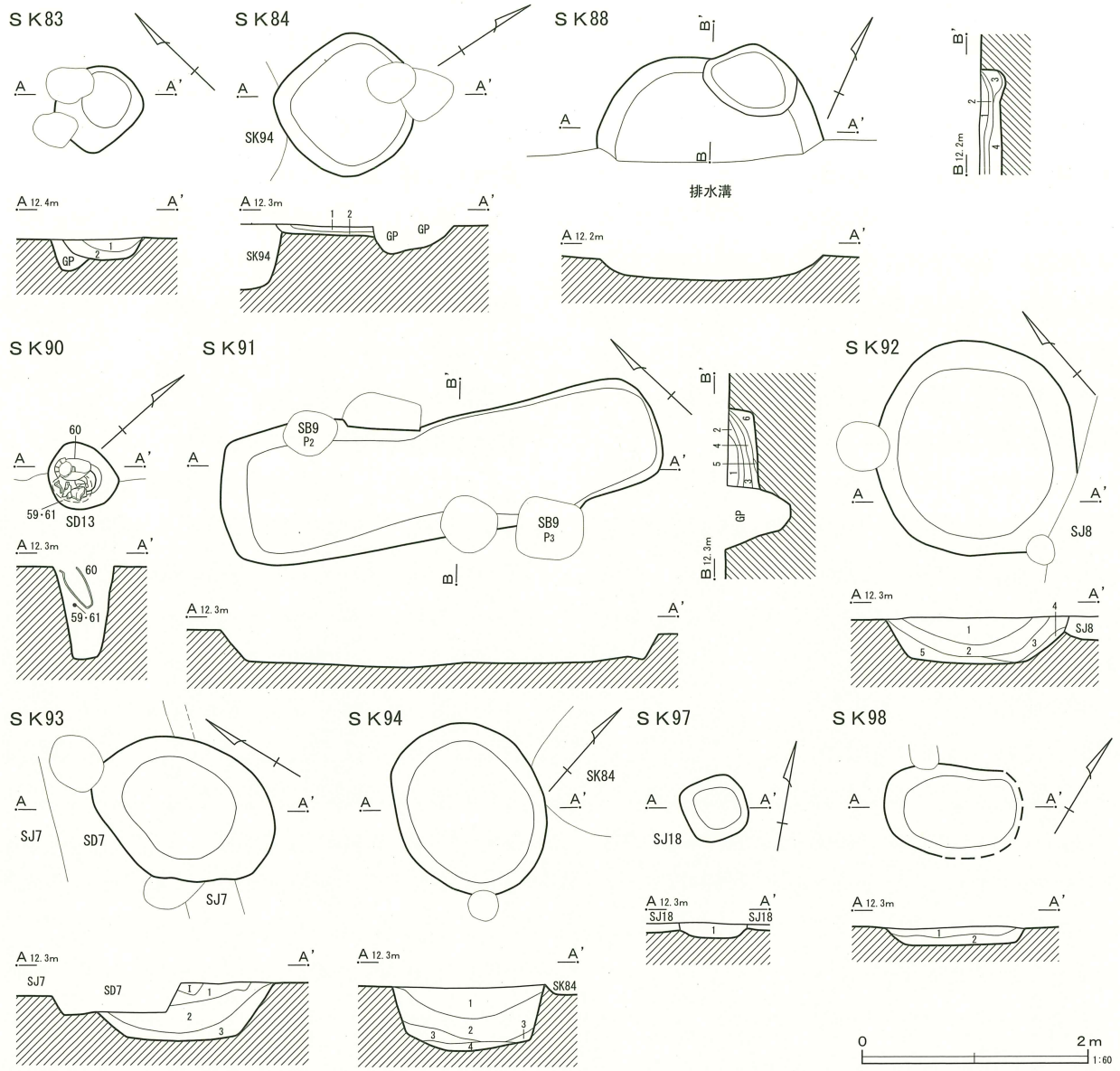
第88号土壙 (第162・182図)

K-11グリッドに位置する。南側は調査区外に続く。平面形は円形または楕円形と推定される。東西規模は2.03m、短径[0.97]m、深さ0.19mである。

土師器(55~57)3点と石製品(58)1点が出土した。土壙の時期は、6世紀第4四半期と推定される。

第90号土壙 (第162・182図)

K-10グリッドに位置する。平面形は円形で、径は0.59×0.57m、深さ0.82mである。



SK83
 1 暗褐色土 地山粒・炭化物微量 しまり強 粘性弱
 2 暗褐色土 地山粒・炭化物やや多 しまり強 粘性弱

SK84
 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)少 炭化物微量 しまり強 粘性弱
 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)極多 炭化物微量 しまり強 粘性弱

SK88
 1 黒褐色土 焼土粒・炭化物少 しまり強 粘性弱
 2 暗黄褐色土 焼土粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
 3 黒褐色土 焼土粒・地山ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性弱
 4 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱

SK91
 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・地山粒・焼土粒少 しまりやや強 粘性弱
 2 暗赤褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 地山粒・焼土粒少 焼土ブロック多 しまりやや強 粘性弱
 3 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性弱
 4 暗灰褐色土 灰層中に炭化物若干 しまりやや強 粘性やや弱
 5 黒褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱
 6 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱

SK92
 1 黒色土 地山粒・炭化物少 しまり強 粘性やや弱
 2 黒色土 地山粒・炭化物やや多 しまり強 粘性やや弱
 3 暗褐色土 地山粒やや多 しまり強 粘性やや弱
 4 暗黄褐色土 地山粒多 しまり強 粘性やや弱
 5 暗褐色土 地山粒・炭化物ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性やや弱

SK93
 1 耕作土
 1 黒色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物少 しまり強 粘性やや弱
 2 黒色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性やや弱
 3 黒色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性やや弱

SK94
 1 黒褐色土 地山粒・炭化物微量 しまり強 粘性弱
 2 暗褐色土 地山粒多 地山ブロック(1.0~2.0cm)少 しまり強 粘性弱
 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)多 しまり強 粘性弱
 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(2.0~3.0cm)極多 しまり強 粘性弱

SK97
 1 暗褐色土 地山粒少 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 しまり強 粘性弱

SK98
 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性弱
 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)若干 しまり強 粘性弱

第162図 土壌 (7)

土師器の甕 (59～61) 3点が出土した。土壌の時期は、8世紀第1四半期と推定される。

第91号土壌 (第162・182図)

L-8グリッドに位置する。重複する1基のピットに切られ、第9号掘立柱建物跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸3.95m、短軸1.05m、深さ0.31m、長軸方位はN-60°-Wである。

土師器の坏 (62) が1点出土した。土壌の時期は、6世紀第2四半期と推定される。

第92号土壌 (第162図)

L-8グリッドに位置する。第8号住居跡を切っている。平面形は楕円形で、長径2.20m、短径1.83m、深さ0.38m、長軸方位はN-20°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第93号土壌 (第162・182図)

L-8グリッドに位置する。第7号住居跡を切り、第7号溝跡に切られている。平面形は楕円形で、長径1.65m、短径1.20m、深さ0.48m、長軸方位はN-6°-Wである。

土師器の坏 (63)・甕 (64～67) 合わせて5点が出土した。7世紀第4四半期と推定される。

第94号土壌 (第162・182図)

L-8・9グリッドに位置する。第84号土壌に切られている。平面形は楕円形で、長径1.58m、短径1.28m、深さ0.53m、長軸方位はN-72°-Wである。

土師器の壺 (68) 1点が出土した。

第95号土壌 (第163図)

L-8グリッドに位置する。第106・107号溝跡・第280号土壌・第9号掘立柱建物跡P9と重複しているが、新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径2.05m、短径1.50m、深さ0.28m、長軸方位はN-25°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第96号土壌 (第163・182図)

L-9グリッドに位置する。南側は調査区外に続く。第8号住居跡を切り、土層断面A-A'上のピットに切られている。平面形は不明である。東西規模は[2.03]m、南北規模は2.03mまでの確認で、深さは0.30mである。

土師器の甕 (69) と鉄製品 (70) が1点ずつ出土している。

第97号土壌 (第162図)

L-8グリッドに位置する。第18号住居跡を切っている。平面形は円形で、径は0.55×0.55m、深さは0.55mである。

遺物は出土しなかった。

第98号土壌 (第162図)

L-8グリッドに位置する。他遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形で、長径(1.20)m、短径(0.85)m、深さ0.15m、長軸方位はN-60°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第99号土壌 (第163・182図)

L-8グリッドに位置する。第143号溝跡と、ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ楕円形で、長径0.96m、短径0.70m、深さ0.25m、長軸方位はN-57°-Wである。

図化できたのは須恵器の坏 (71) が1点 (9世紀第3四半期) である。この他に図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器皿 (17Cか) の小破片が出土している。

第100号土壌 (第163・183図)

L-8グリッドに位置する。第7・15号住居跡を切り、第7号溝跡に切られている。平面形は楕円形で、長径1.52m、短径1.15m、深さ0.32m、長軸方位はN-68°-Eである。

土師器の坏 (72)・甕 (73・74)、貝巢穴痕泥岩 (75) など合わせて4点が出土した。7世紀第3四半期と推定される。

第101号土壌 (第159・183図)

B-20グリッドに位置する。第102号土壌を切

り、第54号掘立柱建物跡に切られている。その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は1.76×1.70m、深さ0.63mである。

図化できたのは、陶磁器(76～78)3点・砥石(79)1点の計4点である。この他に図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器皿(17C)の小破片が出土している。

第102号土壌(第159・183図)

B-20グリッドに位置する。第101号土壌・第54号掘立柱建物跡に切られているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸2.65m、短軸1.36m、深さ0.35m、長軸方位はN-8°-Eである。

図化できたのは陶器(80～83)4点・砥石(84・85)2点の計6点である。この他に、図化には至らなかったが、信楽系と推定される陶器播鉢と肥前系の磁器碗(ともに18C代)の小破片が出土した。

第103号土壌(第159図)

B-20グリッドに位置する。第2号周溝状遺構・第37号溝跡を切っている。平面形は隅丸長方形で、長軸1.62m、短軸1.00m、深さ0.30m、長軸方位はN-27°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第104号土壌(第159図)

C-19グリッドに位置する。第40号溝跡を切っている。平面形は長楕円形で、長径2.93m、短径1.35m、深さ0.22m、長軸方位はN-24°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第105号土壌(第164図)

B-19グリッドに位置する。1基のピットを切っているが、第74号掘立柱建物跡P9・第75号掘立柱建物跡P1、および他の重複しているピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は不整形と推定される。長径(2.15)m、短径[1.20]m、

深さ0.20m、長軸方位はN-27°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第106号土壌(第164・183図)

C-19グリッドに位置する。1基のピットを切り、第45号溝跡に切られているが、第162号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形で、長径1.40m、短径0.95m、深さ0.55m、長軸方位はN-34°-Eである。

土師器の甕(86)が1点出土した。土壌の時期は、7世紀第4四半期と推定される。

第107号土壌(第164図)

B-19グリッドに位置する。第3号周溝状遺構・第55号掘立柱建物跡P8を切っている。第158号土壌との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。長径[2.65]m、短径(1.65)m、深さ0.20m、長軸方位はN-73°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第108号土壌(第164・183図)

D-21グリッドに位置する。第175号溝跡に切られる。平面形は長楕円形で、長径3.05m、短径1.30m、深さ0.50m、長軸方位はN-42°-Eである。

土師器(87～91)5点、貝窠穴痕泥岩(92)1点が出土した。

第109号土壌(第164図)

F-16グリッドに位置する。重複する第56号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は1.10×1.05m、深さ0.40mである。

遺物は出土しなかった。

第110号土壌(第164図)

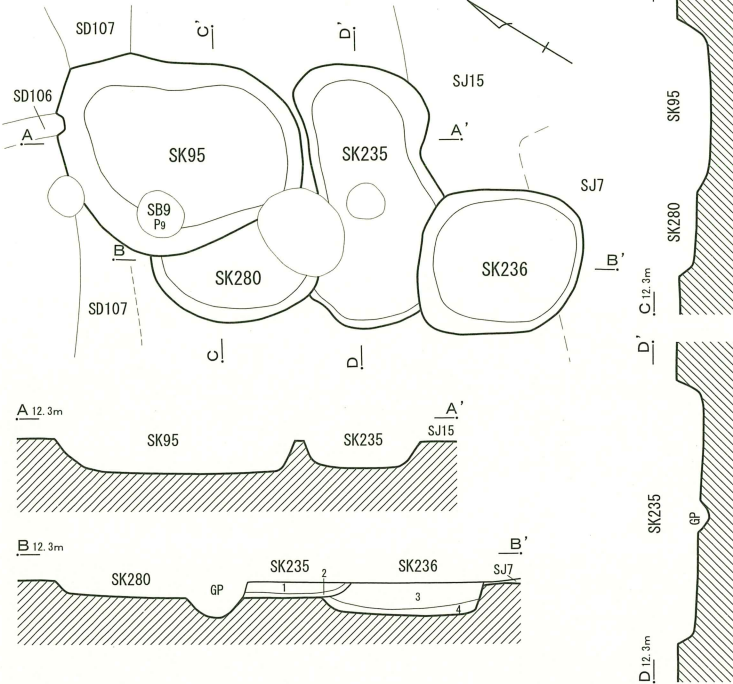
E・F-16グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径0.95m、深さ0.38m、長軸方位はN-15°-Eである。

遺物は出土しなかった。

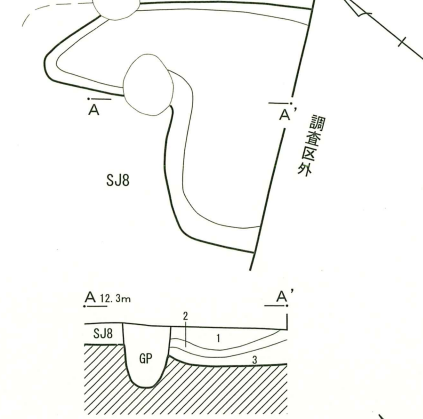
第111号土壌(第164・183図)

C-21グリッドに位置する。平面形は円形で、

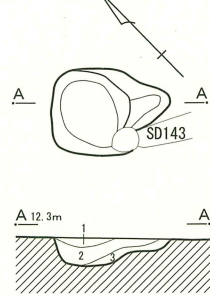
S K 95 · 235 · 236 · 280



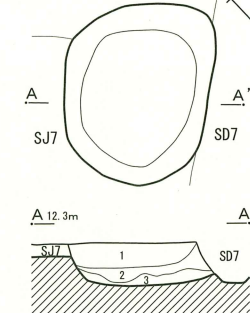
S K 96



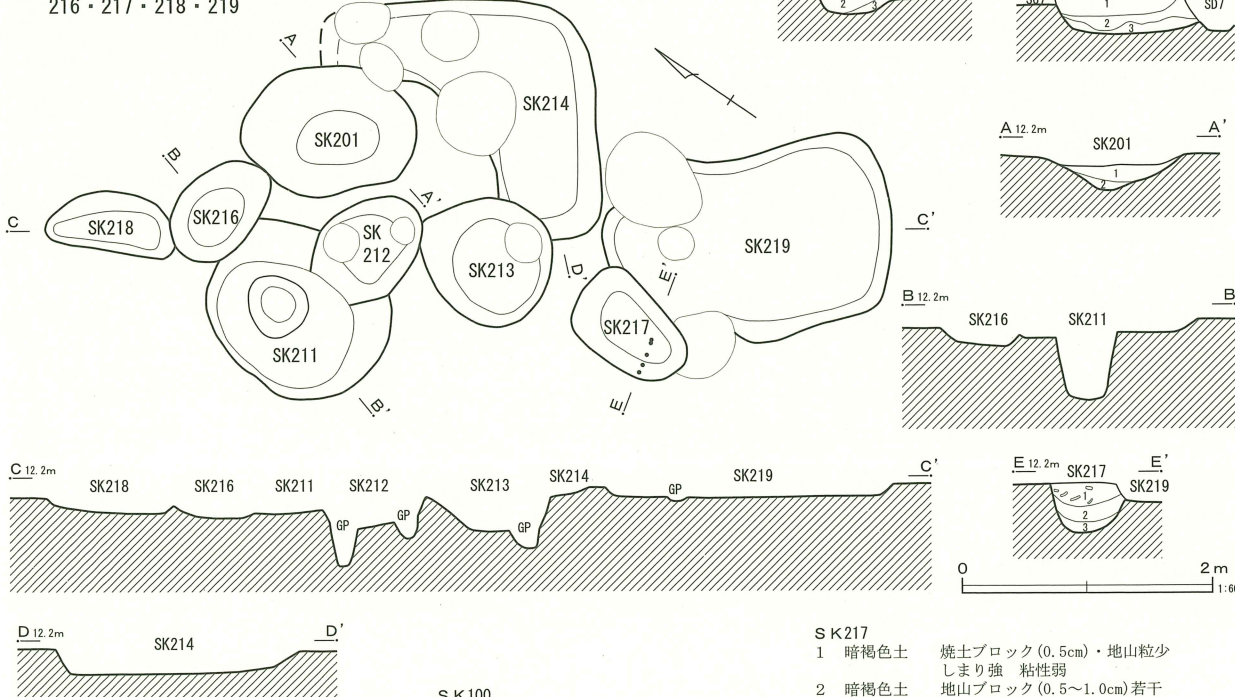
S K 99



S K 100



S K 201 · 211 · 212 · 213 · 214
216 · 217 · 218 · 219



S K 96

- 1 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)少
しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒少 灰多
しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山粒少 地山ブロック(0.5~2.0cm)多
しまり強 粘性弱

S K 99

- 1 黒褐色土 炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)多
しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)極多
しまり強 粘性弱

S K 100

- 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)
・焼土ブロック(1.0cm)少
炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)少
焼土ブロック(1.0cm)やや多
灰若干 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山ブロック(2.0~3.0cm)極多
しまり強 粘性弱

S K 201

- 1 黒褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)
・焼土粒少 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(2.0~3.0cm)多
しまり強 粘性弱

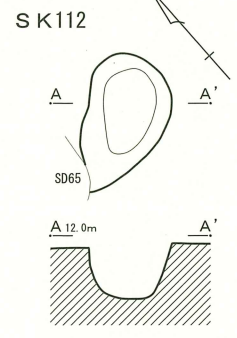
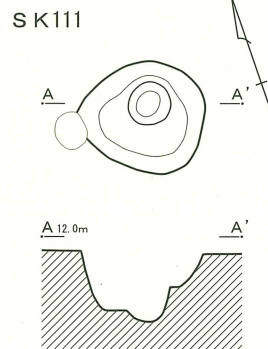
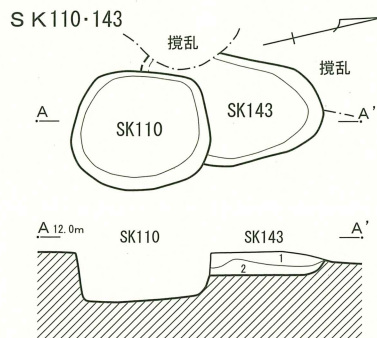
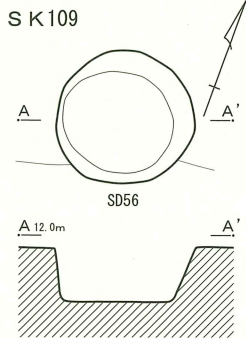
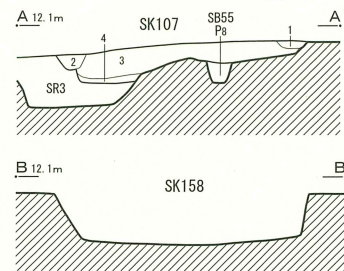
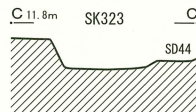
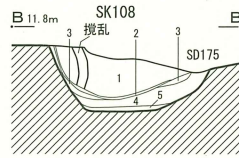
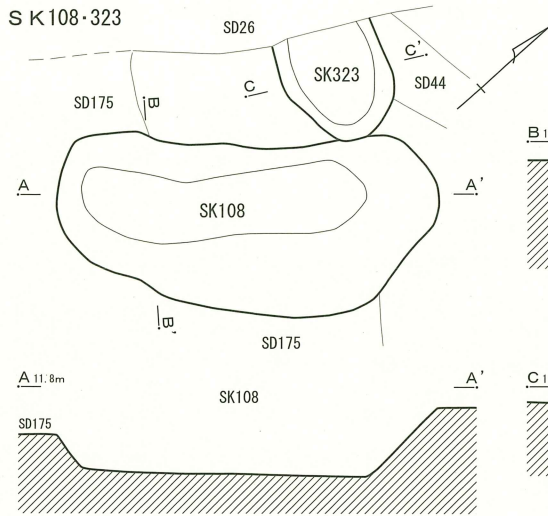
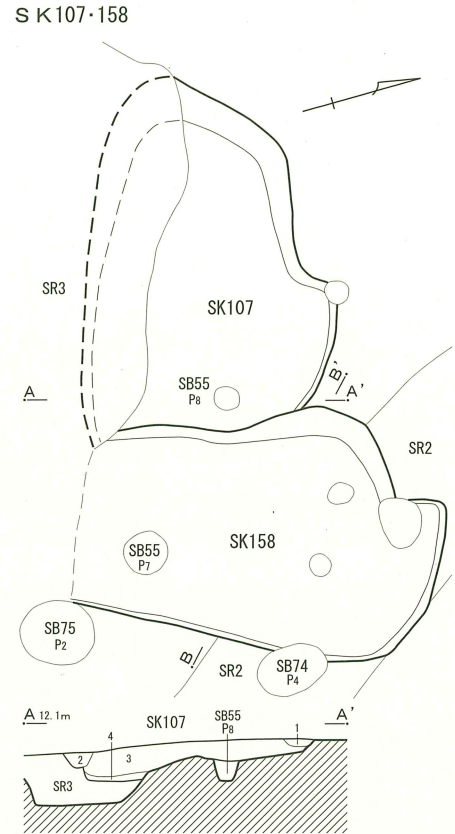
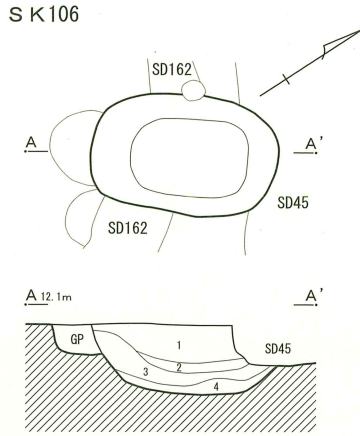
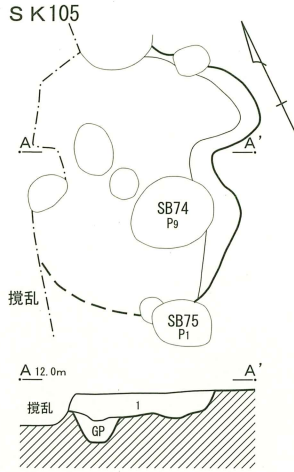
S K 217

- 1 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山粒少
しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)若干
地山粒少 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多
地山粒少 しまり強 粘性弱

S K 235 · 236

- 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)少
しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)少
しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)
・焼土ブロック(0.5~1.0cm)やや多
しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)
やや多 しまり強 粘性弱

第163図 土壌 (8)



SK105
1 灰褐色土 褐色粘土粒(2.0cm)少 黒色土ブロック(1.0~2.0cm)やや多

SK106
1 褐色土 炭化物(0.5~1.0cm) 焼土粒少
2 褐色土 炭化物(1.0cm)少 灰を全体に含む
3 暗褐色土 炭化物(0.2cm)・黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
4 暗褐色土 黄灰色粘土ブロック(1.0cm)多 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)少

SK107
1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~1.0cm)多 ビット
2 暗灰色土 褐色粘土粒(0.2~0.4cm)少 ビット

3 褐色土 褐色粘土粒(0.5~0.7cm)少
4 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2cm)微量

SK108
1 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)多 炭化物少 埋戻し土
2 黒色土 炭化物層
3 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)微量
4 黒灰色土 黄灰色粘土ブロック(0.3~0.5cm)多 炭化物少
5 黄灰色土 黒灰色土・炭化物ブロック(0.5~0.8cm)状に少 埋戻し土か

SK143
1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)多
2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少

第164図 土壌 (9)

径は1.02×0.90m、深さ0.55mである。

土師器の坏(93・94)が2点出土した。7世紀第3四半期と推定される。

第112号土壙(第164・184図)

A-20グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径0.65m、深さ0.45m、長軸方位はN-65°-Eである。

陶器碗(98)が1点出土した。

第113号土壙(第165・183図)

E-16・17グリッドに位置する。第91号溝跡と1基のピットを切っている。平面形は楕円形で、長径1.66m、短径1.60m、深さ0.38m、長軸方位はN-49°-Wである。

平瓦(96・97)が2点出土した。

第114号土壙(第165図)

F-18グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.95m、短径1.60m、深さ0.28m、長軸方位はN-65°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第115号土壙(第165図)

E-18・19グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸2.60m、短軸1.55m、深さ0.28m、長軸方位はN-65°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第116号土壙(第165図)

D-21グリッドに位置する。西側は調査区外に続く。第175号溝跡に切られている。平面形は楕円形と推定される。長径1.20m、短径[0.54]m、深さ0.92m、長軸方位はN-7°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第117号土壙(第165図)

F-19グリッドに位置する。第64号溝跡に切られている。平面形は楕円形と推定される。長径(1.75)m、短径(1.37)m、深さ0.24m、長軸方位はN-30°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第119号土壙(第165図)

C-19グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.17m、短径0.97m、深さ0.50m、長軸方位はN-17°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第120号土壙(第165図)

F-20グリッドに位置する。第21号溝跡を切っているが、第71号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.55m、短径1.50m、深さ0.22m、長軸方位はN-61°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第121号土壙(第165図)

F-20グリッドに位置する。第71・73号溝跡を切っている。平面形は隅丸方形で、規模は1.43×1.37m、深さ0.15mである。

遺物は出土しなかった。

第122号土壙(第165・183・184図)

F-18グリッドに位置する。第5号周溝状遺構を切っている。平面形は楕円形と推定される。長径(1.57)m、短径(0.73)m、深さ0.13m、長軸方位はN-43°-Eである。

図化できたのは焙烙(95)、陶器碗(99)の2点である。この他に、図化には至らなかったが、肥前系の磁器碗(18C代)の小破片が出土した。

第125号土壙(第165図)

F-15グリッドに位置する。第74号溝跡を切っている。平面形は円形で、径は1.22×(1.15)m、深さ0.22mである。

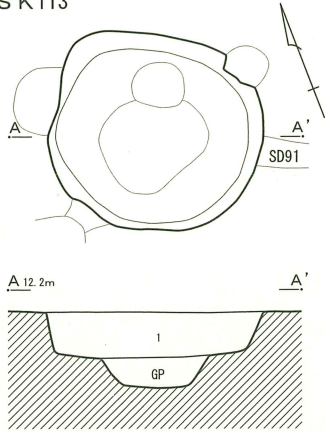
図化には至らなかったが、青花と思われる磁器碗の小破片が出土した。

第126号土壙(第166・184・185図)

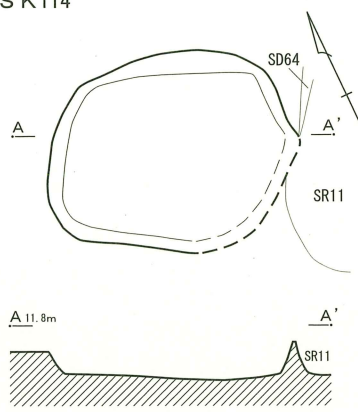
C・D-16グリッドに位置する。第54号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径3.40m、短径3.20m、深さ0.60m、長軸方位はN-3°-Wである。

図化できたのは陶磁器など24点(100~123)である。なおこれらの他に、図化には至らなかつ

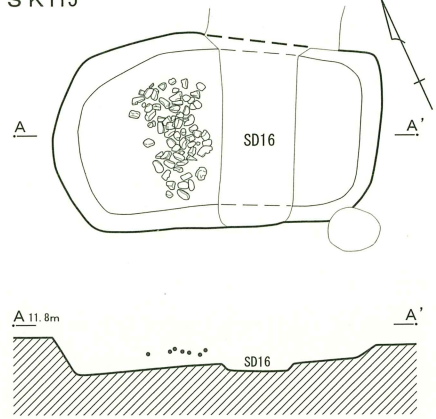
SK113



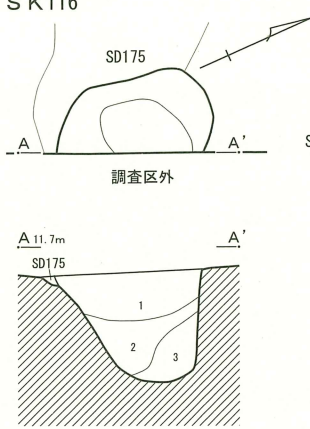
SK114



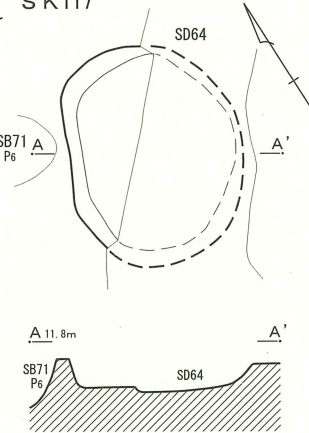
SK115



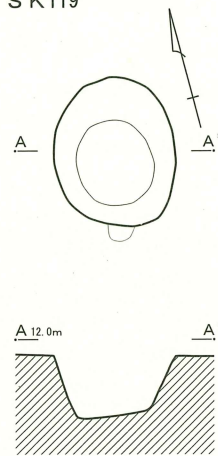
SK116



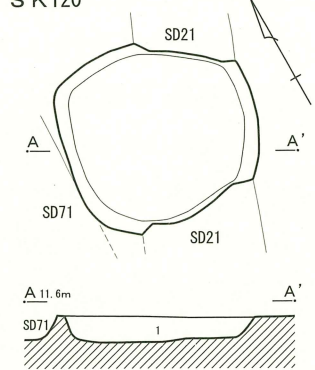
SK117



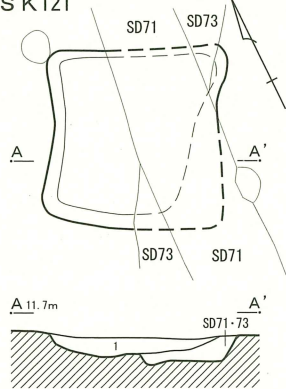
SK119



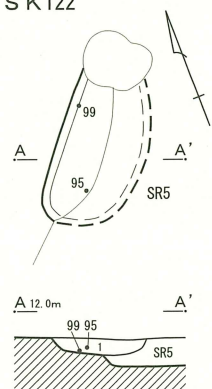
SK120



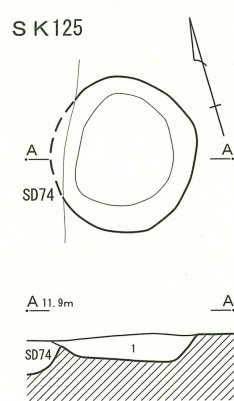
SK121



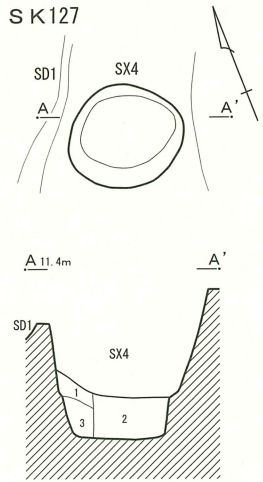
SK122



SK125



SK127



SK113
1 褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0~2.0cm)多 埋戻し土

SK116
1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.5cm)・焼土粒(0.5cm)少 土器片含む
2 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~1.5cm)やや多 黒色粘土粒(0.5~1.0cm)微量
3 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.5cm)多 (2.0~5.0cm)やや多 焼土粒(0.2~0.8cm)微量

SK120
1 灰褐色土 褐色粘土粒(1.0~2.0cm)多 炭化物(0.2~0.5cm)やや多 焼土粒(0.2cm)少

SK121
1 暗灰色土 褐色粘土粒(0.5cm)やや多 黄褐色粘土粒(0.2~0.5cm)・白色粒多

SK122
1 褐色土 黄灰色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少

SK125
1 灰褐色土 黄灰色粘土ブロック(0.3~0.5cm)均質に少 焼土粒少

SK127
1 黒灰色土 緑灰色粘土ブロック(0.8~1.0cm)多
2 緑灰色土 緑灰色粘土ブロック中に黒灰色土(0.5~0.8cm)少
3 淡緑灰色土 地山 淡緑灰色シルト

第165図 土壌 (10)

たが、肥前系の磁器碗・皿(17C 後半～18C 前半)、瀬戸・美濃系の陶器碗・皿(17C 前葉～後葉) 信楽系の陶器碗(17C 後葉)、堺系の陶器播鉢(18C 中～後葉)の小破片が出土した。

第127号土壙(第165図)

D-20グリッドに位置する。第4号性格不明遺構に切られている。平面形は円形で、径は0.89×0.82m、深さ1.18mである。

遺物は出土しなかった。

第128号土壙(第166図)

E-19・20グリッドに位置する。平面形は円形で、径は0.70×0.60m、深さ0.40mである。

遺物は出土しなかった。

第129号土壙(第166図)

D-15グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.15m、短径0.98m、深さ0.30m、長軸方位はN-24°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第130号土壙(第166図)

D-15・16グリッドに位置する。第68号掘立柱建物跡P12に切られている。平面形は隅丸長方形で、長軸1.30m、短軸1.00m、深さ0.50m、長軸方位はN-61°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第132号土壙(第166・185図)

F-18グリッドに位置する。第5号周溝状遺構を切っている。平面形は隅丸長方形で、長軸2.00m、短軸1.50m、深さ0.30mである。長軸方位はN-71°-Wである。

図化できたのは陶磁器(124～126)3点である。なお、図化には至らなかったが、肥前系の磁器碗(18C)、信楽系の陶器碗(17C 後半)の小破片が出土した。

第133号土壙(第166・185図)

F-17グリッドに位置する。平面形は不整形で、中央部に窪みをもつ。長径2.27m、短径1.62m、深さ1.10m、長軸方位はN-19°-Eである。

陶磁器(127～130)4点と砥石(131・132)2点が出土した。

第134号土壙(第166図)

F-18グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径[1.60]m、短径0.85m、深さ0.10m、長軸方位はN-18°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第135号土壙(第167・185図)

E-15グリッドに位置する。第59号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形または楕円形と推定される。長径(2.80)m、短径[1.50]m、深さ0.25m、長軸方位はN-75°-Wである。

図化できたのは、陶器・土器など16点(133～148)である。その他に、図化には至らなかったが、肥前系の磁器碗(18C)、瀬戸・美濃系の陶器碗・皿(18C)、信楽系の陶器碗(17C 後葉)の小破片が出土した。

第136号土壙(第167図)

E-15グリッドに位置する。1基のピットを切っているが、他の重複するピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸1.50m、短軸1.05m、深さ0.15m、長軸方位はN-78°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第137号土壙(第167図)

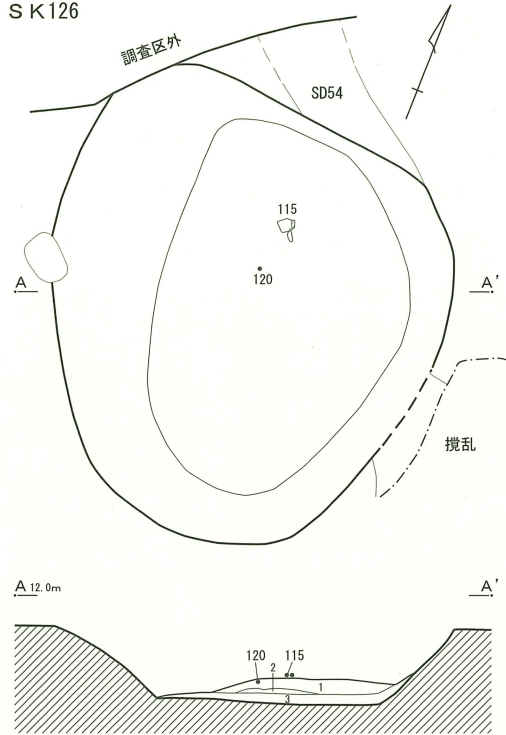
D-15グリッドに位置する。第89号溝跡を切っている。平面形は不整形で、長径[0.80]m、短径0.65m、深さ0.05m、長軸方位はN-55°-Wである。

図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器碗・蓋(19C 前半か)の小破片が出土した。

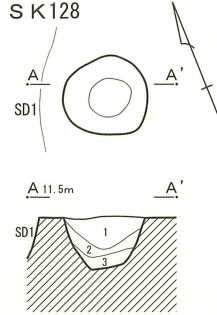
第138号土壙(第167図)

E・F-18グリッドに位置する。重複する第56号溝跡・第139号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径(0.80)m、深さ0.30m、長軸方位はN-90°-Eである。

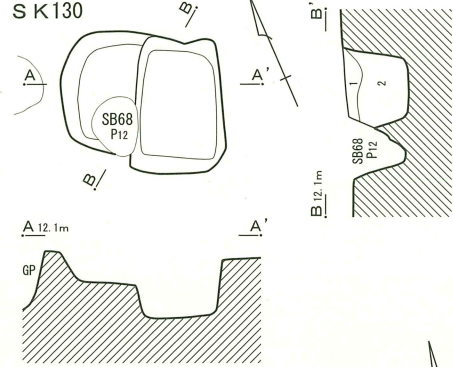
S K 126



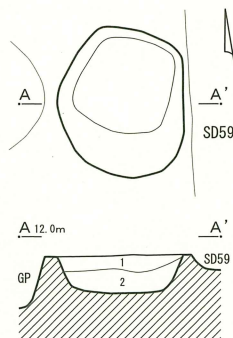
S K 128



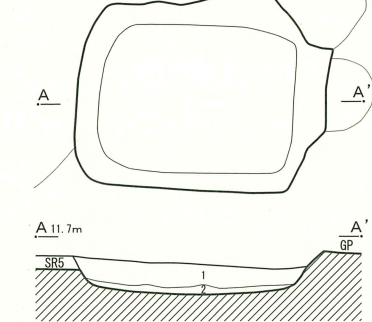
S K 130



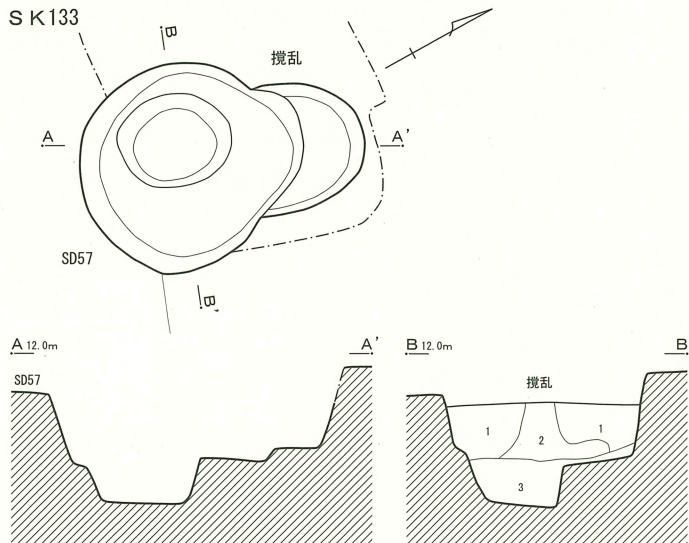
S K 129



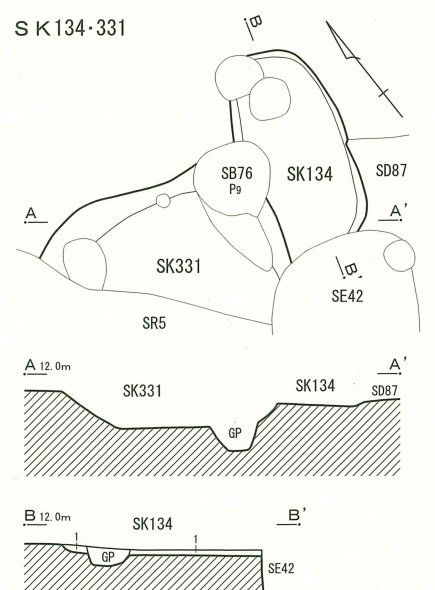
S K 132



S K 133



S K 134・331



S K 126

- 1 褐色土 褐色土粒(0.2~0.5cm)多 (1.0~4.0cm)少
炭化物(0.5~2.0cm)やや多
- 2 黒色土 褐色土粒(0.2~1.0cm)多
灰褐色粘土粒(0.5~1.0cm)・炭化物(0.5cm)多
- 3 黄褐色土 黒色土ブロック(0.5~2.0cm)やや多
褐色粘土粒(1.0cm)少

S K 128

- 1 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
- 2 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.8~1.0cm)多
- 3 暗褐色土 黄灰色粘土ブロック(0.2~0.3cm)均質に少

S K 129

- 1 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少
- 2 褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多

S K 130

- 1 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)均質に少
- 2 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少

S K 132

- 1 明褐色土 黄灰色粘土粒(0.1~0.2cm)少 しまり弱
- 2 暗褐色土 黄灰色粘土粒(0.1~0.2cm)やや多 しまり弱

S K 133

- 1 灰褐色土 淡緑灰色粘土ブロック(0.5~0.8cm)多
浅間A軽石を含む 炭化物少
- 2 灰褐色土 淡緑灰色粘土ブロック(0.5~0.8cm)少
浅間A軽石を含む 炭化物少
- 3 黄褐色土 淡緑灰色粘土ブロック(0.5~0.8cm)との混土层

S K 134

- 1 黄褐色土 黒褐色土ブロック(0.5~0.8cm)少



第166図 土壌 (11)

遺物は出土しなかった。

第139号土壙 (第167・186・187図)

F-18グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、規模は1.60×1.45m、深さ0.25mである。

図化できた遺物は須恵器・陶磁器など33点(149～181)である。なお、図化には至らなかったが、肥前系の陶器碗・皿(17C後半～18C前半)、瀬戸・美濃系の陶器皿(17C)の小破片が出土した。

第140号土壙 (第167図)

F-18グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で、規模は1.90×1.65m、深さ0.30mである。

遺物は出土しなかった。

第141号土壙 (第167図)

D-17グリッドに位置する。第7号周溝状遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形または楕円形と推定される。長径1.00m、短径[0.40]m、深さ0.10m、長軸方位はN-15°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第142号土壙 (第167図)

D-17グリッドに位置する。平面形は円形または楕円形と推定される。長径[0.80]m、短径[0.50]m、深さ0.10m、長軸方位はN-33°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第143号土壙 (第164図)

E-16グリッドに位置する。第110号土壙に切られている。平面形は長楕円形で、長径(1.50)m、短径0.88m、深さ0.20m、長軸方位はN-11°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第144号土壙 (第167図)

E-16グリッドに位置する。西側は攪乱で壊されている。平面形は不整な円形・楕円形と推定される。長径0.70m、短径[0.50]m、深さ0.20m、長軸方位はN-18°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第145号土壙 (第167図)

C-18グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径1.65m、短径1.05m、深さ0.15m、長軸方位はN-66°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第146号土壙 (第167図)

C-18・19グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径0.85m、深さ0.10m、長軸方位はN-34°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第147号土壙 (第168・187図)

D-15グリッドに位置する。平面形は円形で、径は0.75×0.75m、深さ0.80mである。

砥石(182)1点が出土した。

第148号土壙 (第167・187図)

D-15グリッドに位置する。第59号土壙との新旧関係は不明である。平面形は隅丸方形で、規模は1.55×1.45m、深さ0.15mである。

図化できた遺物は、土師器の甕(184)、古銭(183)である。なお、図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器香炉(17C)・碗(18C)の小破片が出土した。

第149号土壙 (第168図)

D・E-14グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径1.50m、短径1.05m、深さ0.35m、長軸方位はN-31°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第150号土壙 (第168図)

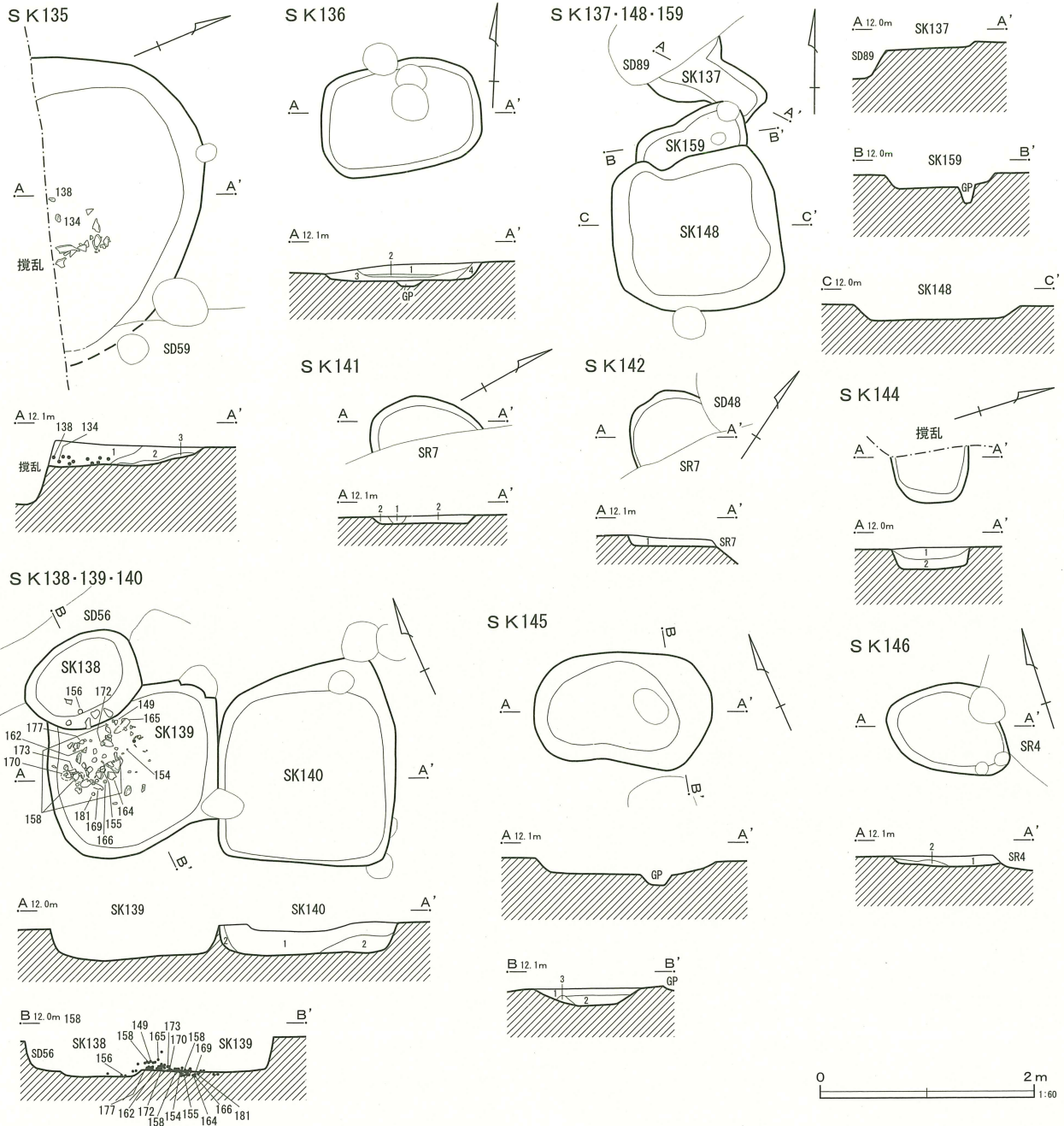
E-17グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.25m、短径1.10m、深さ0.50m、長軸方位はN-90°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第151号土壙 (第168・187図)

E-17グリッドに位置する。重複する遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.30m、短径0.95m、深さ0.55m、長軸方位はN-13°-Wである。

陶器皿(185)が1点出土した。



SK135

- 1 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
炭化物(0.3~0.5cm)・焼土粒(0.2~0.3cm)微量
- 2 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
- 3 黄褐色土 褐色土(0.3~0.5cm)若干

SK136

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.5~0.8cm)やや多 焼土粒(0.2~0.5cm)微量
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.5cm)多 褐色粘土粒(0.2~0.4cm)・灰褐色粘土粒(1.0~2.0cm)多
- 3 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.5~0.7cm)・褐色粘土粒(0.5cm)少
- 4 暗褐色土 灰褐色粘土粒(0.2~0.5cm)・褐色粘土粒(0.2cm)多

SK140

- 1 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)ランダムに多
炭化物(0.5cm)少 埋戻し土
- 2 黄褐色土 灰褐色土(2.0~3.0cm)との混土层

SK141

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少 ビット
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)多

SK142

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.3cm)多

SK144

- 1 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)少
- 2 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)多

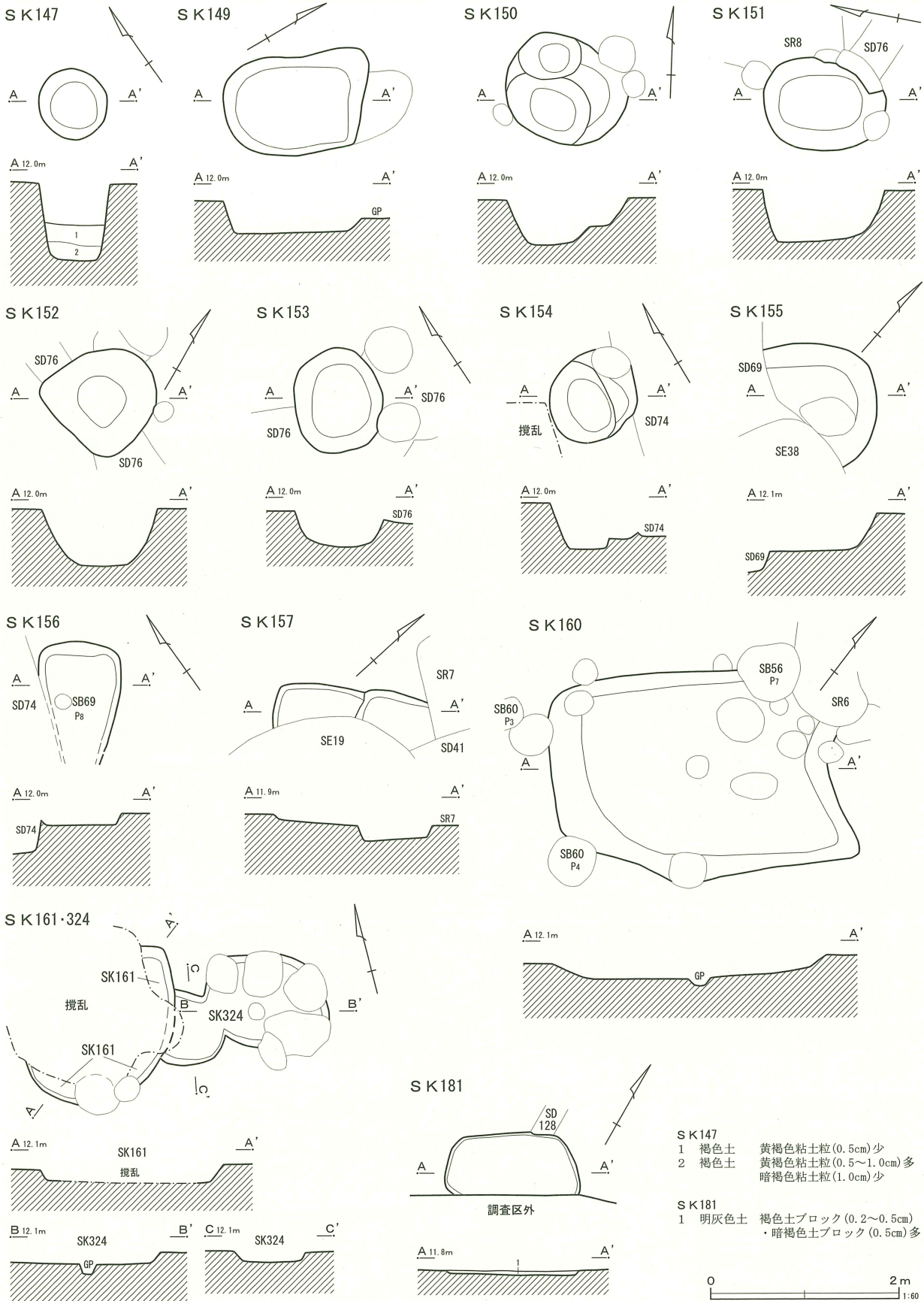
SK145

- 1 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
- 2 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)微量
- 3 黄褐色土 灰褐色土(1.0cm)少

SK146

- 1 明褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少
- 2 黄褐色土 明褐色土ブロック(0.2~0.3cm)少

第167図 土壌 (12)



第168図 土壌 (13)

第152号土壙 (第168図)

E-17グリッドに位置する。第76号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径1.05m、深さ0.55m、長軸方位はN-18°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第153号土壙 (第168図)

E-17グリッドに位置する。第76号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径0.95m、深さ0.35m、長軸方位はN-26°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第154号土壙 (第168図)

E-16グリッドに位置する。第74号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.05m、短径0.85m、深さ0.45m、長軸方位はN-73°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第155号土壙 (第168図)

D-17グリッドに位置する。第69号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形または楕円形と推定される。長径[1.05]m、短径1.23m、深さ0.40m、長軸方位はN-50°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第156号土壙 (第168図)

F-15グリッドに位置する。重複する遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形と推定される。長軸[1.15]m、短軸0.90m、深さ0.10m、長軸方位はN-36°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第157号土壙 (第168図)

E-18グリッドに位置する。第19号井戸跡に切られているが、第41号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形と推定される。長軸[1.75]m、短軸[0.45]m、深さ0.30m、長軸方位はN-52°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第158号土壙 (第164図)

B-19・20、C-20グリッドに位置する。重複する遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は長方形と推定される。長軸[2.90]m、短軸1.65m、深さ0.35m、長軸方位はN-17°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第159号土壙 (第167図)

D-15グリッドに位置する。第137・148号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明である。長径1.15m、短径[0.30]m、深さ0.10mである。

遺物は出土しなかった。

第160号土壙 (第168図)

C-18グリッドに位置する。重複する遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸2.95m、短軸2.15m、深さ0.30m、長軸方位はN-52°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第161号土壙 (第168図)

D-16、E-15・16グリッドに位置する。第324号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。長径1.95m、短径[0.20]m、深さ0.20m、長軸方位はN-53°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第162号土壙 (第169図)

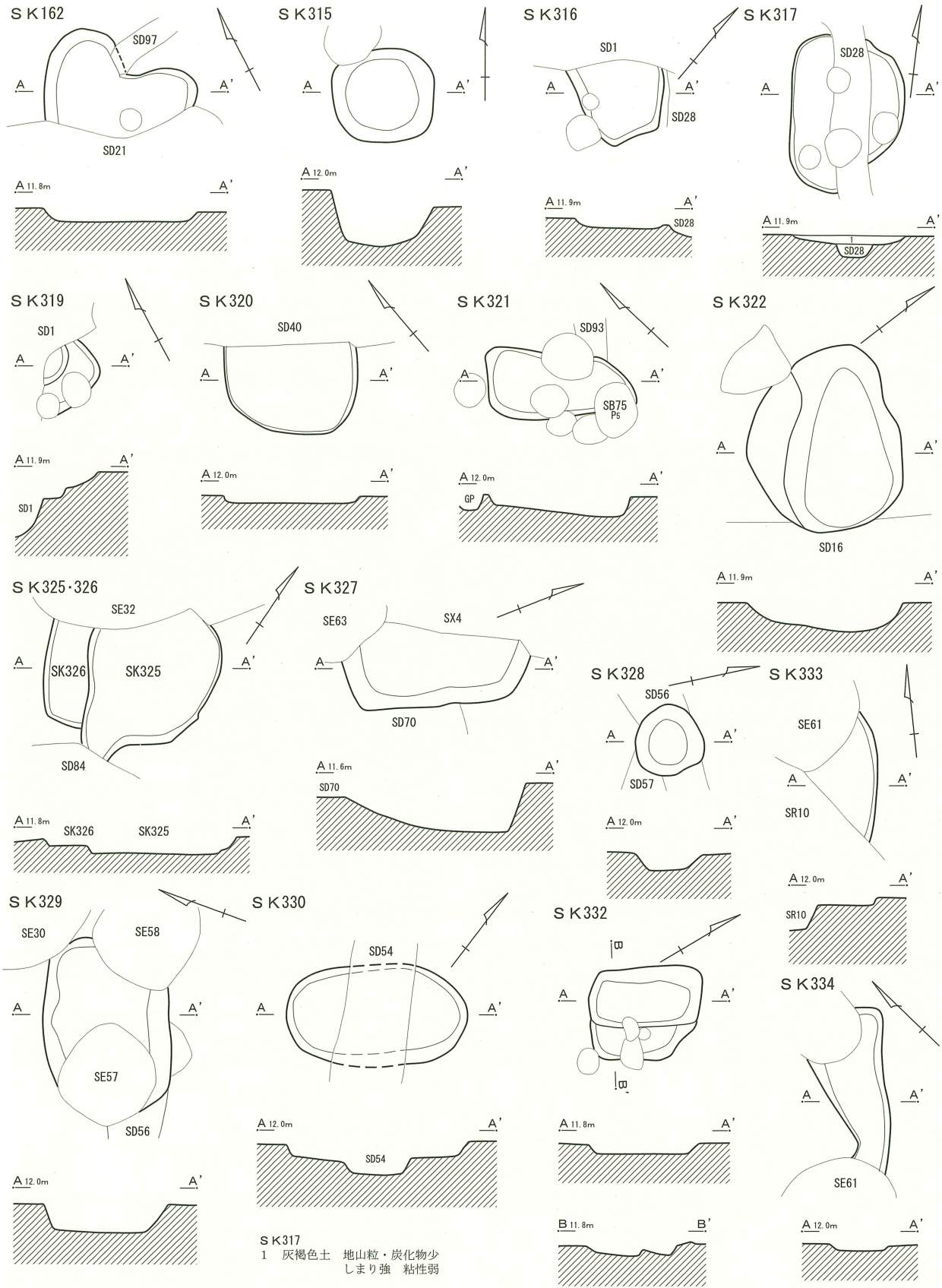
D-20グリッドに位置する。重複する遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明である。長径1.65m、短径[1.05]m、深さ0.15mである。

遺物は出土しなかった。

第181号土壙 (第168図)

J-14グリッドに位置する。南側は調査区外に続く。平面形は楕円形と推定される。長径1.45m、短径[0.65]m、深さ0.04m、長軸方位はN-60°-Eである。

遺物は出土しなかった。



第169図 土壌 (14)

第201号土壙 (第163図)

K-8グリッドに位置する。第214号土壙と1基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.40m、短径1.02m、深さ0.21m、長軸方位はN-34°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第202号土壙 (第170図)

L-7グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径0.70m、短径0.55m、深さ0.35m、長軸方位はN-78°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第203号土壙 (第170図)

L-7グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.05m、短径0.65m、深さ0.35m、長軸方位はN-76°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第204号土壙 (第170図)

M-8グリッドに位置する。西側は、土層断面A-A'上のピットに切られているが、それ以外の遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明である。南北規模は2.52mである。

遺物は出土しなかった。

第206号土壙 (第170図)

L-8グリッドに位置する。第7号住居跡を切っているが、第7号溝跡には切られていると判断した。第103号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸方形で、長径1.15m、短径1.05m、深さ0.35mである。

遺物は出土しなかった。

第207号土壙 (第170図)

M-8グリッドに位置する。1基のピットに切られている。第7号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.50m、短径1.05m、深さ0.15m、長軸方位はN-23°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第209号土壙 (第170図)

L・M-8・9グリッドに位置する。第8号住居跡と2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸方形に近いが、やや変則的であることから、複数の遺構の可能性はある。長径1.21m、短径1.10m、深さ0.20m、長軸方位はN-22°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第210号土壙 (第170・187図)

M-8グリッドに位置する。南側は調査区外に続く。第3号方形周溝墓を切っている。第8号住居跡との新旧関係は確認できなかった。規模は南北1.75m、東西0.50m、深さ0.42mである。

土師器の甕(186)が1点出土した。

第211号土壙 (第163図)

K-7・8グリッドに位置する。第212・216号土壙やピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.45m、短径1.23m、深さ0.53m、長軸方位はN-11°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第212号土壙 (第163図)

K-8グリッドに位置する。第211・213号土壙やピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.04m、短径0.75m、深さ0.38m、長軸方位はN-80°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第213号土壙 (第163図)

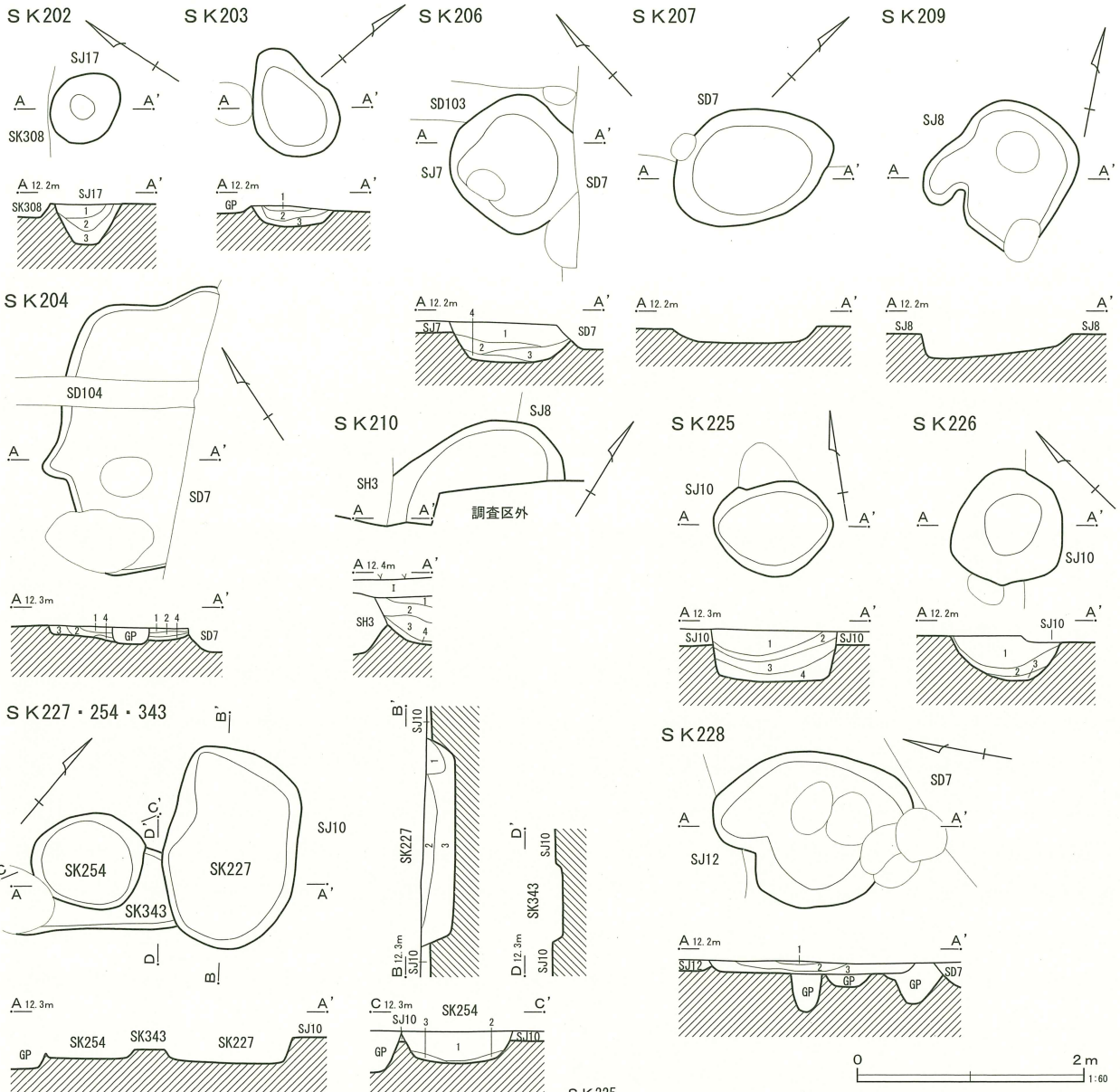
K-8グリッドに位置する。第212・214号土壙やピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.10m、短径1.00m、深さ0.30m、長軸方位はN-10°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第214号土壙 (第163・187図)

K-8グリッドに位置する。第201・213号土壙やピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸L字形で、長径1.95m、短径0.85m、深さ0.18mである。

土師器の壺(187・188)2点・甕(189)1点



SK202
 1 暗褐色土 地山粒・焼土粒少 しまり強 粘性弱
 2 暗褐色土 地山粒・焼土粒やや多 しまり強 粘性弱
 3 暗褐色土 地山粒・地山ブロック多 しまり強 粘性弱

SK203
 1 暗褐色土 地山粒少 焼土粒微量 しまり強 粘性弱
 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)やや多 炭化物少 しまり強 粘性弱
 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)極多 しまり強 粘性弱

SK204
 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロックやや多 炭化物微量 しまり強 粘性弱
 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック多 炭化物微量 しまり強 粘性弱
 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック極多 炭化物微量 しまり強 粘性弱
 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック多

SK206
 1 暗褐色土 地山粒・炭化物少 しまり強 粘性弱
 2 黒褐色土 地山粒・地山ブロック少 しまり強 粘性弱
 3 暗褐色土 地山粒・地山ブロックやや多 しまり強 粘性弱
 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック極多 しまり強 粘性弱

SK210
 1 耕作土
 2 黒褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山ブロック(0.5cm)微量
 3 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(0.5~2.0cm)少
 4 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)微量 地山ブロック(0.5~2.0cm)少
 5 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)微量 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多

SK225
 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)若干 炭化物少
 2 黒褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物多
 3 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)やや多 炭化物少
 4 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)少

SK226
 1 黒褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物少
 2 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(1.0~2.0cm)少
 3 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多

SK227
 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱 ビット
 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱
 3 黒褐色土 地山ブロック(0.5~2.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱

SK228
 1 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物若干 しまり強 粘性弱
 2 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~3.0cm)多 炭化物少 しまり強 粘性弱
 3 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~2.0cm)若干 炭化物少 しまり強 粘性弱

SK254
 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)微量 しまり強 粘性弱
 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(2.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱

第170図 土壌 (15)

が出土した。

第216号土壙 (第163図)

K-8グリッドに位置する。第201・211・218号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.95m、短径0.65m、深さ0.20m、長軸方位はN-89°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第217号土壙 (第163・187図)

K-8グリッドに位置する。第219号土壙やピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.99m、短径0.62m、深さ0.40m、長軸方位はN-5°-Eである。

土師器の坏(190)と鉢(191)が1点ずつ出土した。

第218号土壙 (第163図)

K-7・8グリッドに位置する。第216号土壙に切られる。平面形は楕円形で、長径1.05m、短径0.50m、深さ0.23m、長軸方位はN-25°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第219号土壙 (第163・187図)

K-8グリッドに位置する。第217号土壙を切っていると判断したが、3基のピットとの新旧関係については確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長径2.20m、短径1.45m、深さ0.10m、長軸方位はN-49°-Wである。

土師器の甕(192)・高坏(193)および貝窠穴痕泥岩(194)が1点ずつ出土した。

第225号土壙 (第170図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っているが、ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径0.99m、短径0.83m、深さ0.45m、長軸方位はN-80°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第226号土壙 (第170図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡に切られている。平面形は楕円形で、長径1.03m、

短径0.95m、深さ0.39m、長軸方位はN-84°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第227号土壙 (第170・187図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っている。第343号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形で、長径1.75m、短径1.15m、深さ0.18m、長軸方位はN-35°-Wである。

土師器の坏(195・196)が2点出土した。土壙の時期は、6世紀第2四半期と推定される。

第228号土壙 (第170・187図)

M-7グリッドに位置する。第12号住居跡と3基のピットを切っているが、残る2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は歪んだ楕円形で、長径1.83m、短径1.42m、深さ0.10m、長軸方位はN-7°-Wである。

土師器(197・198・200・201)4点・須恵器(199・202・203)3点が出土した(7世紀第4四半期)。これらの他に、図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器甕(18C)の小破片が出土している。

第229号土壙 (第171・187図)

M-7グリッドに位置する。第247号土壙を切っていると判断した。平面形は隅丸長方形で、長軸2.08m、短軸1.13m、深さ0.23m、長軸方位はN-15°-Eである。

土師器(205)・須恵器(204・206)・青磁皿(207)の計4点が出土した(7世紀第4四半期)。これらの他に、図化には至らなかったが、美濃系の陶器碗(18C)の破片が出土している。

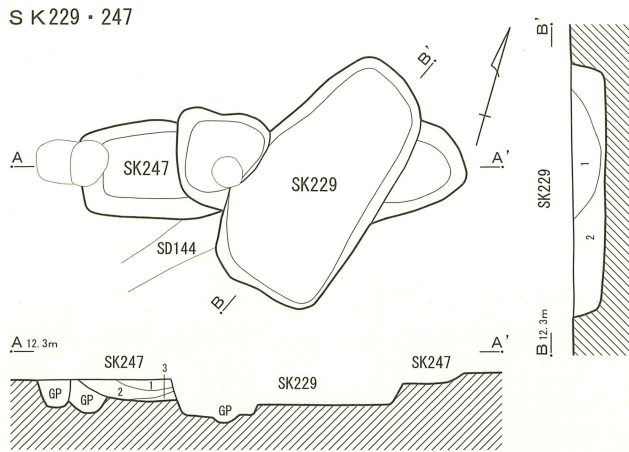
第230号土壙 (第171図)

M-7グリッドに位置する。第341号土壙に切られ、ピットを切っている。平面形は円形に近い楕円形で、長径1.05m、短径0.95m、深さ0.47m、長軸方位はN-9°-Wである。

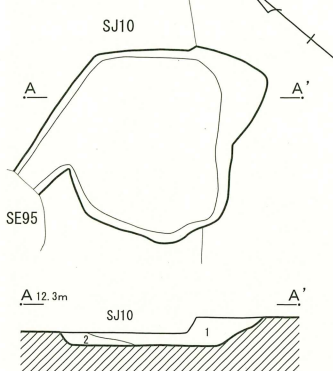
遺物は出土しなかった。

第231号土壙 (第171図)

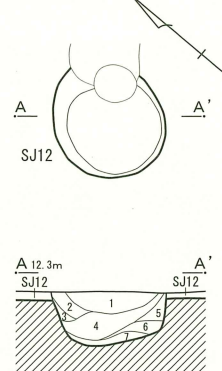
S K 229・247



S K 232



S K 233



S K 229

- 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5~3.0cm)・地山粒多 焼土ブロック(0.5cm)少し
しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~3.0cm)・地山粒極多 焼土ブロック(0.5cm)少し
しまり強 粘性弱

S K 230-341

- 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロックやや多
しまり強 粘性やや弱
- 2 暗黄褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)多
- 3 灰褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~2.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 6 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0cm)少 しまり強 粘性弱
- 7 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- しまり強 粘性やや弱

S K 231

- 1 黒褐色土 地山粒・焼土ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性弱
- 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~3.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山粒若干 しまり強 粘性弱

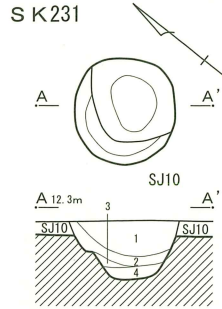
S K 232

- 1 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~5.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~2.0cm)少 焼土ブロック(0.5cm)微量
しまり強 粘性弱

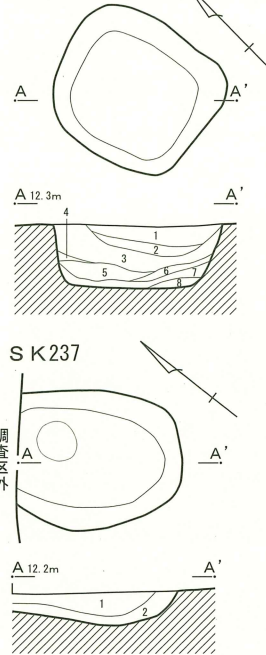
S K 233

- 1 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山ブロック(0.5~1.0cm)少
しまり強 粘性弱
- 2 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山ブロック層 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)若干
しまり強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 地山ブロック層 しまり強 粘性弱
- 6 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性弱
- 7 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱

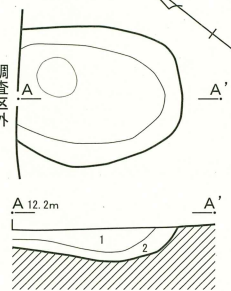
S K 231



S K 234



S K 237



S K 234

- 1 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(0.5cm)・炭化物少
しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(0.5cm)やや多
しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 地山ブロック(1.0~3.0cm)極多
しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~5.0cm)極多 しまり強 粘性弱
- 6 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 地山粒少
しまり強 粘性弱
- 7 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・地山粒少 しまり強 粘性弱
- 8 暗褐色土 地山ブロック(0.5~2.0cm)多 地山粒やや多 しまり強 粘性弱

S K 237

- 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・地山粒微量 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・地山粒やや多 炭化物少
しまり強 粘性弱

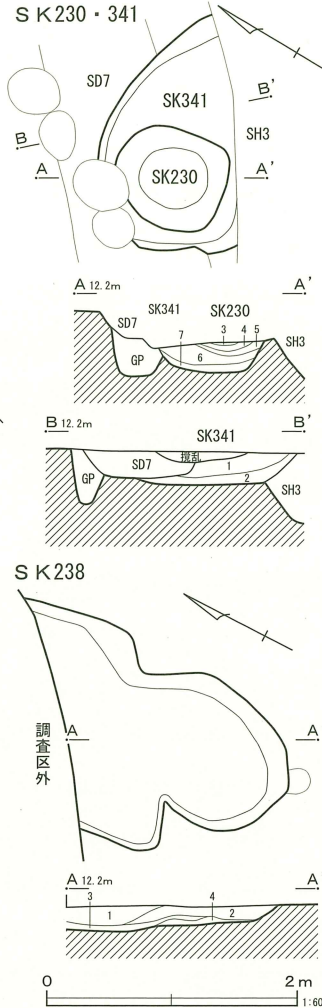
S K 238

- 1 黒色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5cm)微量
しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~2.0cm)少 焼土ブロック(0.5cm)微量
しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山ブロック(0.5~2.0cm)やや多 焼土ブロック(0.5~1.0cm)少
しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱

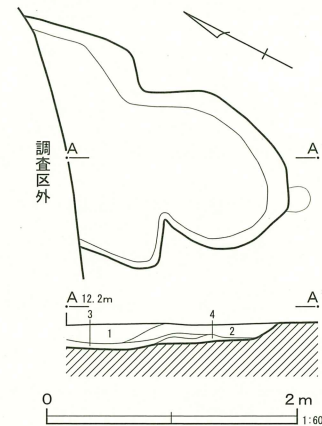
S K 247

- 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)少
しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)若干
炭化物少 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物ブロック(0.5cm)少
しまり強 粘性弱

S K 230・341



S K 238



第171図 土壌 (16)

L-7グリッドに位置する。第10号住居跡を切っている。平面形はやや歪んだ円形で、径は0.85×0.80m、深さ0.45mである。

遺物は出土しなかった。

第232号土壙 (第171図)

L・M-6・7グリッドに位置する。第10号住居跡に切られていると判断した。西側部分は第95号井戸跡と重複している可能性があるが、確認はできなかった。平面形はやや歪んだ楕円形で、長径1.63m、短径1.41m、深さ0.22m、長軸方位はN-66°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第233号土壙 (第171・187図)

M-7グリッドに位置する。第12号住居跡を切っているが、ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.00m、短径0.87m、深さ0.43m、長軸方位はN-35°-Eである。

土師器の坏(208)・甕(209)が1点ずつ出土した。土壙の時期は、6世紀第4四半期と推定される。

第234号土壙 (第171・187図)

L-8・9グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長軸1.30m、短軸1.18m、深さ0.50m、長軸方位はN-13°-Wである。

土師器の坏(210・211)2点が出土した。土壙の時期は、7世紀第2四半期と推定される。

第235号土壙 (第163・188図)

L-8グリッドに位置する。当初、1つの土壙として遺物の取り上げを行っていたが、後に第236号土壙と分離したため、遺物の帰属が特定できない結果となってしまった。第236号土壙を切っている。平面形は長楕円形で、長径2.15m、短径0.90m、深さ0.22m、長軸方位はN-52°-Eである。

第236号土壙と合わせて、土師器(212・213)2点が出土した。

第236号土壙 (第163・188図)

L-8グリッドに位置する。第235号土壙に切られている。ピットとの新旧関係は確認できなかった。当初、第235号土壙として遺物の取り上げを行っていたが、後に本土壙に分離したため、遺物の帰属が特定できない結果となった。平面形は円形に近い楕円形で、長径1.30m、短径1.15m、深さ0.22m、長軸方位はN-29°-Wである。

第235号土壙と合わせて、土師器(212・213)が2点出土した。

第237号土壙 (第171図)

L-6グリッドに位置する。西側は調査区外に続く。平面形は楕円形と思われる。東西規模は1.38mまでの確認で、深さ0.26m、長軸方位はN-34°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第238号土壙 (第171・188図)

L-6グリッドに位置する。西側は、調査区外に続く。平面形は不整形である。東西規模は1.35mであるが、南北規模は2.63mまでの確認で、深さ0.20m、長軸方位はN-19°-Wである。

土師器の甕(214・215)が2点出土した。

第239号土壙 (第172・188図)

K-6・7グリッドに位置する。西側は、調査区外に続く。第255・256号土壙と1基のピットに切られている。平面形は隅丸方形、または隅丸長方形と推定される。東西規模は2.35mであるが、南北規模は1.25mまでの確認で、深さ0.15mである。

土師器の坏(216・217)が2点出土した。

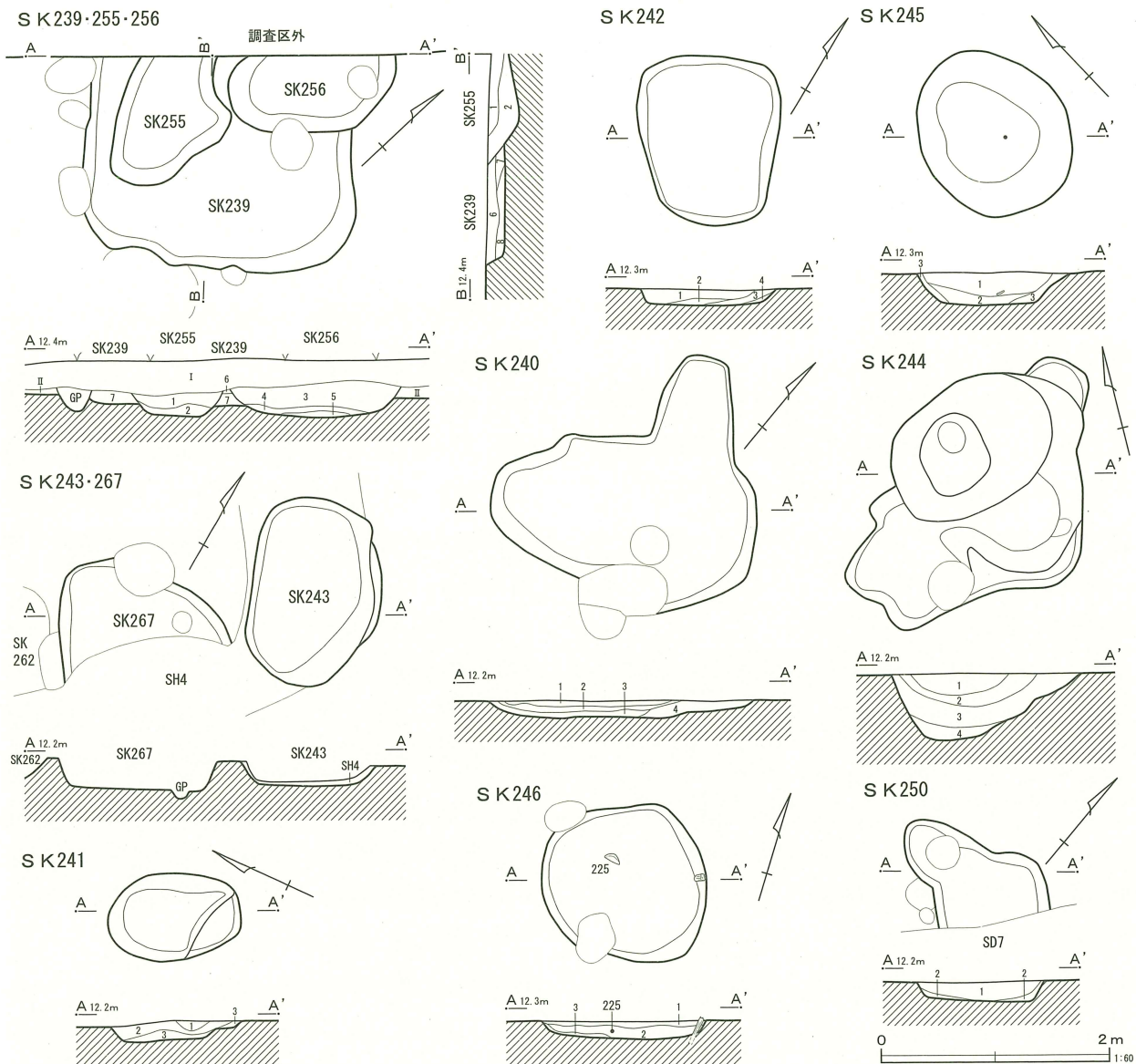
第240号土壙 (第172・188図)

L-6グリッドに位置する。平面形は不整形で、規模は東西2.35m、南北2.23m、深さ0.15mである。

土師器の坏(218)と甕(219)が出土した。土壙の時期は7世紀第4四半期と推定される。

第241号土壙 (第172図)

M-6グリッドに位置する。平面形は楕円形で、



S K 239・255・256

- I 黒色土 耕作土
- II 黄褐色土 地山
- 1 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)・炭化物少 しまり強 粘性弱
- 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)若干 炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)・炭化物少 しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~3.0cm)多 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 5 黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~3.0cm)極多 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 6 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物少 地山粒若干 しまり強 粘性弱
- 7 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・地山粒少 しまり強 粘性弱
- 8 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)少 炭化物微量 しまり強 粘性弱

S K 240

- 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~5.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性弱

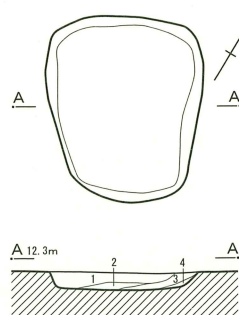
S K 241

- 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(2.0~4.0cm)極多 しまり強 粘性弱

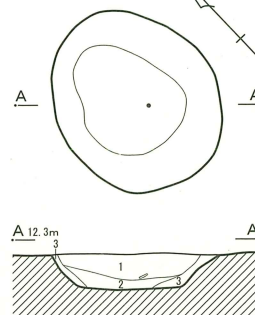
S K 242

- 1 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性弱
- 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)多 しまり強 粘性弱

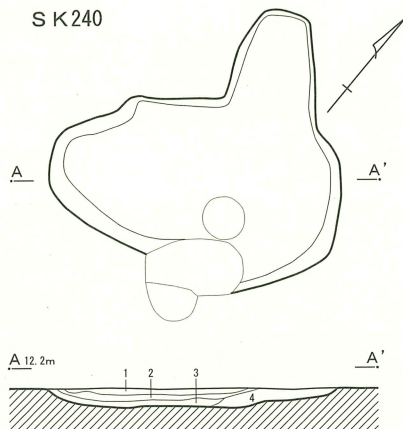
S K 242



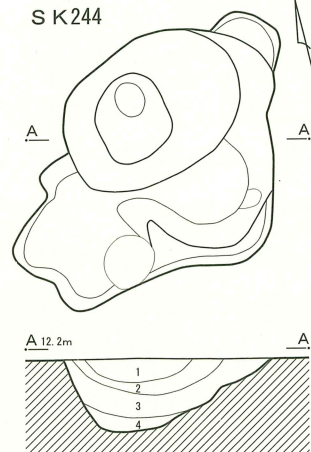
S K 245



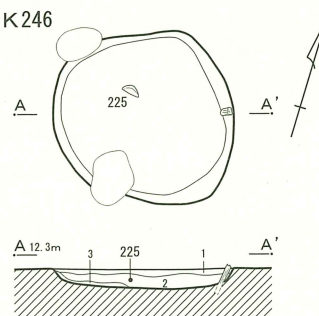
S K 240



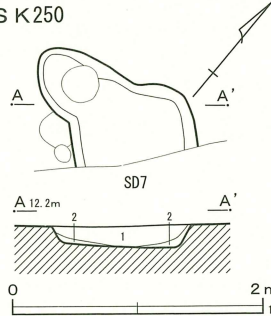
S K 244



S K 246



S K 250



S K 244

- 1 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)少 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)若干 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~3.0cm)多 焼土ブロック少 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(3.0~4.0cm)多 焼土ブロック少 しまり強 粘性弱

S K 245

- 1 黒褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(0.5~1.0cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山ブロック(0.5~1.0cm)微量 しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多

S K 246

- 1 暗黄褐色土 地山粒少 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)・焼土粒若干 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 しまり強 粘性弱

S K 250

- 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~2.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0cm)多 しまり強 粘性弱

第172図 土壌 (17)

長径1.18m、短径0.82m、深さ0.15m、長軸方位はN-25°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第242号土壙 (第172図)

M-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形で、長径1.50m、短径1.15m、深さ0.15m、長軸方位はN-27°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第243号土壙 (第172図)

M-7グリッドに位置する。第4号方形周溝墓を切っている。平面形は長楕円形で、長径1.65m、短径1.05m、深さ0.15m、長軸方位はN-29°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第244号土壙 (第172・188図)

M-6グリッドに位置する。平面形は不整形で、長径2.75m、短径1.55m、深さ0.60m、長軸方位はN-57°-Eである。

土師器の坏(222・223)・壺(224)・甕(220・221)が合わせて5点出土した。土壙の時期は、7世紀第1四半期と推定される。

第245号土壙 (第172図)

M-6グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.50m、短径1.25m、深さ0.28m、長軸方位はN-8°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第246号土壙 (第172・188図)

M-6グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.55m、短径1.45m、深さ0.17m、長軸方位はN-73°-Wである。

須恵器の蓋(225)が1点出土した。

第247号土壙 (第171・188図)

M-7グリッドに位置する。第229号土壙に切られ、1基のピットを切っている。平面形は楕円形で、長径3.13m、短径0.80m、深さ0.18m、長軸方位はN-78°-Eである。

土師器の甕(226)が1点出土した。

第248号土壙 (第173・188図)

L-6グリッドに位置する。第249号土壙を切っているが、第151号溝跡には切られていると判断した。第253号土壙とピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は円形に近い楕円形で、長径2.05m、短径1.75m、深さ0.22m、長軸方位はN-43°-Eである。

土師器の甕(227)が1点出土した。

第249号土壙 (第173図)

L-6グリッドに位置する。第248号土壙に切られているが、第275号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径(0.85)m、短径0.65m、深さ0.22m、長軸方位はN-4°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第250号土壙 (第172・188図)

M-7・8グリッドに位置する。第7号溝跡に切られているが、ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と思われる。長径は1.25mまでの確認で、短径0.85m、深さ0.18m、長軸方位はN-88°-Wである。

土師器の甕(228)が1点出土した。

第251号土壙 (第173図)

L-7グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径0.95m、短径0.60m、深さ0.28m、長軸方位はN-72°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第252号土壙 (第173図)

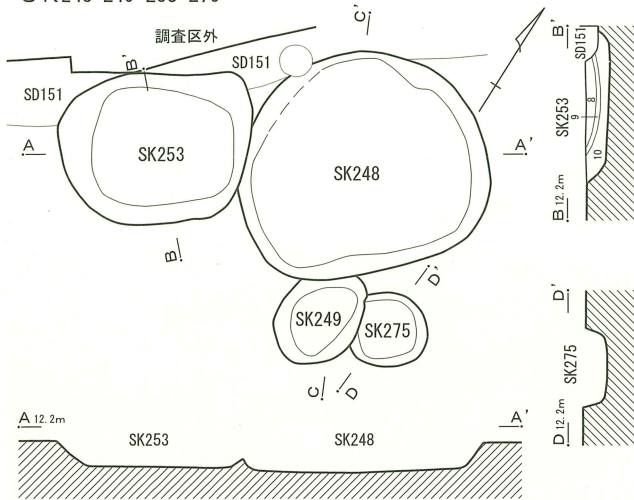
L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っている。平面形は円形で、径は0.80×0.75m、深さ0.30mである。

遺物は出土しなかった。

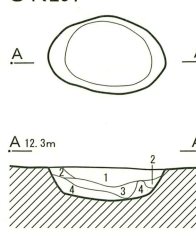
第253号土壙 (第173・188図)

L-5・6グリッドに位置する。第151号溝跡に切られていると判断したが、第248号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.51m、短径1.22m、深さ0.18m、長軸方位

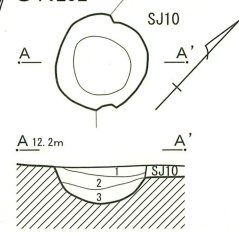
S K 248・249・253・275



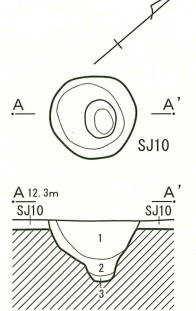
S K 251



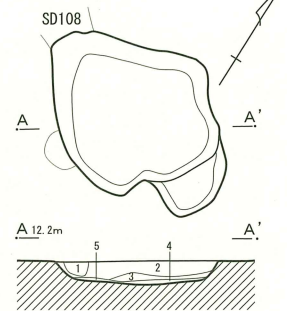
S K 252



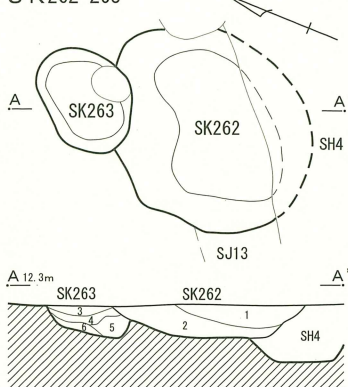
S K 257



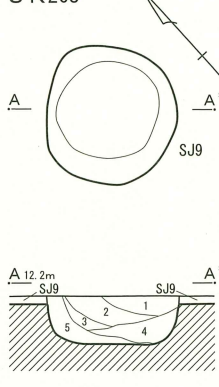
S K 259



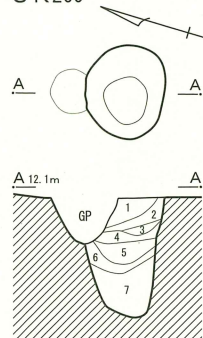
S K 262・263



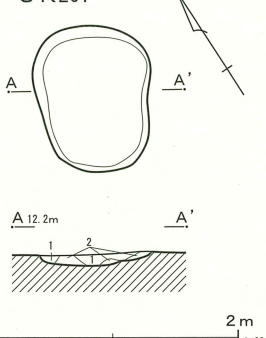
S K 268



S K 260



S K 261



S K 248・249・253

- 1 黒褐色土 地山粒・焼土粒少 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)・焼土粒少 しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)・焼土粒やや多 しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 しまり強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~3.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 6 暗褐色土 地山粒・焼土粒微量 しまり強 粘性弱
- 7 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)多 しまり強 粘性弱
- 8 黒褐色土 地山粒(0.5cm)・焼土粒(0.5cm)・炭化物少 しまり強 粘性弱
- 9 黒褐色土 地山粒・焼土粒微量 しまり強 粘性弱
- 10 黒褐色土 地山粒・焼土ブロック(0.5cm)若干 しまり強 粘性弱

S K 251

- 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)若干 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 4 黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)極多 しまり強 粘性弱

S K 252

- 1 黒褐色土 地山粒・焼土ブロック(0.5cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 黒灰色土 地山粒・焼土ブロック少 灰若干 しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山ブロック・焼土ブロック(0.5cm)若干 しまり強 粘性弱

S K 257

- 1 暗褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)若干 炭化物ブロック(0.5cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物少 しまり強 粘性弱
- 3 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱

S K 259

- 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5cm)微量 炭化物少 しまり強 粘性弱 ピット
- 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5cm)若干 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 地山ブロック(0.5cm)若干 炭化物・焼土ブロック少 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)多 炭化物少 しまり強 粘性弱

S K 260

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)やや多
- 3 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
- 4 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多
- 5 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
- 6 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~2.0cm)少
- 7 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~2.0cm)やや多

S K 261

- 1 暗褐色土 地山粒・炭化物少 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)多 しまり強 粘性弱

S K 262・263

- 1 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)少 焼土ブロックやや多 しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)微量 しまり強 粘性弱
- 4 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)少 炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多 炭化物微量 しまり強 粘性弱
- 6 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)極多 しまり強 粘性弱

S K 268

- 1 黒褐色土 炭化物ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(1.0~2.0cm)少 しまりやや強 粘性弱
- 2 暗褐色土 炭化物ブロック(2.0~3.0cm)・地山ブロック(2.0~3.0cm)やや多 しまりやや強 粘性弱
- 3 暗褐色土 炭化物ブロック(1.0~2.0cm)やや多 地山ブロック(2.0~3.0cm)多 しまりやや強 粘性弱
- 4 暗褐色土 炭化物ブロック(2.0~3.0cm)やや多 地山ブロック(1.0~2.0cm)・焼土ブロック(1.0~2.0cm)少 しまりやや強 粘性弱
- 5 暗黄褐色土 炭化物ブロック(0.5~1.0cm)少 地山ブロック(2.0~3.0cm)極多 しまりやや強 粘性弱

第173図 土壌 (18)

はN-56° -Eである。

土師器 (229 ~ 231) と鉄製品 (232) 合わせて4点が出土した。土壌の時期は、7世紀第2四半期と推定される。

第254号土壌 (第170図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切り、ピットに切られている。第343号土壌との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.00m、短径0.70m、深さ0.10m、長軸方位はN-60° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第255号土壌 (第172・188図)

K-6・7グリッドに位置する。北側は、調査区外に続いている。第239号土壌を切っている。東西規模は0.96mであるが、南北規模は1.38mまでの確認で、深さは0.18m、長軸方位はN-16° -Wである。

土師器の甕 (233) が1点出土した。土壌の時期は、7世紀第3四半期と推定される。

第256号土壌 (第172・188図)

K-7グリッドに位置する。第239号土壌を切っている。平面形は楕円形と推定される。南北規模は1.50mであるが、東西規模は0.70mまでの確認で、深さ0.32mである。長軸方位は不明である。

土師器 (234 ~ 236) が3点出土した。土壌の時期は、7世紀第1四半期と推定される。

第257号土壌 (第173図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っている。平面形は円形で、径は0.70×0.65m、深さ0.55mである。

遺物は出土しなかった。

第259号土壌 (第173図)

K-7グリッドに位置する。第108号溝跡やピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は不整楕円形で、長径1.82m、短径1.15m、深さ0.18mである。長軸方位はN-75° -Wである。

遺物は出土しなかった。

第260号土壌 (第173・188図)

K-7・8グリッドに位置する。ピットに切られていると判断した。平面形は円形に近い楕円形で、長径0.75m、短径0.65m、深さ0.95m、長軸方位はN-85° -Eである。形状と規模から、井戸の可能性が考えられる。

土師器の坏 (237) が1点出土した。土壌の時期は、6世紀第1四半期と推定される。

第261号土壌 (第173図)

K-7グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.15m、短径0.90m、深さ0.10m、長軸方位はN-29° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第262号土壌 (第173・188図)

M・N-6グリッドに位置する。第4号方形周溝墓と第263号土壌を切っている。平面形は楕円形で、長径1.84m、短径(1.55)m、深さ0.28m、長軸方位はN-43° -Eである。

土師器 (238 ~ 240) が3点出土した。

第263号土壌 (第173図)

M-6グリッドに位置する。第262号土壌に切られている。平面形は楕円形で、長径0.92m、短径0.71m、深さ0.25m、長軸方位はN-36° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第264号土壌 (第174・188図)

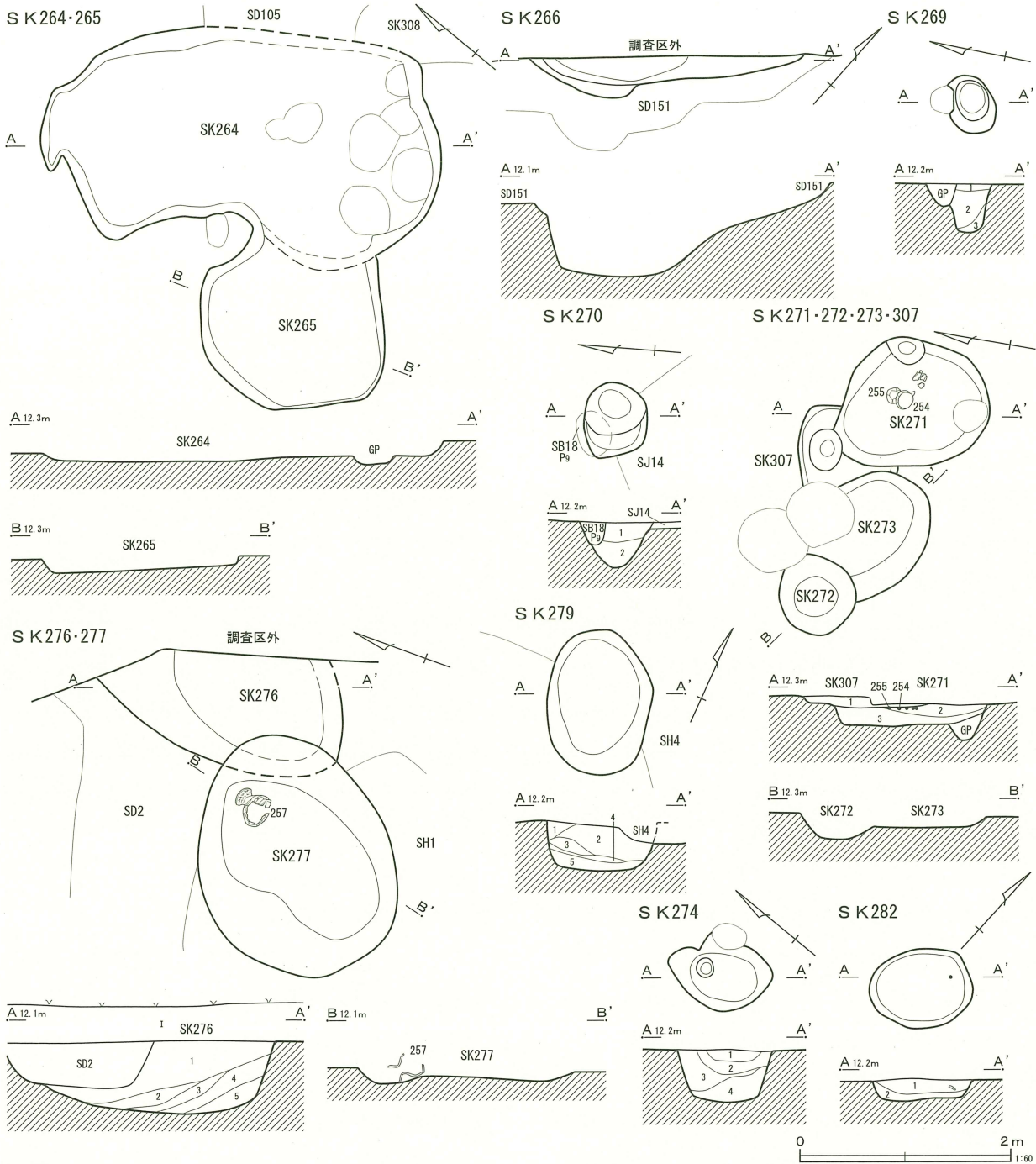
L-6・7グリッドに位置する。平面形は歪んだ楕円形で、長径3.86m、短径1.87m、深さ0.14m、長軸方位はN-26° -Wである。

土師器 (241・242) が2点出土した。土壌の時期は、6世紀第3四半期と推定される。

第265号土壌 (第174・188図)

L-6グリッドに位置する。平面形は歪んだ楕円形と推定される。断面B-B'での規模は1.75m、これに直行する規模は[1.40]mで、深さ0.14mである。長軸方位は不明である。

弥生土器の鉢 (243) の破片が出土した。



SK269

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック (0.3~0.5cm) 均質に少 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック (0.3~0.5cm) 微量 焼土粒少 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック (0.3~0.5cm) 多 しまり強 粘性弱

SK270

- 1 暗褐色土 焼土ブロック (0.3~0.5cm) 少
- 2 黒褐色土 焼土ブロック (0.3~0.5cm) 少 黄褐色粘土ブロック (0.3~0.5cm) 微量

SK271-307

- 1 暗褐色土 焼土ブロック (0.5~0.8cm) 微量
- 2 暗褐色土 焼土粒 (0.1~0.2cm) 少
- 3 暗褐色土 焼土ブロック (0.5~0.8cm)・黄褐色粘土ブロック (0.3~0.5cm) 多

SK274

- 1 暗黄褐色土 地山ブロック (2.0~3.0cm) 多 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック (1.0~2.0cm) やや多 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山ブロック (1.0~2.0cm) 微量 炭化物少 しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山ブロック (1.0~2.0cm) 多 炭化物少 しまり強 粘性弱

SK276

- I 耕作土
- 1 暗褐色土 地山ブロック (1.0~2.0cm) 少 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山ブロック (0.5~1.0cm) 微量 しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 地山ブロック (0.5~1.0cm) 少 しまり強 粘性弱
- 4 黒褐色土 地山ブロック (1.0~3.0cm) 若干 しまり強 粘性弱
- 5 黒褐色土 地山ブロック (1.0~3.0cm) やや多 しまり強 粘性弱

SK279

- 1 暗黄褐色土 地山ブロック層 壁面の崩落土
- 2 黒褐色土 地山ブロック (0.5~1.0cm)・焼土粒・炭化物微量
- 3 暗褐色土 地山ブロック (0.5~1.0cm) 少 焼土粒・炭化物微量
- 4 茶褐色土 鉄分・マンガンやや多
- 5 暗褐色土 地山ブロック (1.0~2.0cm) 少

SK282

- 1 暗褐色土 炭化物微量
- 2 暗褐色土 炭化物微量 地山ブロック (0.5cm) 少

第174図 土壌 (19)

第266号土壙 (第174図)

L-6グリッドに位置する。大部分が調査区外に続いている。第151号溝跡との新旧関係は不明。平面形は不明で、確認できた範囲内での平面規模は2.63×[0.39] m、深さ0.74mである。井戸の可能性が考えられる。

遺物は出土しなかった。

第267号土壙 (第172・188図)

M-6・7グリッドに位置する。第4号方形周溝墓を切っている。平面形は不明で、確認できた範囲内での平面規模は1.55×0.80m、深さ0.25mである。

土師器(244～246)3点と貝窠穴痕泥岩(247～251)5点が出土した。

第268号土壙 (第173・189図)

M-7グリッドに位置する。第9号住居跡を切っている。平面形は円形に近い楕円形で、長径1.11m、短径1.05m、深さ0.40m、長軸方位はN-50°-Eである。

土師器の甕(252)が1点出土した。

第269号土壙 (第174・189図)

M-5・6グリッドに位置する。ピットに切られている。平面形は楕円形で、長径0.60m、短径0.45m、深さ0.45m、長軸方位はN-60°-Eである。

貝窠穴痕泥岩(253)が1点出土した。

第270号土壙 (第174図)

M-5グリッドに位置する。第14号住居跡を切り、第18号掘立柱建物跡P9に切られている。平面上では2基のピットであるかのような表現であるが、1基の土壙であると判断した。平面形は円形で、径は0.65×0.60m、深さ0.45mである。

遺物は出土しなかった。

第271号土壙 (第174・189図)

K-8・9グリッドに位置する。南側のピットを切り、第307号土壙に切られている。平面形は楕円形で、長径1.52m、短径1.20m、深さ0.25m、

長軸方位はN-16°-Wである。

土師器の坏(254・255)が2点出土した。土壙の時期は、6世紀第3四半期と推定される。

第272号土壙 (第174・189図)

K-8グリッドに位置する。第273号土壙・ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は0.75×0.70m、深さ0.26mである。

貝窠穴痕泥岩(256)が1点出土した。土壙の時期は、6世紀第3四半期と推定される。

第273号土壙 (第174図)

K-8グリッドに位置する。南側のピットと第272号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径[1.05]m、短径1.05mまでの確認で、深さは0.10m、長軸方位はN-53°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第274号土壙 (第174図)

L-8グリッドに位置する。東側のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.02m、短径0.61m、深さ0.50m、長軸方位はN-27°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第275号土壙 (第173図)

L-6グリッドに位置する。第249号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は0.62×0.55m、深さ0.30mである。

遺物は出土しなかった。

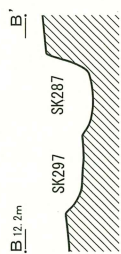
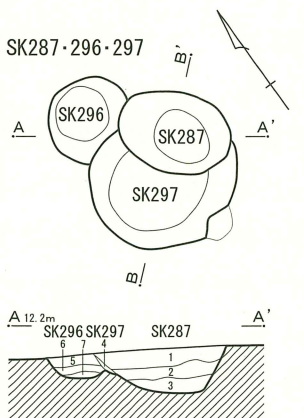
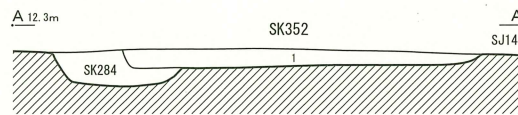
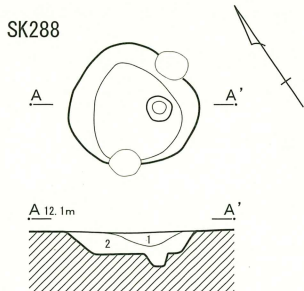
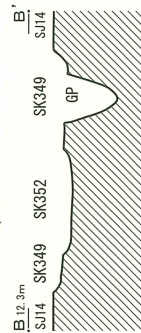
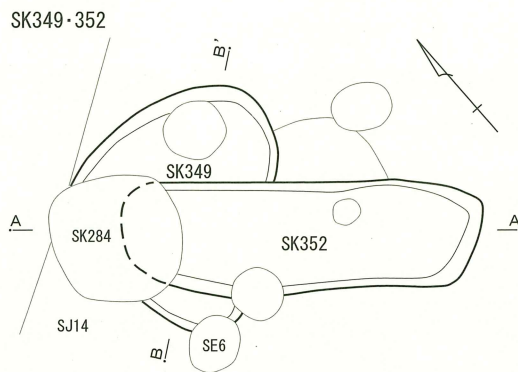
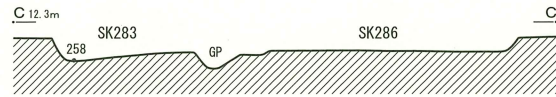
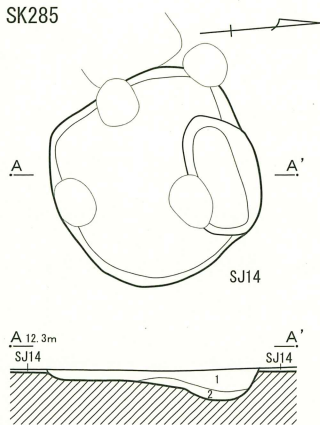
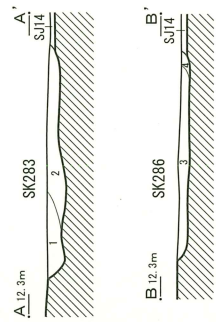
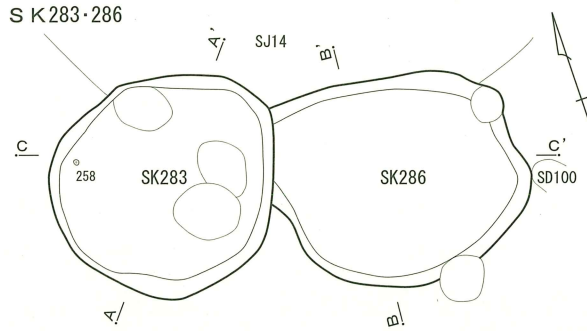
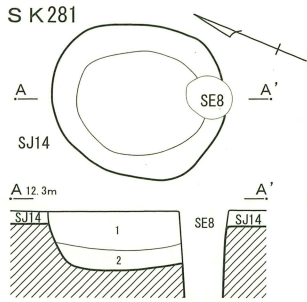
第276号土壙 (第174図)

G-11グリッドに位置する。東側は、調査区外に続いている。第2号溝跡に切られているが、第277号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。確認できた平面規模は南北1.80m、東西1.45m、深さ0.70mである。

遺物は出土しなかった。

第277号土壙 (第174・189図)

G-11グリッドに位置する。第276号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、



SK281

- 1 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性やや弱
- 2 暗褐色土 地山ブロック(2.0~3.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)やや多 しまり強 粘性やや弱

SK283-286

- 1 暗褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)やや多
- 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5cm)少
- 3 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(2.0~3.0cm)少 しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山粒・地山ブロック(2.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱

SK352

- 1 暗褐色土 地山ブロック少 しまり強 粘性やや弱

SK285

- 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~2.0cm)少 しまり強 粘性弱
- 2 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(1.0~3.0cm)やや多 しまり強 粘性弱

SK287-296-297

- 1 暗褐色土 褐色土ブロック(0.5~0.8cm)微量
- 2 暗褐色土 褐色土ブロック(0.2~0.4cm)少 焼土粒(0.2cm)微量
- 3 黄褐色土 黒褐色土ブロック(0.5~0.7cm)多 褐色土ブロック(0.2~0.3cm)少
- 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック(0.2~0.5cm)多
- 5 暗褐色土 黄褐色土ブロック(0.2cm)少 褐色土ブロック(0.2~0.5cm)・焼土粒微量
- 6 暗褐色土 黄褐色土ブロック多 褐色土ブロック(0.2~0.5cm)やや多 炭化物少 埋戻し土
- 7 褐色土 暗褐色土ブロック(0.5cm)多

SK288

- 1 黒褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・炭化物ブロック(0.3cm)やや多
- 2 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・炭化物ブロック(0.3cm)少 地山ブロック(0.5cm)やや多



第175図 土壌 (20)

長径2.35m、短径1.85m、深さ0.76m、長軸方位はN-25°-Eである。

土師器の壺(257)が1点出土した。

第279号土壙(第174図)

M-6グリッドに位置する。第4号方形周溝墓を切っていると判断した。平面形は楕円形で、長径1.40m、短径1.05m、深さ0.42m、長軸方位はN-19°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第280号土壙(第163図)

L-8グリッドに位置する。第95・235号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.35m、短径[0.70]m、深さ0.15m、長軸方位はN-26°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第281号土壙(第175図)

M-5グリッドに位置する。第14号住居跡を切り、第8号井戸跡に切られている。平面形は円形に近い楕円形で、長径1.40m、短径1.25m、深さ0.45m、長軸方位はN-13°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第282号土壙(第174図)

N-4・5グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径0.95m、短径0.75m、深さ0.22m、長軸方位はN-31°-Eである。

土師器の小破片が1点出土したが、図化には至らなかった。

第283号土壙(第175・189図)

N-5グリッドに位置する。第14号住居跡を切っているが、第286号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は1.90×1.80m、深さ0.20mである。

石製の紡錘車(258)が1点出土した。

第285号土壙(第175・189図)

N-5グリッドに位置する。第14号住居跡を切っているが、4基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は円形で、径は1.75×1.70m、

深さ0.25mである。

軽石(260)が1点出土した。

第286号土壙(第175図)

N-5グリッドに位置する。第14号住居跡を切っている。第283号土壙や2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、南北規模は1.70mであるが、東西規模は1.98mまでの確認で、深さ0.10m、長軸方位はN-88°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第287号土壙(第175・189図)

N-4グリッドに位置する。第296・297号土壙を切っている。平面形は楕円形で、長径0.91m、短径0.60m、深さ0.34m、長軸方位はN-43°-Wである。

土師器の坏(261)が1点出土した。土壙の時期は、6世紀第4四半期と推定される。

第288号土壙(第175図)

N-4グリッドに位置する。平面形は円形で、径は1.02×0.95m、深さ0.28mである。

遺物は出土しなかった。

第289号土壙(第176図)

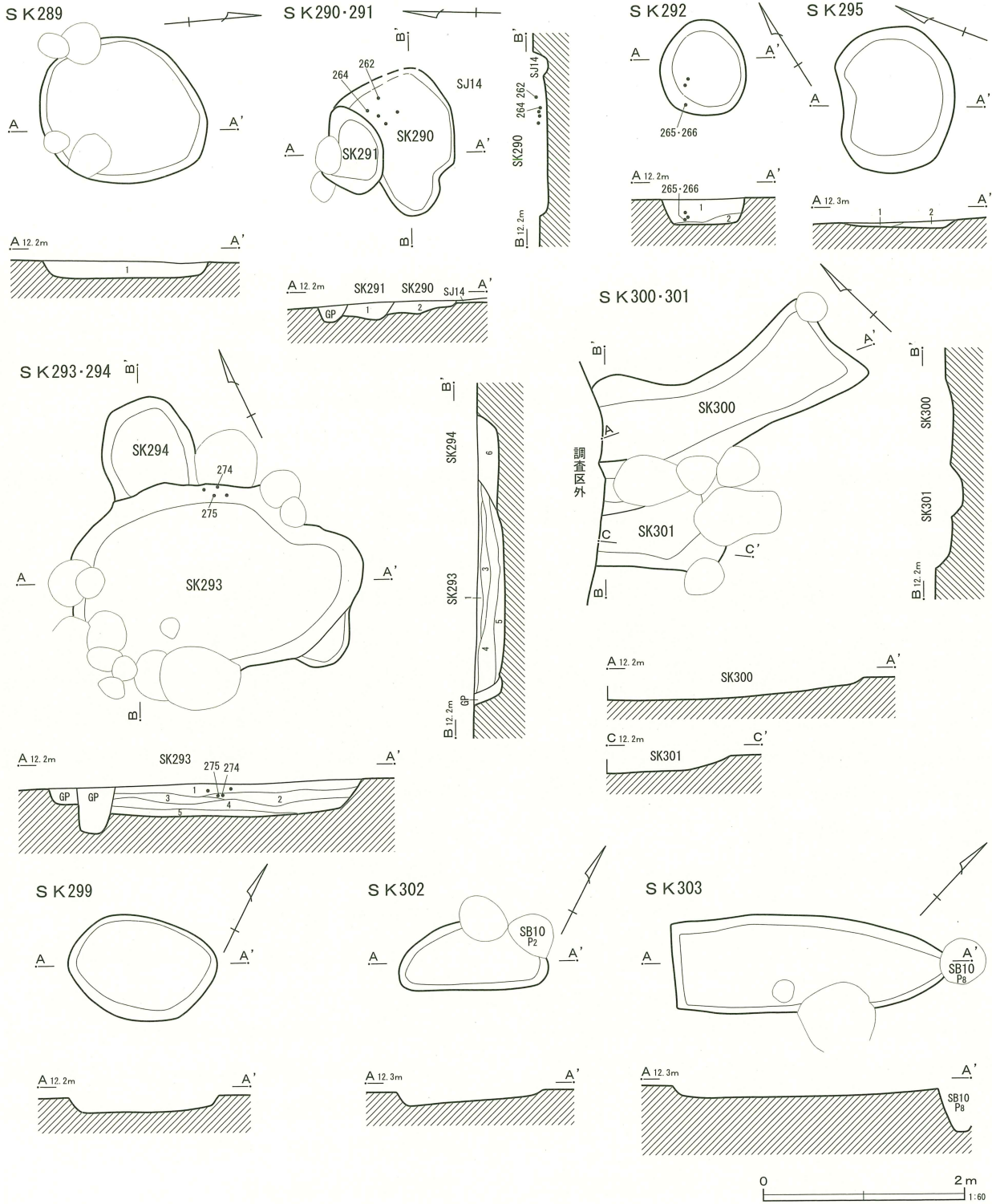
N-4グリッドに位置する。ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.75m、短径1.45m、深さ0.15m、長軸方位はN-36°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第290号土壙(第176・189図)

N-5グリッドに位置する。第14号住居跡を切り、第291号土壙に切られている。平面形は歪んだ楕円形で、東西規模は1.46mであるが、南北規模は0.75mまでの確認で、深さ0.14m、長軸方位はN-84°-Eである。

土師器の坏(262)と甕(263・264)が合わせて3点出土した(6世紀第4四半期)。この他に図化には至らなかったが、肥前系の陶器碗(17C後半～18C前半)の小破片が出土している。



SK289
 1 暗褐色土 ローム粒(0.1cm)少 しまり強 粘性弱

SK290-291
 1 暗褐色土 ローム粒(0.2~0.3cm)多 しまり・粘性やや強
 2 暗褐色土 ローム粒(0.2~0.3cm)少 しまり・粘性やや強

SK292
 1 暗褐色土 ローム粒(0.2cm)多 ロームブロック(3.0cm)少
 しまり強 粘性弱
 2 暗黄褐色土 ロームブロック(1.0~3.0cm)多 しまり強 粘性弱

SK293-294
 1 ローム粒(0.2cm)若干 しまり強
 2 暗褐色土 焼土粒(0.2~0.5cm)若干 炭化物粒(0.2~0.3cm)少 しまり強
 3 暗褐色土 ローム粒(0.5cm)多 しまり強
 4 黒褐色土 ローム粒(0.5cm)少 しまり強
 5 暗黄褐色土 ロームブロック(1.0~3.0cm)多 4層の黒褐色土をマール状に含む
 しまり強
 6 黒褐色土 ローム粒(0.2cm)少 しまり強

SK295
 1 暗褐色土 ローム・黒褐色土粒少 焼土粒(0.2cm)微量 しまり強 粘性弱
 2 黒褐色土 ローム粒(0.2cm)少 しまり強 粘性弱

第176図 土壌 (21)

第291号土壙 (第176図)

N-5グリッドに位置する。第14号住居跡・第290号土壙を切り、ピットに切られている。平面形は楕円形で、長径0.90m、短径0.43mまでの確認で、深さ0.15m、長軸方位はN-73°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第292号土壙 (第176・189図)

N-4グリッドに位置する。平面形は円形に近い楕円形で、長径0.95m、短径0.85mまでの確認で、深さ0.23m、長軸方位はN-33°-Eである。

土師器の甕 (265・266) が2点出土した。

第293号土壙 (第176・189図)

N-4グリッドに位置する。第294号土壙を切り、断面A-A'上のピットに切られている。その他のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ楕円形で、長径2.95m、短径1.90m、深さ0.30m、長軸方位はN-73°-Wである。

土師器 (267～278) 12点と軽石 (279) 1点、合わせて13点が出土した。土壙の時期は、6世紀第3四半期と推定される。

第294号土壙 (第176図)

N-4グリッドに位置する。第293号土壙に切られている。ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と考えられる。東西規模は0.95mであるが、南北規模は0.85mまでの確認で、深さは0.28m、長軸方位はN-14°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第295号土壙 (第176・189図)

N-5グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.50m、短径1.10m、深さ0.08m、長軸方位はN-76°-Eである。

土師器の坏 (280) が1点出土した。土壙の時期は、6世紀第4四半期と推定される。

第296号土壙 (第175図)

N-4グリッドに位置する。第287・297号土壙

に切られている。平面形は円形に近いと考えられる。東西規模は0.70mであるが、南北規模は0.55mまでの確認で、深さは0.20mである。

遺物は出土しなかった。

第297号土壙 (第175図)

N-4グリッドに位置する。第287号土壙に切られ、第296号土壙を切っている。平面形は円形と考えられる。南北規模は1.05mであるが、東西規模は0.65mまでの確認で、深さは0.35mである。

遺物は出土しなかった。

第299号土壙 (第176図)

I-10グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.35m、短径1.02m、深さ0.15m、長軸方位はN-90°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第300号土壙 (第176図)

I-9・10グリッドに位置する。4基のピットとの新旧関係は確認できなかった。西側は調査区外に続く。平面形は確認された範囲内では、歪んだ長方形である。南北規模は0.75mであるが、東西規模については2.60mまでの確認で、深さは0.10m、長軸方位はN-73°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第301号土壙 (第176図)

I-9グリッドに位置する。4基のピットとの新旧関係は確認できなかった。西側は調査区外に続く。平面形は確認された範囲内では、歪んだ長方形である。南北規模は0.65mであるが、東西規模については1.05mまでの確認で、深さ0.15m、長軸方位はN-52°-Wである。

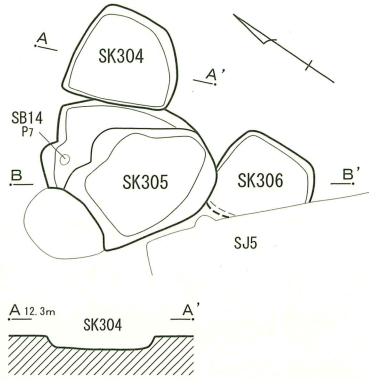
遺物は出土しなかった。

第302号土壙 (第176図)

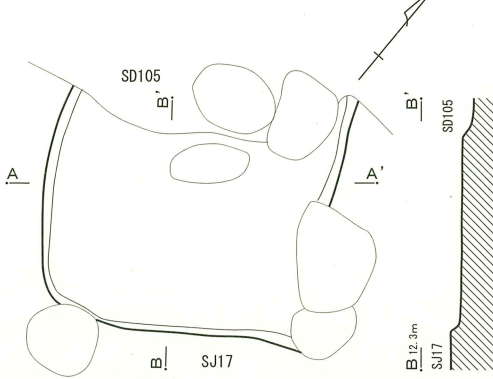
J-9グリッドに位置する。第10号掘立柱建物跡と1基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.30m、短径0.65m、深さ0.24m、長軸方位はN-61°-Eである。

遺物は出土しなかった。

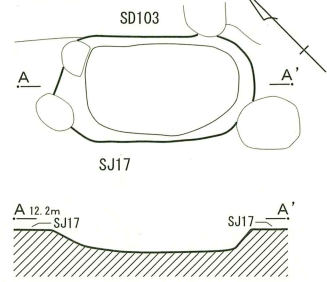
S K 304・305・306



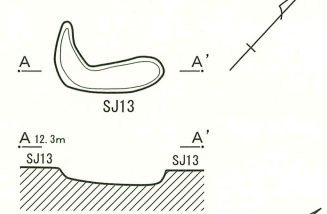
S K 308



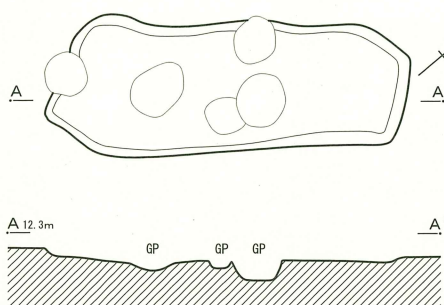
S K 309



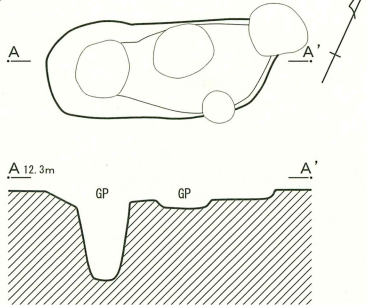
S K 312



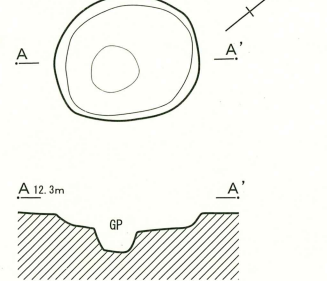
S K 310



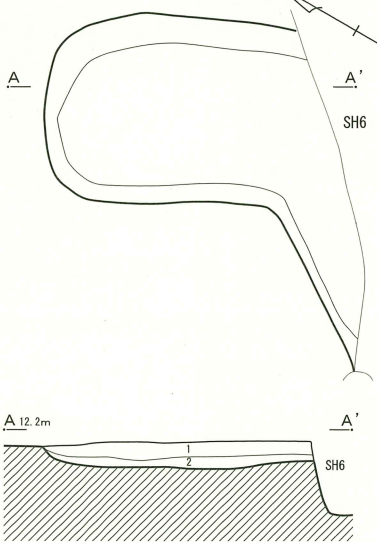
S K 313



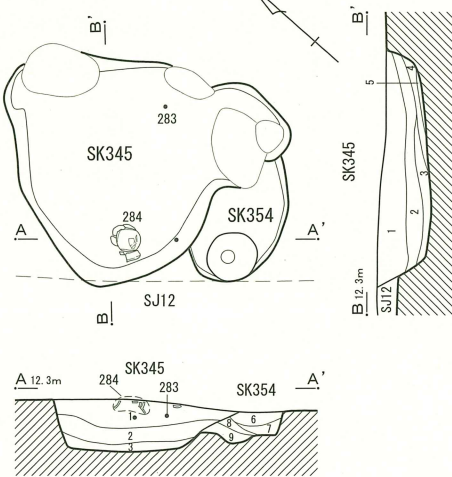
S K 344



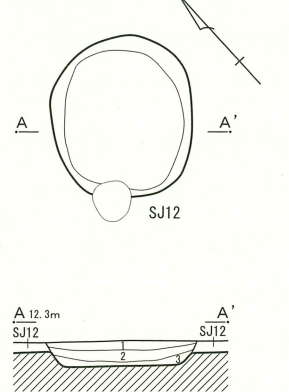
S K 311



S K 345・354



S K 342



S K 311

- 1 暗褐色土 地山粒・地山ブロック(0.5cm)少 炭化物微量
- 2 暗褐色土 地山粒・炭化物微量

S K 342

- 1 黒褐色土 焼土粒・焼土ブロック(0.5cm)・炭化物少
しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 焼土粒・焼土ブロック(0.5~1.0cm)・炭化物やや多
しまり強 粘性弱
- 3 黒褐色土 焼土粒・焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 灰若干
しまり強 粘性弱

S K 345・354

- 1 黒褐色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)微量 しまり強 粘性弱
- 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)少 しまり強 粘性弱
- 3 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.5cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)若干
しまり強 粘性弱
- 4 暗黄褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)やや多 焼土ブロック(0.5~1.0cm)少
しまり強 粘性弱
- 5 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)少 焼土ブロック(1.0cm)微量 しまり強 粘性弱
- 6 暗赤褐色土 焼土ブロック(0.5~2.0cm)やや多 灰若干 しまり強 粘性弱
- 7 暗赤褐色土 焼土ブロック(0.5~1.0cm)・地山ブロック(0.5~2.0cm)少 炭化物微量
しまり強 粘性弱
- 8 暗褐色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山ブロック(0.5~2.0cm)若干 炭化物少
しまり強 粘性弱
- 9 暗黄褐色土 焼土ブロック(0.5cm)少 地山ブロック(0.5~3.0cm)多 しまり強 粘性弱

第177図 土壌 (22)

第303号土壌 (第176図)

J・K-9グリッドに位置する。第10号掘立柱建物跡と2基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は歪んだ長三角形で、長径は2.70mまでの確認で、短径0.99m、深さ0.10m、長軸方位はN-45°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第304号土壌 (第177図)

K-9グリッドに位置する。第305号土壌との新旧関係については確認できなかった。平面形は隅丸方形で、平面規模は0.85×0.80m、深さは0.10mである。

遺物は出土しなかった。

第305号土壌 (第177図)

K-9グリッドに位置する。第304・306号土壌・ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は変則的な隅丸長方形で、段を有する。平面規模は1.40×1.00m、深さ0.25m、長軸方位はN-38°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第306号土壌 (第177図)

K-9グリッドに位置する。第5号住居跡と第305号土壌との新旧関係は確認できなかった。平面形は確認された範囲内では、歪んだ隅丸方形である。南北規模は0.77mであるが、東西規模については0.78mまでの確認で、深さ0.15m、長軸方位はN-10°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第307号土壌 (第174図)

K-8グリッドに位置する。平面形は長楕円形と推定される。長径0.95m、短径[0.75]m、深さ0.10m、長軸方位はN-0°である。

遺物は出土しなかった。

第308号土壌 (第177図)

L-7グリッドに位置する。第105号溝跡との新旧関係については確認できなかった。平面形は確認された範囲内では、隅丸方形である。平面規

模は東西2.36m、南北1.58mまでの確認で、深さ0.15m、検出状態での長軸方位はN-59°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第309号土壌 (第177図)

L-7グリッドに位置する。第103号溝跡とピットとの新旧関係については確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.60m、短径0.85m、深さ0.18m、長軸方位はN-46°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第310号土壌 (第177図)

L-9グリッドに位置する。5基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ隅丸長方形で、長径2.90m、短径1.05m、深さ0.10m、長軸方位はN-40°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第311号土壌 (第177図)

N-4グリッドに位置する。南側は調査区外に続いている。平面形は不明。検出範囲内において、平面規模は南北2.86m、東西2.40m、深さ0.10mである。

遺物は出土しなかった。

第312号土壌 (第177図)

N-6グリッドに位置する。第13号住居跡との新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだL字形に近い。両端の直線距離は0.92m、短径は0.20m、深さ0.10mである。

遺物は出土しなかった。

第313号土壌 (第177図)

M-7グリッドに位置する。4基のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形はやや歪んだ長楕円形で、長径1.81m、短径0.75m、深さ0.08m、長軸方位はN-63°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第315号土壌 (第169・189図)

D・E-17グリッドに位置する。平面形は円形で、径は1.05×1.00m、深さ0.55mである。

かわらけ (281)・鉄製品 (282) が出土した。

第316号土壙 (第169図)

A-21グリッドに位置する。第1号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明である。長径0.90m、短径[0.82]m、深さ0.10mである。

遺物は出土しなかった。

第317号土壙 (第169図)

A-21・22グリッドに位置する。第28号溝跡と1基のピットを切っているが、その他のピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形で、長径1.65m、短径1.20m、深さ0.08m、長軸方位はN-8°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第318号土壙 (第159図)

A-22グリッドに位置する。第41号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は隅丸長方形で、長軸0.93m、短軸0.45m、深さ0.08m、長軸方位はN-80°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第319号土壙 (第169図)

A-21グリッドに位置する。西側は第1号溝跡と重複している。平面形は不明。長径[0.80]m、短径[0.55]m、深さ0.70mである。

遺物は出土しなかった。

第320号土壙 (第169図)

C-19グリッドに位置する。第40号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定される。長径1.35m、短径[0.90]m、深さ0.08m、長軸方位はN-48°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第321号土壙 (第169図)

C-19グリッドに位置する。第93号溝跡・第75号掘立柱建物跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形で、長径1.50m、短径0.70m、深さ0.20m、長軸方位はN-43°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第322号土壙 (第169図)

D-19グリッドに位置する。第16号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.95m、短径1.65m、深さ0.30m、長軸方位はN-51°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第323号土壙 (第164図)

C・D-21グリッドに位置する。第24・26号溝跡との新旧関係は確認できなかった。平面形は不整形長楕円形と推定される。長径[0.90]m、短径0.85m、深さ0.25m、長軸方位はN-66°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第324号土壙 (第168図)

E-16グリッドに位置する。第161号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は不整形で、長径[1.75]m、短径0.48m、深さ0.10m、長軸方位はN-90°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第325号土壙 (第169図)

E-20グリッドに位置する。平面形は不整形楕円形で、長径[1.30]m、短径1.30m、深さ0.15m、長軸方位はN-29°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第326号土壙 (第169図)

E-20グリッドに位置する。平面形は不明である。長径[1.05]m、短径[0.45]m、深さ0.10m、長軸方位はN-26°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第327号土壙 (第169図)

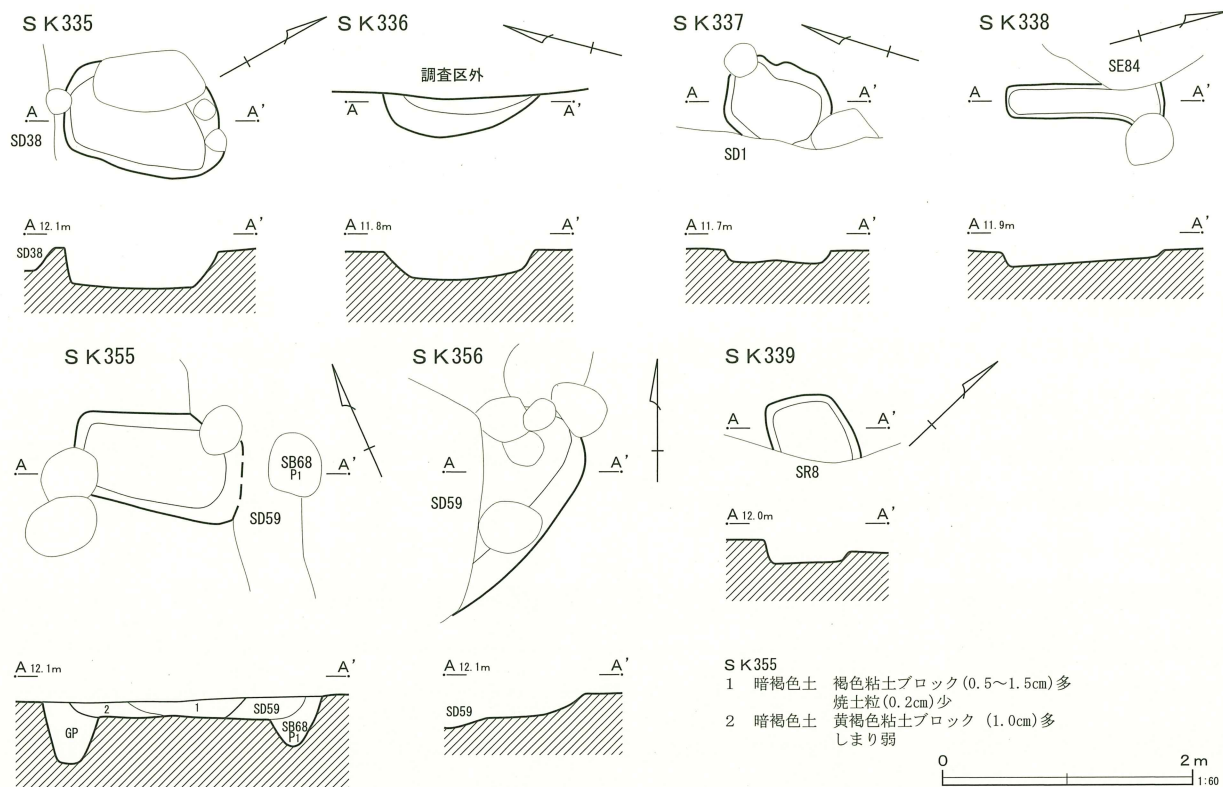
E-19・20グリッドに位置する。平面形は不明である。長径1.95m、短径[0.80]m、深さ0.50mである。

遺物は出土しなかった。

第328号土壙 (第169図)

F-16グリッドに位置する。平面形は円形で、径は0.75×0.70m、深さ0.15mである。

遺物は出土しなかった。



第178図 土坑 (23)

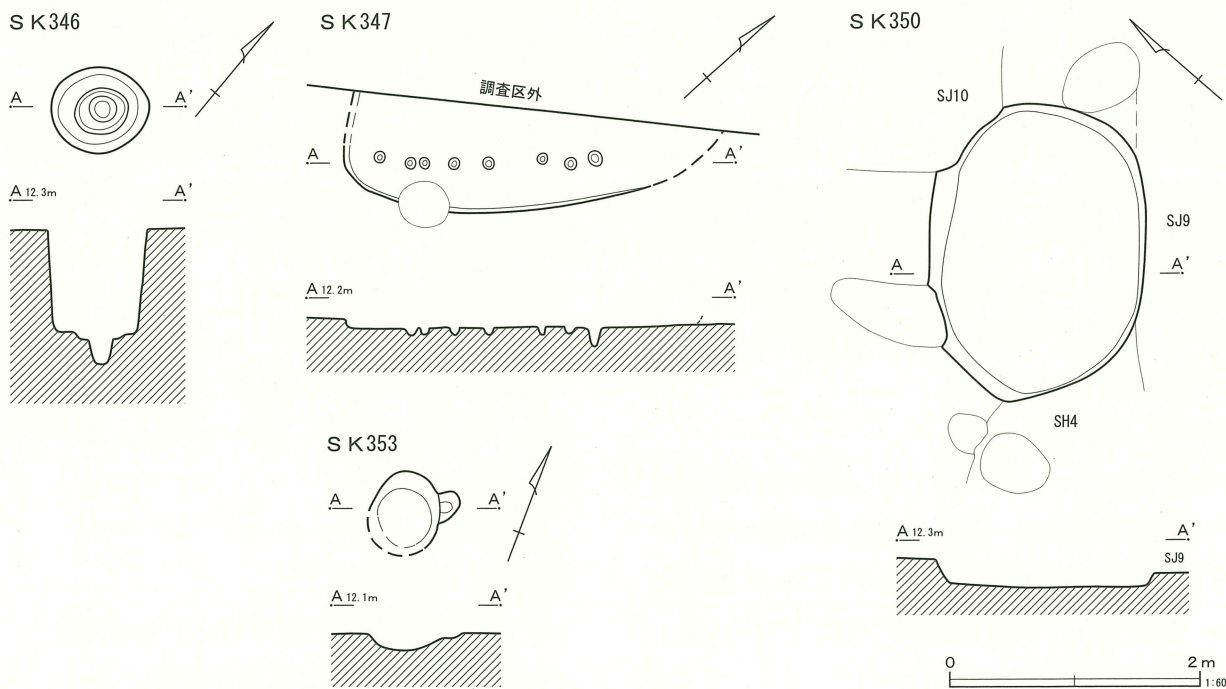
第329号土坑 (第169図)

E・F-16グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径(1.90)m、短径1.35m、深さ0.30m、長軸方位はN-70°-Eである。

遺物は出土しなかった。

第330号土坑 (第169図)

F-17グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径1.90m、短径1.05m、深さ0.35m、長



第179図 土坑 (24)

軸方位はN-53° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第331号土壙 (第166図)

F-18グリッドに位置する。平面形は不明で、長径2.00m、短径[0.90]m、深さ0.30mである。

遺物は出土しなかった。

第332号土壙 (第169図)

E・F-19グリッドに位置する。平面形は楕円形で、長径1.15m、短径0.95m、深さ0.10m、長軸方位はN-30° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第333号土壙 (第169図)

G-16グリッドに位置する。平面形は不明、長径[1.30]m、短径[0.65]m、深さ0.10mである。

遺物は出土しなかった。

第334号土壙 (第169図)

G-16グリッドに位置する。平面形は不整な隅丸長方形である。長軸[1.70]m、短軸0.75m、深さ0.08m、長軸方位はN-38° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第335号土壙 (第178図)

B-19・20グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径1.25m、短径[0.95]m、深さ0.30m、長軸方位はN-30° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第336号土壙 (第178図)

A-22グリッドに位置する。西側は調査区外に続いたため、平面形は不明。長径1.20m、短径[0.30]m、深さ0.20m、長軸方位はN-15° -Wである。

遺物は出土しなかった。

第337号土壙 (第178図)

F-19グリッドに位置する。平面形は長楕円形で、長径0.85m、短径0.60m、深さ0.10m、長軸方位はN-5° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第338号土壙 (第178図)

E-18グリッドに位置する。平面形は長方形で、

長軸1.25m、短軸0.28m、深さ0.10m、長軸方位はN-16° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第339号土壙 (第178図)

E-17グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形と推定される。長軸[0.65]m、短軸[1.10]m、深さ0.20m、長軸方位はN-30° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第341号土壙 (第171図)

M-7・8グリッドに位置する。第230号土壙を切り、第7号溝跡に切られている。平面形は楕円形と推定される。長径1.80m、短径1.10m、深さ0.25m、長軸方位はN-85° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第342号土壙 (第177図)

M-7グリッドに位置する。第12号住居跡を切っているが、ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.33m、短径1.13m、深さ0.21m、長軸方位はN-36° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第343号土壙 (第170図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っているが、第227・254号土壙との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と思われる。南北規模は0.70mであるが、東西規模は1.43mまでの確認で、深さ0.10m、長軸方位はN-60° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第344号土壙 (第177図)

K-8グリッドに位置する。ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は円形に近い楕円形で、長径1.15m、短径1.00m、深さ0.14m、長軸方位はN-34° -Eである。

遺物は出土しなかった。

第345号土壙 (第177・189図)

M-7グリッドに位置する。第12号住居跡と第354号土壙を切っているが、ピットとの新旧関係

については確認できなかった。平面形は隅丸三角形に近い。平面規模は東西2.22m、南北1.88m、深さ0.42m、長軸方位はN-48° - Eである。

土師器の坏(283)・甕(284)の2点が出土した。土壌の時期は、6世紀第4四半期と推定される。

第346号土壌(第179図)

M-5グリッドに位置する。平面形は円形で、平面規模は0.75×0.65m、深さ1.06mである。中央に、径0.20×0.20m、深さ0.18mの円形の窪みをもつ。形状・規模から、井戸の可能性が考えられるが、その場合この窪みは水溜めとして機能したと思われる。

遺物は出土しなかった。

第347号土壌(第179図)

N-5グリッドに位置する。北側は調査区外に続く。遺存度が低く、調査区内でもプランの確定ができず、推定によるプランである。平面規模は東西2.65m、南北0.85mまでの確認で、深さは0.05mである。遺構内に8つの窪みが存在するが、帰属の有無は確認できなかった。

遺物は出土しなかった。

第348号土壌(第160図)

K-8グリッドに位置する。第68・69号土壌を切っているが、4基のピットとの新旧関係は確認できなかった。最終的に3基と判断したが当初、単独の土壌として調査したため、遺物の帰属が特定できなくなる結果となってしまった。平面形は楕円形と推定される。東西規模は1.44mであるが、南北規模については1.04mまでの確認で、深さ0.20mである。

第68・69号土壌として取り上げた遺物(21~29)は、合わせて9点であるが、本遺構に帰属する可能性もある。

第349号土壌(第175図)

M・N-5グリッドに位置する。第284・352号土壌との新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径1.95m、短径1.76m、深さ0.13

m、長軸方位はN-52° - Eである。

遺物は出土しなかった。

第350号土壌(第179図)

M-6グリッドに位置する。第4号方形周溝墓を切っているが、第9・10号住居跡とピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形で、長径2.40m、短径1.75m、深さ0.15m、長軸方位はN-52° - Eである。

遺物は出土しなかった。

第351号土壌(第161図)

L-9グリッドに位置する。第72号土壌に切られているが、他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は不明。長径[1.55]m、短径[1.50]m、深さ0.20mである。

遺物は出土しなかった。

第352号土壌(第175図)

M・N-5グリッドに位置する。縄文土壌である第284号土壌を切っているが、第349号土壌・ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は長楕円形で、短径は0.90mであるが、長径は2.35mまでの確認にとどまる。深さは0.14m、長軸方位はN-47° - Wである。

遺物は出土しなかった。

第353号土壌(第179図)

K-10グリッドに位置する。平面形は楕円形と推定される。長径(0.70)m、短径0.58m、深さ0.10m、長軸方位はN-0°である。

遺物は出土しなかった。

第354号土壌(第177図)

M-7グリッドに位置する。第345号土壌に切られているが、ピットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は楕円形と推定されるが、平面規模については0.80×0.65mまでの確認で、深さ0.20mである。

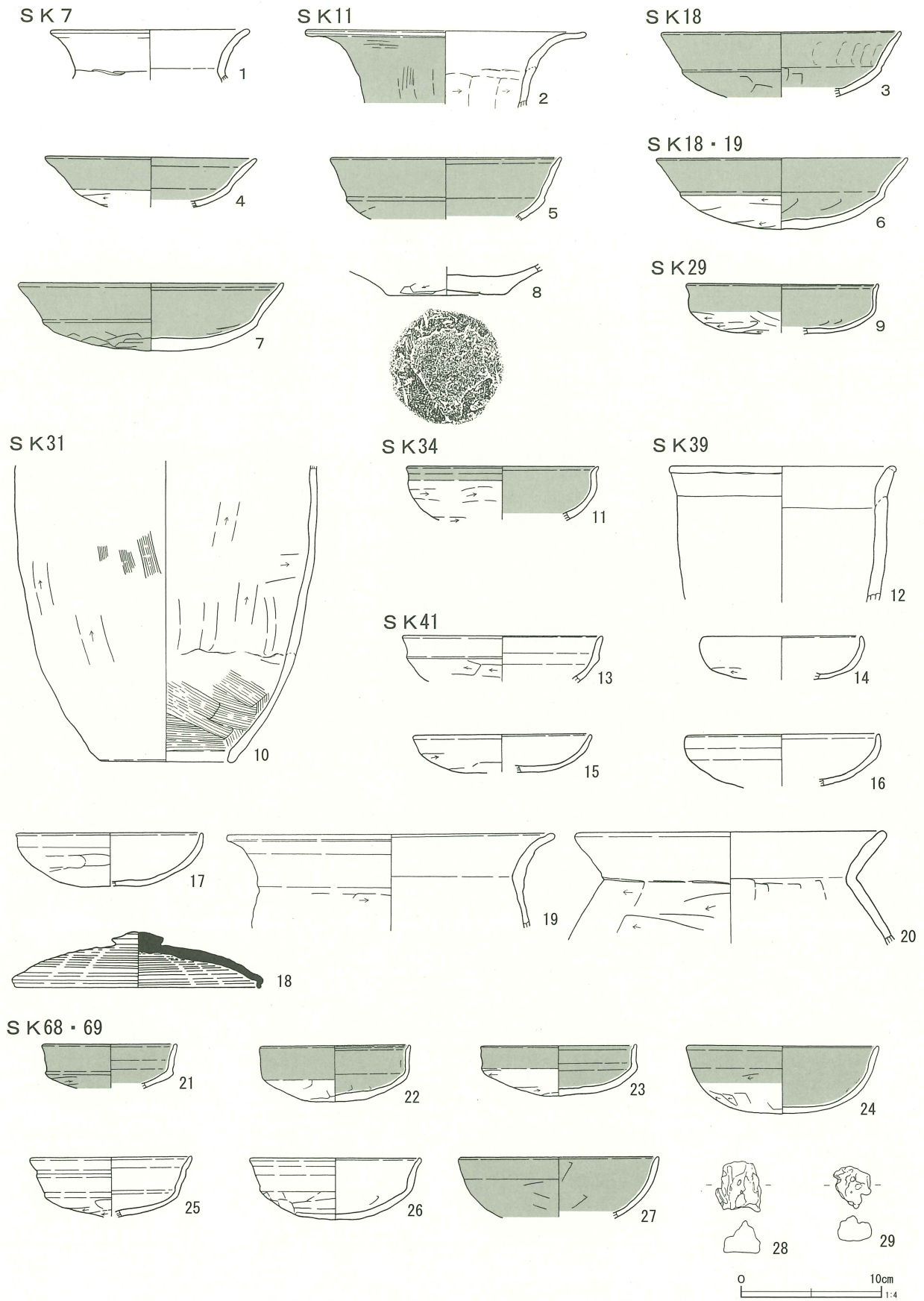
遺物は出土しなかった。

第355号土壌(第178図)

D-15グリッドに位置する。第59号溝跡と1

第23表 土壌一覽表

遺構	区	グリッド	遺構	区	グリッド	遺構	区	グリッド	遺構	区	グリッド	遺構	区	グリッド	遺構	区	グリッド
SK1	C	H-11	SK59	C	L-9・10	SK113	A	E-16・17	SK181	B	J-14	SK256	C	K-7	SK307	C	K-8
SK2	C	H-11	SK60	C	J-8	SK114	A	F-18	SK201	C	K-8	SK257	C	L-6	SK308	C	L-7
SK3	C	I-11	SK62	C	K-8・9	SK115	A	E-18・19	SK202	C	L-7	SK259	C	K-7	SK309	C	L-7
SK4	C	H-11	SK63	C	K-8・9	SK116	A	D-21	SK203	C	L-7	SK260	C	K-7・8	SK310	C	L-9
SK5	C	I-10	SK64	C	K-8	SK117	A	F-19	SK204	C	M-8	SK261	C	K-7	SK311	C	N-4
SK6	C	I-11	SK65	C	K-8	SK119	A	C-19	SK206	C	L-8	SK262	C	M・N-6	SK312	C	N-6
SK7	C	H-11	SK66	C	K-9	SK120	A	F-20	SK207	C	M-8	SK263	C	M-6	SK313	C	M-7
SK8	C	H-11	SK68	C	K-8	SK121	A	F-20	SK209	C	L・M-8・9	SK264	C	L-6・7	SK315	A	D・E-17
SK9	C	J-11	SK69	C	K-8	SK122	A	F-18	SK210	C	M-8	SK265	C	L-6	SK316	A	A-21
SK10	C	J-11	SK70	C	K-9	SK125	A	F-15	SK211	C	K-7・8	SK266	C	L-6	SK317	A	A-21・22
SK11	C	K-11	SK71	C	K-9	SK126	A	C・D-16	SK212	C	K-8	SK267	C	M-6・7	SK318	A	A-22
SK12	C	K-11	SK72	C	L-9	SK127	A	D-20	SK213	C	K-8	SK268	C	M-7	SK319	A	A-21
SK13	C	J-11	SK73	C	K-9	SK128	A	E-19・20	SK214	C	K-8	SK269	C	M-5・6	SK320	A	C-19
SK14	C	J-11	SK74	C	K-9	SK129	A	D-15	SK216	C	K-8	SK270	C	M-5	SK321	A	C-19
SK15	C	J-12	SK75	C	K-9	SK130	A	D-15・16	SK217	C	K-8	SK271	C	K-8・9	SK322	A	D-19
SK16	C	J-11	SK76	C	K-8	SK132	A	F-18	SK218	C	K-7・8	SK272	C	K-8	SK323	A	C・D-21
SK17	C	I-10	SK79	C	K-9	SK133	A	F-17	SK219	C	K-8	SK273	C	K-8	SK324	A	E-16
SK18	C	I・J-10	SK80	C	J-9	SK134	A	F-18	SK225	C	L-6	SK274	C	L-8	SK325	A	E-20
SK19	C	I・J-10	SK81	C	K・L-8	SK135	A	E-15	SK226	C	L-6	SK275	C	L-6	SK326	A	E-20
SK20	C	J-10	SK82	C	J・K-8	SK136	A	E-15	SK227	C	L-6	SK276	C	G-11	SK327	A	E-19・20
SK21	C	I-10・11	SK83	C	K-9	SK137	A	D-15	SK228	C	M-7	SK277	C	G-11	SK328	A	F-16
SK22	C	K-11	SK84	C	L-9	SK138	A	E・F-18	SK229	C	M-7	SK279	C	M-6	SK329	A	E・F-16
SK24	C	J-11・12	SK85	C	L-9	SK139	A	F-18	SK230	C	M-7	SK280	C	L-8	SK330	A	F-17
SK25	C	K-11	SK87	C	L-9	SK140	A	F-18	SK231	C	L-7	SK281	C	M-5	SK331	A	F-18
SK26	C	K-11	SK88	C	K-11	SK141	A	D-17	SK232	C	L・M-6・7	SK282	C	N-4・5	SK332	A	E・F-19
SK27	C	I-10	SK90	C	K-10	SK142	A	D-17	SK233	C	M-7	SK283	C	N-5	SK333	A	G-16
SK28	C	J-9・10	SK91	C	L-8	SK143	A	E-16	SK234	C	L-8・9	SK284	C	M・N-5	SK334	A	G-16
SK29	C	J-9	SK92	C	L-8	SK144	A	E-16	SK235	C	L-8	SK285	C	N-5	SK335	A	B-19・20
SK30	C	J-9	SK93	C	L-8	SK145	A	C-18	SK236	C	L-8	SK286	C	N-5	SK336	A	A-22
SK31	C	J-9・10	SK94	C	L-8・9	SK146	A	C-18・19	SK237	C	L-6	SK287	C	N-4	SK337	A	F-19
SK32	C	K-10	SK95	C	L-8	SK147	A	D-15	SK238	C	L-6	SK288	C	N-4	SK338	A	E-18
SK34	C	K-11	SK96	C	L-9	SK148	A	D-15	SK239	C	K-6・7	SK289	C	N-4	SK339	A	E-17
SK35	C	J-10	SK97	C	L-8	SK149	A	D・E-14	SK240	C	L-6	SK290	C	N-5	SK341	C	M-7・8
SK36	C	K・L-10	SK98	C	L-8	SK150	A	E-17	SK241	C	M-6	SK291	C	N-5	SK342	C	M-7
SK37	C	L-10	SK99	C	L-8	SK151	A	E-17	SK242	C	M-6	SK292	C	N-4	SK343	C	L-6
SK38	C	I-10	SK100	C	L-8	SK152	A	E-17	SK243	C	M-7	SK293	C	N-4	SK344	C	K-8
SK39	C	I-9	SK101	A	B-20	SK153	A	E-17	SK244	C	M-6	SK294	C	N-4	SK345	C	M-7
SK40	C	K-10	SK102	A	B-20	SK154	A	E-16	SK245	C	M-6	SK295	C	N-5	SK346	C	M-5
SK41	A	A-22	SK103	A	B-20	SK155	A	D-17	SK246	C	M-6	SK296	C	N-4	SK347	C	N-5
SK42	A	A-21・22	SK104	A	C-19	SK156	A	F-15	SK247	C	M-7	SK297	C	N-4	SK348	C	K-8
SK43	C	I-8・9	SK105	A	B-19	SK157	A	E-18	SK248	C	L-6	SK299	C	I-10	SK349	C	M・N-5
SK51	C	J-11	SK106	A	C-19	SK158	A	B・C-19・20	SK249	C	L-6	SK300	C	I-9・10	SK350	C	M-6
SK52	C	K-9	SK107	A	B-19				SK250	C	M-7・8	SK301	C	I-9	SK351	C	L-9
SK53	C	J・K-9	SK108	A	D-21	SK159	A	D-15	SK251	C	L-7	SK302	C	J-9	SK352	C	M・N-5
SK54	C	J・K-9	SK109	A	F-16	SK160	A	C-18	SK252	C	L-6	SK303	C	J・K-9	SK353	C	K-10
SK55	C	J-8・9	SK110	A	E・F-16	SK161	A	D-16 E-15・16	SK253	C	L-5・6	SK304	C	K-9	SK354	C	M-7
SK56	C	J-8	SK111	A	C-21				SK254	C	L-6	SK305	C	K-9	SK355	A	D-15
SK57	C	J-8	SK112	A	A-20	SK162	A	D-20	SK255	C	K-6・7	SK306	C	K-9	SK356	A	D-16



第180図 土壙出土遺物 (1)